

所管

根室牧畜場  
厚岸罐詰場  
擇捉臘虎獵場  
根室木挽場  
別海罐詰場

紋髓製糖所

札幌農學校

第二條 札幌農學校モ亦此規程ヲ通用ス但學校職制ニ明條アルモノハ之ニ據ル

第二章 權限

第三條 所長ハ局長ノ指揮ヲ受ケ所中一切ノ業務ヲ處理ス

第四條 副長ハ權限所長ニ亞ク

第五條 正副所長事故アルトキハ首席ノ官吏ヲ以テ代理セシムルヲ得

第六條 左ノ各項ハ事由ヲ具シ裁定ヲ乞フヘシ但第八項乃至第十三項ハ會計官吏ノ意見書ヲ添附スヘシ

一 准奏任官以上ヲ以テ科長又ハ場長トスル事

二 判任官等外吏及ヒ御用掛并備員進退ニ關スル事  
但月俸二十圓日給六十五錢以上ノ備員ハ此限ニ在ラス

三 現在ノ所員ヲ増減スル事

四 外國人ニ關スル事

五 他官廳ニ對シ照會往復スル事  
但備外國人締約書ニ明條アルモノハ此限ニ非ラス

六 賞與慰勞手當ノ事  
但從來慣例アルモノハ此限ニ非ラス

但從來慣例アルモノハ此限ニ非ラス

賞與慰勞手當ノ事

賞與慰勞手當ノ事

但現業取扱人ノ類即時獎勵セサルヲ得サル時ハ手當トシテ金五圓以下ヲ給與シ後チ届出ルヲ得

七 事務所々在ノ地方廳管外ニ所員ヲ派出スル事

八 事業伸縮興廢ニ關スル事

九 金錢物品貸付及ヒ贈與ニ係ル事

十 官金ノ棄捐及ヒ辨償ニ係ル事

十一 事業ニ要スル外國品及ヒ内國製器械物品一箇金五十圓以上ノ購買又ハ修繕ニ係ル事

十二 建築土木一廉金五十圓以上及ヒ修繕金百圓以上ニ係ル事  
但非常災變ニ遭遇シ實際伺定ノ暇ナキ修繕ニ限リ直ニ會計官吏ニ通議處分シテ後具申スルヲ得

十三 土地家屋ノ購買及ヒ借入ニ係ル事

第三章 事務順序

第七條 事業ニ要スル物品ノ調度ハ會計官吏ノ主管タリト雖モ其需用ノ緩急及ヒ品位價格等會計官吏ニ通議查閱スルヲ得

第八條 凡ソ製造品及ヒ生産物ハ毎年度數量價格ヲ豫定シ保存賣却ノ區分ヲ立テ前年度四月三十日マ

テニ發送シ裁定ヲ經テ處分スヘシ若シ豫定價格ヲ低減セントスル時ハ更ニ裁定ヲ乞フモノトス

第九條 凡ソ製造品及ヒ生産物ハ價格ヲ附シテ會計官吏ニ引渡スヘシ其物品會計官吏ノ保管中ト雖モ

裝飾手入等ハ協議處分スヘシ

但生産物ハ實際販賣ノ時ニ臨ミ授受スルモノトス

第十條 事業上ニ需用ノ器械其他物件不用ニ屬スルモノハ會計官吏ニ引渡スヘシ

第十一條 凡ソ處分セシ事務ハ毎三箇月取纏メ申報スヘシ

第四章 分科

分科

十七年六月三十日第十一項器械ノ下ハ物品ノ二字ヲ加フ



第十二條 事務所中分科ヲ定ムル左ノ如シ

但科中掛ヲ置キ其事務條項ハ便宜之ヲ定メテ後チ届出ルモノトス

札幌農業事務所

札幌工業事務所

七重農工事務所

根室農工事務所

以上ノ事務所ハ左ノ二科ヲ置ク

庶務科

管業科

炭礦鐵道事務所

本所ハ左ノ四科ヲ置ク

庶務科

炭礦科

鐵道科

會計科

紋盤製糖所

本所ハ左ノ二科ヲ置ク

管業科

會計科

管理局ヨリ農商務省へ上申十七年四月二十五日

客歲三月本局所轄事務所處務規程別紙乙號之通被相定候處其條目中事業事務ト會計事務混同シ且事業場ノ名稱不穩當ノモノモ亦不少候間別紙甲號之通改定御達相成度此段上申候也

炭礦鐵道事務所ヨリ管理局へ伺十七年五月二十一日

一今般御達相成候事務所處務規程第六條裁定ヲ乞フヘキ事項中第九項金錢物品貸付云々ト有之候ハ事

管理局各課事務條項

管理局各課事務條項 十七年五月二日 庶務課

議案掛

第一 本局各課ノ議案ヲ考查シ及字句ヲ修正スル事

但會計法規ニ據リ直ニ執行シ得ヘキモノハ此限ニアラス

第二 本省各局及他官廳ノ回議ヲ查閱スル事

職務掛

第一 局員ノ進退ニ關スル事

第二 局員錄及履歷簿等ヲ調製スル事

ラ人民ノ請願若クハ相當ノ期限ヲ定メ貸付スルモノノ類ニシテ炭坑開採ニ要スル器具ヲ施夫職工人夫へ貸渡シ又ハ鐵道修築引受人ノ如キ本所營業ニ直接關係ノモノヘ其仕事上必要ノ器械ヲ一時貸渡ス等ハ無論該項中ニ含有セサル義ト相心得可然哉  
一同上第十項官金ノ棄捐及ヒ辨償云々ト有之候處鐵道運輸貨物毀損又ハ紛失等ノ節官金ヲ以テ辨償スルモノハ鐵道略則ニ據リ即時處分スヘキ筈ニ付此分ハ本所限リ處分可致儀ト相心得可然哉  
一同上第十一項事業ニ要スル外國品及內國製器械一個金五十圓以上ノ購買又ハ修繕云々ト有之候ニ付テハ他方ヨリ購求スルモノハ右制限ニ據リ處分スヘキハ勿論ニ候處本所事業上必要ノ諸車其他器械等ノ製造及修繕ハ之レカ爲メ設置セル手宮幌內兩工場ニ於テ大概出來シ其代金ノ計算ハ人民ノ依頼ニヨリ製造スルモノト同様取扱候ニ付自然普通購買ノ姿ニ相見ヘ候得共右ハ畢竟營業費ノ收支ヲ明瞭ナラシムル迄ニシテ其實同様營業中自製ニ過キサル儀ニ候ヘハ通常他方ニ求ムルモノトハ大ニ異ナリ候ニ付此類ハ金額ノ多寡ニ係ハラヌ本所限リ處分致シ可然哉  
右至急何分ノ御指揮有之度此段相伺候也  
管理局指令十七年八月十六日  
伺ノ趣左ノ通可相心得事

第一項伺ノ通  
第二項鐵道略則ニ據リ處分ノ上其都度事由ヲ具シ開申スヘシ  
但會計上ノ意見書ヲ添付スヘシ  
第三項所轄工場ニ於テ製造修補スルモノト雖モ代價ノ制限ハ規程ノ通心得ヘキハ勿論ニ候ヘトモ實際難差置場合ニ於テハ假ニ相當ノ手當ヲ爲シ其旨速ニ具申スヘシ



- 第三 出勤簿ヲ調査シ及當直ノ順次ヲ定ムル事
- 第四 局名印章ヲ保管スル事
- 第五 典禮ニ屬スル事  
常務掛
- 第一 布告布達及本省令達等ヲ編纂スル事
- 第二 局長及局名ヲ署スル文書ヲ淨寫スル事  
但附屬書類ハ主務課之ヲ淨寫ス
- 第三 本課ノ文書ヲ淨寫スル事
- 第四 本局報告書及統計表ヲ編纂スル事
- 第五 本局ノ簿冊ヲ管理スル事
- 第六 本局各課ノ主務ニ屬セサル事務ヲ處辨スル事  
受付掛
- 第一 本局一切ノ文書ヲ受付スル事
- 第二 文書件名簿ヲ整理シ及處分遲滯ノ件名ヲ調査スル事
- 第三 召喚人及請謁人ニ關スル事  
管業課
- 農工掛
- 第一 農藝及牧畜ニ關スル事
- 第二 養蠶及紡織ニ關スル事
- 第三 工業製作ニ關スル事
- 第四 炭礦及鐵道ニ關スル事
- 第五 諸事業上需用物品ノ購入ハ其品位價格ヲ査閱スル事

- 第六 産出物品販賣ニ供スル者ハ品位ヲ勘査シ價格ヲ量定スル事  
雜事掛
- 第一 本課所管ノ書類ヲ編纂保管スル事
- 第二 本課ニ關スル文書ヲ受付スル事
- 第三 本課ノ文書ヲ淨寫スル事  
會計課
- 検査掛
- 第一 會計ニ關スル回議ヲ検査スル事
- 第二 會計簿記及財産ヲ監査スル事
- 第三 物品貯藏ノ倉庫開閉ニ臨視シ及現在額ヲ検査スル事
- 第四 金錢及財産上ノ諮問ニ答フル事  
主計掛
- 第一 收入經費及外國ニ關スル費用ノ豫算書ヲ調製スル事
- 第二 收入豫算ノ増減ヲ報告スル事
- 第三 經費科目ノ流用ヲ調製スル事
- 第四 收入經費ノ決算帳ヲ調製スル事
- 第五 歳出入決算報告書ヲ調製スル事
- 第六 金錢及財産ノ簿記ヲ主理スル事
- 第七 金錢物品出納日計表ヲ調製スル事
- 第八 金錢ノ受入及送遣ノ手續ヲナス事
- 第九 收支金及報告ノ回議ヲ調製スル事
- 第十 大藏省納付金ヲ調理スル事



- 第十一 假出金ヲ精算スル事
- 第十二 收入經費ノ精算帳ヲ調査スル事
- 第十三 收入現計書及報告書ヲ調製スル事
- 第十四 收入支出ノ證書ヲ整理スル事
- 第十五 寄托金ノ受拂ヲ報告スル事
- 出納掛
  - 第一 金錢ノ納拂及金券ノ取扱ヲナス事
  - 第二 金錢ヲ送遣スル事
  - 第三 金錢出納ヲ報告スル事
  - 第四 現金在高日計表ヲ調製スル事
  - 第五 現金受拂簿ヲ主理スル事
  - 第六 郵便切手ヲ出納スル事
- 財産掛
  - 第一 土地家屋其他ノ財産ヲ保管スル事
  - 第二 物品ヲ購買シ及授受スル事
  - 第三 諸物件ノ出納帳簿ヲ主理スル事
  - 第四 營繕土木ヲ處理スル事
  - 第五 物品在高日計表ヲ調製スル事
  - 第六 販賣物品毎月受拂ヲ報告スル事
- 雜務掛
  - 第一 本課所管ノ書類ヲ編纂保管スル事
  - 第二 電信及郵便ヲ發遣スル事

管理局所轄各事業場改稱分合

次條ヲ參照スヘシ  
十八年六月二十九日又改稱廢合ス

農商務省上申 十七年五月八日

當省北海道事業管理局所轄事業場今般別表之通改稱及分合致候右ハ客歲一月二十九日本局開設之義御達相成候付屬書類中ノ事業場名稱ニ異同ヲ生候條此段上申候也

北海道事業管理局所轄事業場各改稱分合對比表

名稱舊ニ依テ變セサルモノハ○ヲ冠シテ下段ニ示サス分合ハ弧符ヲ以テ之ヲ分ツ

舊 稱

改稱及分合

○札幌農業事務所  
所管

○札幌育種場

○札幌博物場

札幌綿羊場

札幌牧羊場

- 第三 本課ニ關スル文書ヲ受付スル事
- 第四 本課ノ文書ヲ淨寫スル事
- 第五 給仕小使ノ進退ニ關スル事

會計課

紋髓製糖所

本所ハ左ノ二科ヲ置ク

管業科

會計科

管理局ヨリ農商務省ヘ伺十七年五月二日  
本局各課事務條項客歲四月伺定候處今般處務規程改定御達相成候ニ付從テ事務條項ニ差違キ相生候間別紙ノ通更正施行致度此段相伺候也



○真駒内牧牛場

○札幌草園

札幌桑園及蠶室

○札幌工業事務所

所管

札幌工業試驗場

札幌葡萄酒及釀造所

札幌麥酒釀造所

札幌味噌醬油所

石狩美々罐詰所

札幌製網所

○札幌紡織場

札幌製粉所

陸運改良係

水車器械所

木工所

蒸氣器械所

鍊鐵所

製鐵器械所

鑄造所

厚別器械所

札幌養蠶場

札幌製物試驗場

札幌葡萄酒釀造場

札幌麥酒釀造場

札幌味噌醬油製造場

石狩罐詰場

美々罐詰場

札幌製網場

札幌製粉場

陸運改良掛

札幌木工場

札幌鐵工場

厚別木挽場

○炭礦鐵道事務所

所管

幌内炭硯

幌内鐵道

○七重農工事務所

所管

七重試驗場

七重製造所

七重牧畜場

七重植物園

七重製練場

大野養蠶場

○根室農工事務所

所管

根室牧馬牛場

根室木挽器械所

厚岸別海罐詰所

根室牧畜場

根室木挽場

厚岸罐詰場

別海罐詰場

擇捉臘虎獵場

○紋鼈製糖所

○札幌農學校

擇捉臘虎獵所

第一局副申十七年五月十九日  
別紙農商務省上申事業場名稱及分合ノ件供高覽候也



農商務省上申十七年六月十二日  
 當省北海道事業管理局所轄各事業ハ紋監製糖所ヲ除クノ外舊開拓使ノ設立ニ係リ明治十五年二月廢使ノ際當省并工部省ハ分轄同年夏秋之交內務工部兩卿及小官該道巡視從來之事業繼續維持之方法并將來殖民要務ノ爲メ經營スヘキ事項且從來事業之現況ヲ參酌シ存廢伸縮其宜キヲ量リ取捨セサルヲ得サル旨ヲ連署具狀シ終ニ本省ニ該局ヲ置キ工部省管理ノ分モ當省ニ轉轄相成候處爾來專ラ緩急得失ヲ考覈シ計畫略ホ全キヲ得ルヲ以テ其存廢伸縮之方法左ニ列陳致候

一 札幌農學事務所所屬札幌農學校ノ所屬ニ轉轄之事  
 右ハ農學生徒授業之爲從來同校内ニモ博物場ノ設ケアリ其列品ニ至テハ大同小異或ハ彼ニ存シテ此ニ無キモノアリ轉換流用ヲ要スルコトアリト雖モ其管轄ヲ異ニスルヲ以テ兩ナカラ効用ヲ全フスル能ハス故ニ之ヲ合併スルコトハ列品之整備ヲ得且參觀ニ便ナリ依テ博物場經費ヲ併セ農學校ニ轉轄スヘシ

一 札幌農學事務所所屬札幌農學校ノ所屬ニ轉轄之事  
 右ハ農學生徒授業之爲從來同校内ニモ博物場ノ設ケアリ其列品ニ至テハ大同小異或ハ彼ニ存シテ此ニ無キモノアリ轉換流用ヲ要スルコトアリト雖モ其管轄ヲ異ニスルヲ以テ兩ナカラ効用ヲ全フスル能ハス故ニ之ヲ合併スルコトハ列品之整備ヲ得且參觀ニ便ナリ依テ博物場經費ヲ併セ農學校ニ轉轄スヘシ

一 札幌農學事務所所屬札幌農學校ノ所屬ニ轉轄之事  
 右ハ農學生徒授業之爲從來同校内ニモ博物場ノ設ケアリ其列品ニ至テハ大同小異或ハ彼ニ存シテ此ニ無キモノアリ轉換流用ヲ要スルコトアリト雖モ其管轄ヲ異ニスルヲ以テ兩ナカラ効用ヲ全フスル能ハス故ニ之ヲ合併スルコトハ列品之整備ヲ得且參觀ニ便ナリ依テ博物場經費ヲ併セ農學校ニ轉轄スヘシ

一 札幌農學事務所所屬札幌農學校ノ所屬ニ轉轄之事  
 右ハ農學生徒授業之爲從來同校内ニモ博物場ノ設ケアリ其列品ニ至テハ大同小異或ハ彼ニ存シテ此ニ無キモノアリ轉換流用ヲ要スルコトアリト雖モ其管轄ヲ異ニスルヲ以テ兩ナカラ効用ヲ全フスル能ハス故ニ之ヲ合併スルコトハ列品之整備ヲ得且參觀ニ便ナリ依テ博物場經費ヲ併セ農學校ニ轉轄スヘシ

一 札幌農學事務所所屬札幌農學校ノ所屬ニ轉轄之事  
 右ハ農學生徒授業之爲從來同校内ニモ博物場ノ設ケアリ其列品ニ至テハ大同小異或ハ彼ニ存シテ此ニ無キモノアリ轉換流用ヲ要スルコトアリト雖モ其管轄ヲ異ニスルヲ以テ兩ナカラ効用ヲ全フスル能ハス故ニ之ヲ合併スルコトハ列品之整備ヲ得且參觀ニ便ナリ依テ博物場經費ヲ併セ農學校ニ轉轄スヘシ

一 札幌農學事務所所屬札幌農學校ノ所屬ニ轉轄之事  
 右ハ農學生徒授業之爲從來同校内ニモ博物場ノ設ケアリ其列品ニ至テハ大同小異或ハ彼ニ存シテ此ニ無キモノアリ轉換流用ヲ要スルコトアリト雖モ其管轄ヲ異ニスルヲ以テ兩ナカラ効用ヲ全フスル能ハス故ニ之ヲ合併スルコトハ列品之整備ヲ得且參觀ニ便ナリ依テ博物場經費ヲ併セ農學校ニ轉轄スヘシ

一 札幌農學事務所所屬札幌農學校ノ所屬ニ轉轄之事  
 右ハ農學生徒授業之爲從來同校内ニモ博物場ノ設ケアリ其列品ニ至テハ大同小異或ハ彼ニ存シテ此ニ無キモノアリ轉換流用ヲ要スルコトアリト雖モ其管轄ヲ異ニスルヲ以テ兩ナカラ効用ヲ全フスル能ハス故ニ之ヲ合併スルコトハ列品之整備ヲ得且參觀ニ便ナリ依テ博物場經費ヲ併セ農學校ニ轉轄スヘシ

一 札幌農學事務所所屬札幌農學校ノ所屬ニ轉轄之事  
 右ハ農學生徒授業之爲從來同校内ニモ博物場ノ設ケアリ其列品ニ至テハ大同小異或ハ彼ニ存シテ此ニ無キモノアリ轉換流用ヲ要スルコトアリト雖モ其管轄ヲ異ニスルヲ以テ兩ナカラ効用ヲ全フスル能ハス故ニ之ヲ合併スルコトハ列品之整備ヲ得且參觀ニ便ナリ依テ博物場經費ヲ併セ農學校ニ轉轄スヘシ

一 札幌農學事務所所屬札幌農學校ノ所屬ニ轉轄之事  
 右ハ農學生徒授業之爲從來同校内ニモ博物場ノ設ケアリ其列品ニ至テハ大同小異或ハ彼ニ存シテ此ニ無キモノアリ轉換流用ヲ要スルコトアリト雖モ其管轄ヲ異ニスルヲ以テ兩ナカラ効用ヲ全フスル能ハス故ニ之ヲ合併スルコトハ列品之整備ヲ得且參觀ニ便ナリ依テ博物場經費ヲ併セ農學校ニ轉轄スヘシ

右ハ北海道産出ノ麻苧其質甚タ善良ニシテ網網等ニ使用シ耐久ノ効多シ故ニ植麻ノ業盛ニ行ハレ産出年々多キヲ加フルヲ以テ其消流ヲ謀リ且他ノ輸入ヲ防カシカ爲メ本場ヲ設ケ製品ハ年賦等ノ方法ヲ以テ再ヒ輸入品ヲ需用スルモ多ク加之近年漁業者率テ失敗從テ需用ノ數幾分ヲ減セリ依テ當分消流ノ適度ヲ計リ事業ヲ減縮シ經費金六千圓ヲ限リ之ヲ維持スヘシ

一 蠶種桑苗蠶具拂下之事  
 右ハ北海道蠶業ノ業業ニ開拓使厚ク之ヲ保護シ勸誘獎勵至ラサルナシ其業大ニ進ミ當時頗ル盛價ヲ得シモ廢使以來之ヲ繼續スルモノナク地方廳モ亦他府縣ト共組織ヲ異ニスルヲ以テ其力能ク及フ能ハス收斂年々減シ品位モ亦漸ク下劣ニ屬セリ要スルニ蠶種及ヒ飼桑蠶具ノ不完全ナルニ由ル該道人民ハ移住日尙ホ淺ク資力薄弱ニシテ自ラ其改良ヲ爲ス能ハス今之ヲ保護セサレハ開拓使多年勸誘ノ効終ニ烏有ニ歸シ蠶業廢絶ニ至ルモ亦測ルヘカラス故ニ一箇年金二千五百圓ヲ蠶種桑苗蠶具購入資金トシ拂下ノ方法ヲ設ケ三箇年以内ノ年賦返納ヲ許シ專ラ其改良ヲ獎勵セントス

一 札幌工業事務所所屬札幌製粉場擴張之事  
 右ハ札幌近傍産出ノ小麥ヲ粉砕シ專ラ農産消流ヲ主トシ明治七年ノ創始ニ係リ毎年凡十萬斤ヲ製出セリ然レ同地方産出ノ小麥逐年増加且米國種ヲ播種シ其品位殆ント同國産ノ麵粉ニ下ラス故ニ之ヲ擴張シ一箇年凡百萬斤ヲ製出シ得ヘキ屋宇及ヒ器械ヲ増設セントス今其費用ヲ算スルニ屋宇建設及ヒ器械購入ニ金二萬四千六百七十圓一圓甲俵給雜費工費等ニ金四萬七千五百八十八圓乙合シ七年千八百二十九圓ヲ要ス内甲費并乙費ノ内三萬六千二百五十五圓ハ初年ハ屋宇器械等ノ建設ヲ要シ七年於テ購入スル小麥ノ初年ニ初年ヨリ二年目以後ハ乙費ニノミ交付スヘシ其製粉ハ北海道ノ需用ニ供シ且ツ之ヲ西比里亞地方ニ輸出シ消流ノ見込既ニ確定セリ

一 札幌工業事務所所屬陸運改更掛廢止之事  
 右ハ馬車運傳ノ不便ヲ改更セシメテ圓形明治十一年該掛ヲ設ケ專ラ馬車及轎車ヲ使用シ先ツ之ヲ札幌小樽間ニ試ミ鐵道布設ノ後更ニ札幌室蘭間ニ轉用セシメ沿道人民大ニ其便益ヲ覺リ之ヲ使用スル者漸ク多ク各驛車橋ノ設ケ略ホ準備セシメテ以テ最早官設ヲ解クモ運輸阻滯ノ患ナシ若シ之ヲ繼續施行スルハ却テ官民對峙ノ勢ヲ生シ最初創立ノ趣意ニ悖戻スルノ恐レアリ故ニ之ヲ廢止シ其物件ハ沿路各驛ニ適宜ノ方法ヲ以テ拂下クヘシ

一 札幌工業事務所所屬味噌醬油製造場拂下之事  
 右ハ初メ篠路及ヒ札幌ニ各一箇所アリ製ニ之ヲ拂下ケ人民ノ營業ニ歸セシカ其後札幌内炭礦并鐵道開設ニ際シ抗夫職工俄ニ輻湊シ二箇所ノ製造共需用ニ應スル能ハサルヲ以テ更ニ本場ヲ札幌ニ設置セリ抑モ移民來住ノ營初ニアリテハ此等ノ業ニ從事シ得ヘキ資本ヲ有スル者ナク勢ヒ官設ニ出テサルヲ得サリシモ其今日ニ在テハ之ヲ民業ニ歸スルヲ得策トス且本業ハ收支相償ヒ若干ノ潤益アリ依テ工場拂下概則ニ準據處分スヘシ

一 七重農工事務所所屬牧羊場ノ牧馬場ニ變換之事  
 右ハ米國及ヒ清國ヨリ各種ノ綿羊ヲ移畜シ繁殖其法ヲ得シモ肺蟲症ニ罹リ斃死スルモノ陸續絶ヘス



救治撲滅ノ方到底共効ヲ奏セス蓋シ地勢ノ相適セサルニ由ル故ニ之ヲ廢シ更ニ牧馬場ト爲サントス  
 其費用ヲ算スルニ初年ハ金一萬九千九十三圓餘二年目ヨリハ金四千九百三十三圓餘ヲ要ス而シテ牧馬ノ北  
 海道ニ適スルハ既ニ世ノ大ニ信スル所ナリ故ニ今之ヲ養セス  
 一七重農工事務所所屬大野養蠶場事業擴張之事  
 右ハ桑園地積三百三十餘町歩桑樹殆ント二十二萬株而シテ蠶室ハ蠶種三十枚ヲ飼養スルニ過キス每  
 歲桑葉共半ヲ剩スモ該地方野桑ニ富ミ之ヲ購求スル者ナシ故ニ蠶室及ヒ器具ヲ増築シ蠶種六十枚ヲ  
 飼養セントス其費用初年ハ金三千五百三十四圓二年目ヨリハ金千三百三十四圓ヲ交付スヘシ  
 以上各項存廢伸縮之義ハ其事業ノ緩急ヲ參酌シ將來之得失ヲ考覈セシモノニシテ要スルニ拓地殖民ノ  
 要務實ニ急務ニシテヘカサルモノニ有之右經費流用其他明細調ハ別冊ニ錄呈候通リ彼此融通成ルヘク増  
 額ヲ要セサル目的ヲ以テ計登候得共結局金三萬五千七百七十圓内正貨七千三百三十二圓ノ不足ヲ告ケ此上節  
 減スヘキ方法無之候間更ニ十七年度經費増額トシテ御下付相成度尤モ實際事業ノ組織ハ到底前陳ノ如  
 クセサルヲ得ス且ツ著手ノ準備ハ之ヲ今日ニ豫定セサレハ施設緩急其序ヲ誤リ候條至急裁可相成度此  
 段上請候也他別冊詳述ハ省ケテ  
 指令 十七年六月二十七日

上請ノ趣經費別途増額ノ儀ハ難聞屆候條該局經費内ヲ以テ流用支辨スヘシ

大藏省副申 十七年六月十七日  
 農商務省上請北海道事業存廢伸縮及ヒ經費流用等ノ件審案候處共事業ノ計畫ニ從ヒ經費流用候義ハ異  
 存無之候得共十七年度經費増額ノ事ニ至テハ嘗テ同年度豫算上ニ付及具申置候次第ニ付無論御聞屆難  
 相成筋ト存候別紙進呈此段上申候也  
 第一局議案 十七年六月二十四日  
 別紙農商務省上請事業存廢伸縮及ヒ經費流用等ノ件ヲ案スルニ北海道事業管理局所轄各事業中共緩急  
 ヲ參酌シ將來ノ得失ヲ考覈シ更ニ夫々與廢伸縮セシカ爲メニ要スル費金三萬餘圓十七年度ニ於テ經費  
 増額トシテ下付ヲ請フ旨ニ有之案スルニ時ニ隨ヒ共事業ノ伸縮與廢ヲ爲サレハヘカサルハ勿論ノ儀  
 ニシテ之レカ爲メ經費ノ増加ヲ請フハ一應無餘儀次第ニ相開候得共同年度歲入出豫算額ハ過般御達ノ  
 通ニシテ右等ノ際ヘ支出スヘキ金額無之儀ニ候得ハ經費金別途増額ノ儀ハ到底御聽許難相成儀ニ付經  
 費中ヲ以テ流用支辨スヘキ旨左案ノ通御指揮相成可然歟大藏省副申相添仰高裁候也  
 農商務省上申 十七年七月十六日  
 當省北海道事業管理局所轄札幌味噌醬油製造工場場下概則ニ準シ處分之義客月乾理第一三五號ヲ以  
 テ上請裁可相成候處右概則第二項ニ據レハ從前興營兩業費支辨ニ係ルモノハ其原費額ヲ以テ夫々拂下  
 ヘキ精神ト相解シ候得共抑本場ノ設立ハ明治十二年ニ在テ建築其他ノ物品當時ノ費用ト方今ノ費用ト  
 ヲ參照比較スレハ大ニ差異ヲ生シ加之追々年數ヲ經候ニ付今日原價ヲ保維スヘカサルハ勿論ニ有之  
 候尤本場ハ組織整備シ當初ノ目算ニ適フト雖モ收支ハ稍相償フニ止リ未タ多分ノ利益モ無之原價ヲ以  
 テ拂下ヲ請フモノアルハ到底望ムヘカサル事情ニ候間總テ相當ノ評價ヲ以テ拂下著手候條此段豫メ

申候也

農商務省達 十七年七月十六日  
 其所々管札幌博物場所札幌農學校へ轉轄之義客月三十日電報達之通相心得本場之事務并物件總テ引  
 渡スヘシ就テハ前年度該場ニ充ル經費金四千七百五十一圓ヲ以テ十七年度其所經費豫算額ノ内減額ス可  
 キ義ト可心得此旨相達事  
 農商務省達 十七年七月十六日  
 其所々管札幌製物試驗場石狩美々兩罐詰場札幌製網場札幌味噌醬油製造場陸運改頁掛處分之義客月三  
 十日電報達左ノ通心得ヘシ  
 一 札幌製物試驗場  
 右ハ札幌農學校へ轉轄ニ付本場之事務并物件總テ引渡スヘシ就テハ前年度該場ニ充ル經費金三千二  
 百五十一圓ヲ以テ十七年度其所經費豫算額ノ内減額スヘシ  
 一 石狩罐詰場  
 右ハ十七年度經費金五千圓交付スヘキニ付該金額限事業經營スヘシ  
 一 札幌製網場  
 右ハ十七年度經費金六千圓交付スヘキニ付該金額限事業經營スヘシ  
 一 札幌味噌醬油製造場  
 右ハ工場拂下概則ニ準據拂下候旨ニ付該場ノ地積及ヒ建造物其他之物件從前興業費營業費ヲ區別シ  
 尙現今ノ評價書共取懸メ往復ノ除之外二十日限調整進達スヘシ  
 一 陸運改頁掛  
 一 美々罐詰場  
 右ハ廢止シ物件處分之義ハ尙書ヘ指令之通リ  
 右相達候事  
 農商務省達 十七年七月十六日  
 札幌農務事務所々管札幌博物場所札幌製工業事務所々管札幌製物試驗場共校へ轉轄之義客月三十日電報  
 達之通相心得兩場之事務及物件總テ受取ヘシ就テハ前年度博物場所ニ充ル經費金四千七百五十一圓製物  
 試驗場ニ充ル經費金三千二百五十一圓合計金八千二百零二圓十七年度其校經費増額トシテ交付候條此旨相達  
 候事  
 農商務省達 十七年七月十六日  
 札幌農務工業兩事務所所轄各場ノ内農學校へ轉轄及事業伸縮等ノ義ニ付別紙之通札幌各所校へ相達候  
 條此旨相達候事  
 北海道事業管理局ヨリ農商務省へ同十七年七月一日  
 右ハ客月乾理第一三五號ヲ以テ太政官へ上請裁可ニ付已ニ電報達濟之分尙左案之通達相成可然哉此段  
 相候也



七重農工事務所ヨリ管理局へ届十七年十一月二十一日  
當所屬地枯野野牧羊場ヲ牧馬場ニ變更セシメラレ去ル九月中該變更増費御交付早々著手可致旨御指令  
相成候ニ付目今該事業ニ著手ノ折柄ニ就テハ從來ノ牧羊掛ヲ廢シ更ニ牧馬掛ニ合併セシメ候間此段御  
届仕候也

農商務省達

北海 道 事 業 管 理 局  
十七年六月三十日

本年五月乾理第九九號達其局所轄事務所處務規程第六條十一項器械ノ下へ物品ノ二字追加候條此旨相達  
候事

管理局ヨリ農商務省へ開申十七年六月二十四日  
過般御達相成候當局所轄事務所處務規程第六條十一項へ追加之儀左案之通御達相成度此段開申候也

管理局所轄事務所處務  
規程第六條十一項へ追  
加  
根室農工事務所事務條  
項

根室農工事務所ヨリ管理局へ届

十七年八月二十日

本年五月北發庶第三一六號ヲ以當所處務規程御改正相成候ニ付昨十六年三月ヨリ六月迄ノ報告書中ニ  
記載有之候事務條項今般別紙ノ通改正仕候間此段及御届候也

根室農工事務所事務條項

庶務科

本科ハ根室牧畜場同木挽場厚岸鐘詰場別海鐘詰場擇捉臘虎獵場ノ記録事務及所中公文ノ受付所員ノ進  
退等ニ關スル事務ヲ擔當ス

書記係

- 第一 命令ヲ受ケ文案ヲ起草スル事
- 第二 諸議案ノ考查及諸規則ニ關スル事
- 第三 所員ノ進退ニ關スル事務ヲ取扱フ事
- 第四 所印及ヒ科印ヲ監守スル事
- 第五 所中ノ職員録及所員ノ履歷書ヲ整理スル事

- 第六 所員ノ出勤簿ヲ調査シ及當直順次ヲ定ル事
- 第七 褒賞及ヒ典禮ニ屬スル事務ヲ取扱フ事
- 第八 命令ヲ傳達スル事

常務係

- 第一 各科ニ屬セサル公文及事務ヲ取扱フ事
- 第二 所長名及ヒ所名ヲ署スル文書ヲ淨書スル事  
但附屬書類ハ其主科ニ於テ淨寫ス
- 第三 布告布達及本省其他ノ令達ヲ編纂スル事
- 第四 本所報告書及統計表ヲ調理スル事
- 第五 本所ノ簿冊ヲ編纂保管スル事
- 第六 細大ノ事件ヲ日誌へ登記スル事
- 第七 本所費用調査ノ事  
受付係

- 第一 所中諸般ノ公文ヲ受配スル事
- 第二 公文ノ件名簿ヲ整理スル事
- 第三 毎月末件名簿ヲ檢シ處分淹滞ノ件名ヲ具申スル事
- 第四 毎月末回議決判ノ數及受付數ヲ調査スル事
- 第五 公文往復ノ事務ヲ取扱フ事

管業科

本科ハ根室牧畜場同木挽場厚岸鐘詰場別海鐘詰場擇捉臘虎獵場ノ事業ヲ管理ス現業者ノ監督ニ係ル事  
務ヲ擔當ス  
事業掛



- 第一 事業ノ興廢及維持法方ノ事
  - 第二 事業上需用ノ物品ニ關スル事
  - 第三 製産物ノ適否ヲ監別シ改良ノ方法ヲ考案スル事
  - 第四 製産物ノ價格及ヒ保管ノ事
  - 第五 事業ノ實況ヲ彙輯シ佗ノ諮問ニ對シ之ヲ辨明スル事
- 雜事掛
- 第一 本科所管ノ書類ヲ編纂保管スル事
  - 第二 本科ニ關スル文書ヲ受配スル事
  - 第三 各場舍倉庫敷地反別等ニ關與スル事
  - 第四 製産物收支ニ關與スル事
  - 第五 牛馬其他製産物ヲ賣却スル員數ヲ定ムル事
  - 第六 事業場ニ關スル費用調査ノ事

札幌農學校附屬農園ノ名稱ヲ改ム

札幌農學校ヨリ管理局ヘ同十七年十一月十日  
當校附屬園ノ儀ハ從來校園又ハ農校園ト唱來候處右ハ英語コレインジファーム之直譯ニテ文字甚タ不  
穩當ニ有之ニ付テハ以來札幌農學校所屬農園ト相稱尙先般轉轉相成候兩場ノ義モ別記ノ通り相稱度此  
段相伺候也  
(別記)

札幌農學校所屬博物院  
札幌農學校所屬製物試驗場

管理局指令 十七年十二月十日

伺之趣聞届候事

農商務省達 十八年五月三十日  
管理局

明治十七年五月 乾理第九九號達所轄事務所處務規程別紙ノ通改定候條來ル七月一日ヨリ施行可致此旨相

達候事

管理局所轄事務所處務規程

第一條 事務所ハ左ノ區別ニ因リ各事業ヲ分管ス

札幌農業事務所

所管

札幌育種場

眞駒内牧牛場

札幌牧羊場

札幌養蠶場

札幌葎草園

所管

札幌麥酒醸造場

札幌葡萄酒醸造場

札幌製粉場

石狩罐詰場

札幌製網場

札幌紡織場

札幌鐵工場

札幌木工場

原別木挽場

炭礦鐵道事務所

所管

幌内炭礦

幌内鐵道

七重農工事務所

所管

七重牧畜場

七重育種場

七重水車場

大野養蠶場



根室農工事務所

所管

- 根室牧畜場
- 厚岸鑑詰場
- 擇捉臘虎獵場
- 根室木挽場
- 別海鑑詰場

紋鼈製糖所

- 第二條 事務所ハ凡テ此規程ヲ履行スヘシト雖モ特ニ定例成規アルモノハ該例規ニ據ル
- 第三條 所長ハ事ヲ局長ニ受ケ所員ヲ統率シ主管ノ事務ヲ處理ス
- 第四條 所長ハ主管ノ事務ニ就テハ局長ニ對シ其責ニ任シ及其得失ヲ辯明スルモノトス
- 第五條 副長ハ職掌長ニ亞ク
- 第六條 正副所長事故アルトキハ所員ヲシテ代理セシムルコトヲ得
- 第七條 左ノ各項ハ事由ヲ具シ裁定ヲ請フヘシ

但特ニ許可アルモノハ此限ニアラス

- 一 准奏任官以上ノ分擔ヲ定ムル事
- 二 判任官以下所員ノ進退ニ關スル事
- 三 但月俸二十圓日給六十五錢以下ノ雇員ハ此限ニアラス
- 四 外國人トノ締約及雇外國人ノ休暇又ハ旅行ニ係ル事
- 五 賞與慰勞手當ノ事
- 六 但傭員以下即時獎勵ヲ要スルトキハ手當トシテ一人金五圓以下ヲ給スルヲ得
- 七 所在地方應管外ニ所員ヲ派出スル事
- 八 例規ナキ金錢收支ニ係ル事
- 九 金錢物品ノ貸借及贈與ニ係ル事

- 八 官金ノ繰換又ハ辨償ニ係ル事
- 九 收入豫算ノ増減ニ係ル事
- 十 土木營繕ニ廉金五十圓及修繕模樣替金百圓ニ超過スルモノニ係ル事
- 但災變ニ際シ稟議ノ暇ナキトキハ直ニ處分シテ後具申スルヲ得
- 十一 内外國物品一個金五十圓ニ超過スル購買又ハ修繕ニ係ル事
- 十二 土地家屋ノ貸借ニ係ル事
- 十三 不用ニ屬スル物品一個金五十圓ニ超過スルモノ、處分ニ係ル事
- 十四 諸物産ノ賣價ヲ豫定スル事
- 十五 家畜種苗ノ類保存賣却區分ヲ豫定スル事
- 第八條 事務所中分科ヲ定ムル左ノ如シ

但科中掛ヲ置キ其事務條項ハ便宜之ヲ定メ届出ルモノトス

- 札幌農業事務所
- 七重農工事務所
- 根室農工事務所
- 紋鼈製糖所
- 庶務科
- 管業科
- 會計科
- 札幌工業事務所
- 庶務科
- 管業科
- 建築科



會計科  
炭礦鐵道事務所

庶務科  
炭礦科  
鐵道科  
會計科

第九條 凡ソ處分セシ事務ハ毎三箇月取纏メ其翌月十日限局長ニ届出ヘシ

管理局ヨリ農商務省ヘ伺十八年四月二十七日  
當局事務條項及所轄事務所處務規程ノ儀ハ客歲五月更正以來猶實際ニ就キ檢考候ニ今日ニ至リテハ少シク所長ノ權限ヲ廣クシ將來事業ノ進歩ヲ謀ルコト緊要ニシテ會計事務ノ如キモ主務官在勤無之事務所ニハ新ニ會計ノ一科ヲ置キ所長分掌中ノ一部トシ本局ハ其總體ヲ管理候方事務圓滑實際都合ト被存候ニ付各所長ヘモ諮問ノ上別紙ノ通更正致度候條允許ノ上ハ來七月一日ヨリ施行ノ儀御達相成度別紙御達案相添此段相伺候也  
但札幌農學校職制ハ已ニ太政官ヘ御稟議中ニ付右御決裁迄ハ假ニ事務所處務規程ニ準シ爲取扱度又工業事務所所屬味噌醬油製造場ハ即今拂下處分中ニ付此名稱ヲ除キ且七重農工事務所事業場ノ名稱ヲモ此際相改候管ニ候也

管理局事業場改稱廢合

農商務省上申 十八年六月二十九日

當省北海道事業管理局所轄事業場ノ内別紙ノ通改稱及ヒ廢合致候右ハ客歲五月八日乾理第一〇三號上申以後ノ變更ニ有之候條此段上申候也

北海道事業管理局所轄事業場名改稱廢合

札幌農業事務所

所管

札幌博物場

札幌工業事務所

札幌農學校ヘ附屬

所管

札幌製物試驗場

札幌味噌醬油製造場

美々罐詰場

陸運改良掛

七重農工事務所

所管

七重植物園

七重製練場

札幌農學校ヘ附屬

札幌縣士族森彌市ヘ拂下

廢止

同上

七重育種場ト改稱

七重水車場ト改稱

北海道事業管理局ノ廢

布告 十九年一月二十六日 内閣總理大臣伊藤博文 農務大臣伯山 農務大臣子爵谷干城 農務大臣伯山

北海道ハ土地荒蕪住民稀少ニシテ富庶ノ事業未タ昔ク邊隅ニ及フコト能ハス今全土ニ通シテ拓地殖民ノ事業ヲ舉グルカ爲ニ從前置ク所ノ各廳分治ノ制ヲ改ムルノ必要ヲ見ル因テ左ノ如ク制定ス

第一 函館札幌根室三縣并北海道事業管理局ヲ廢シ更ニ北海道廳ヲ置キ全道ノ施政并集治監及屯田兵開墾授産ノ事務ヲ統理セシム

第二 北海道廳ヲ札幌ニ支廳ヲ函館根室ニ置ク  
農商務省達 十九年一月二十八日

今般第一號布告ヲ以テ其局事務北海道廳管理ニ屬セラレ候ニ付事務引繼方取調可申出此旨相達ス  
庶務課ヨリ農商務省ヘ伺十九年一月二十七日

今般第一號布告ヲ以テ管理局被廢候ニ付テハ事務引繼ニ付左案御達相成可然哉此段相伺候也  
農商務省書記官通知 十九年二月十九日  
舊管理局本日舊箱崎出張所ヘ移轉當分同所ニ於テ事務取扱候趣ニ付爲念此段及御通知候也



北海道殖民事務山林事務等ヲ北海道廳ノ管理ト爲ス

農務局所管各作業所  
大徐ヲ容テスヘシ

官職門 官制 農商務省

三百九十四

農商務省達 十九年二月二十七日  
從來當省主管ニ係ル北海道殖民事務山林事務及蠅蟲驅除ノ事務自今其廳ニ於テ管理スヘシ  
但事務之儀ハ主務ノ各局課ヨリ引繼ヘシ

農商務省記録 十四年四月十四日

農務局ニ四課二掛其他左ノ通設置ス

- 報告課 陸産課 水産課
- 地質課 庶務掛 算査掛
- 駒場農學校 局長付書記
- 富岡製絲所 千住製絨所 新町紡績所
- 愛知紡績所 廣島紡績所 三田農具製作所
- 紋籠製糖所

○駒場農學校ハ十一年一月開設シ十四年四月建省ノ際内務省ヨリ繼受シ十五年五月職制ヲ定メ同九月職制ヲ改メ同十二月山林學校ヲ置キ十九年七月二校ヲ併セテ更ニ東京農林學校ヲ駒場ニ置キ官制ヲ定ム

○富岡製絲所ハ初製絲場ト稱ス三年閏十月創置民部省庶務司之ヲ管シ四年七月大藏省勸業司ニ屬シ同年八月勸業司ニ屬シ五年十月租稅寮ニ屬シ七年一月内務省勸業寮ニ屬シ十年一月勸業局ニ屬シ十年九月製絲所ト改稱シ十四年四月農商務省ニ屬ス此ニ至リ工務局ノ管理ト爲シ十六年五月農務局ニ屬シ十八年一月特立ト爲シ十九年四月官制ヲ定ム

○千住製絨所ハ九年三月ノ創設ニシテ初千住羅紗製造所ト稱シ十年七月改稱シ十一年六月事業ヲ始ム十四年四月建省ノ際内務省ヨリ繼受シ十九年四月官制ヲ定メ二十一年七月三日陸軍省ニ屬シ官制自ラ廢ス

○新町紡績所ハ八年三月ノ創設ニシテ初メ新町驛層絲紡績所ト稱シ十年十月改稱シ營業ヲ始ム十四年四月建省ノ際内務省ヨリ繼受スル所十九年四月官制ヲ定メ二十年五月沽却シ官制從テ廢ス

○愛知紡績所ハ十一年七月設置ノ計畫ヲ爲シ十四年二月功ヲ竣リ同四月建省ノ際内務省ヨリ繼受シ同十二月營業ヲ始メ十九年九月十七日沽却ス

○廣島紡績所ハ十二年九月設置ノ計畫ヲ爲シ十四年四月建省ノ際内務省ヨリ繼受シ同年六月功ヲ竣リ十五年五月十五日廣島縣ニ交付ス

農務局所管ノ事務ヲ工務局ニ劃屬ス

十六年五月三日富岡製絲所ヲ農務局ノ管理ト爲ス  
二十年五月十二日新町紡績所ヲ下  
二十一年七月三日千住製絨所ヲ陸軍省ニ屬ス  
十九年九月十七日愛知紡績所ヲ下  
十五年五月十五日廣島紡績所ヲ廣島縣ニ交付ス  
十六年二月十九日紋籠製糖所ヲ北海道殖民事務局ニ屬ス管理ノ部ニ置ス

各作業所事務專決權限  
十八年二月二十四日富岡製絲所事務專決權限ヲ更定ス

官職門 官制 農商務省

三百九十五

農商務省達 十四年四月十五日

一 富岡製絲所  
一 新町紡績所  
一 千住製絨所  
一 愛知紡績所  
一 廣島紡績所  
一 紋籠製糖所

其他綿絲紡績所建築ニ係ル一切ノ事務及レノ製造ノ事務  
右自今工務局管理ニ付シ候條事務引繼キ可申此旨相達候事

農商務省達 十四年四月十五日

一 富岡製絲所  
以下前ニ同シ

右自今其局管理ニ付シ候條事務農務局ヨリ引受可申此旨相達候事

書記局ヨリ農商務省ヘ同十四年四月日職  
舊勸業局所管ノ内製造ニ係ル事務別紙農務局長伺ノ通工務局所管相成候條致度兩局ヘノ御達案相添此段相伺候也 別紙省

各作業所事務專決權限 十四年五月二十日  
富岡製絲所



本所ノ所長ヘ事務專決ノ權限ヲ附與スル左ノ如シ

- 第一條 繭絲賣買ノ事
- 第二條 諸職工ヲ事務ノ緩急ニ憑リ増減シ或ハ其給料ヲ適宜増減スル事
- 第三條 諸職工ノ勤惰ヲ勸懲スル爲メニ勸ハ金二圓ヨリ多カラス懲ハ給料ヲ減シ或ハ放免ニ止ルノ處分ヲナス事
- 第四條 營業費金五十圓ニ過サル費額ヲ以テ諸建物ノ修繕及所中要需ノ物品ヲ買辦シ或ハ器械ノ缺乏ヲ補ヒ又ハ之ヲ修覆スル事
- 第五條 所中事務ノ分科擔當吏員ノ係替ヲナス事
- 第六條 在勤官員及ヒ職工等定式ノ公事ニ付地方ヘ出張スル事
- 第七條 所中ノ事務上事ノ瑣末ニ涉リ地方勸業課等分課中ヘ往復シテ辨スヘキモノハ所長ノ名ヲ以テ文書往復スル事
- 第八條 所中一切ノ費用ハ簿冊ニ詳録シ每件所長ノ檢印ヲナス事
- 千住製絨所
- 本所ノ所長ヘ事務專決ノ權限ヲ附與スル左ノ如シ
- 第一條 羊毛製絨賣買ノ事
- 第二條 諸職工ヲ事務ノ緩急ニ憑リ増減シ或ハ其給料ヲ適宜増減スル事
- 第三條 諸職工ノ勤惰ヲ勸懲スル爲メニ勸ハ金二圓ヨリ多カラス懲ハ給料ヲ減シ或ハ放免ニ止ルノ處分ヲ爲ス事
- 第四條 營業費金五十圓ニ過サル費額ヲ以テ諸建物ノ修繕及所中要需ノ物品ヲ買辦シ或ハ器械ノ缺乏ヲ補ヒ又ハ之ヲ修覆スル事
- 但興業中ニ屬スル費用モ本文ニ照據スヘシ
- 第五條 所中事務ノ分科擔當吏員ノ係替ヲナス事
- 第六條 所中ノ事務上事瑣末ニ涉リ地方勸業課等分課中ヘ往復シテ辨スヘキモノハ所長ノ名ヲ以テ文

十六年二月二十六日第六條改正

十九年四月十六日千住製絨所官制ヲ定ム官等編制ノ部ニ載ス等テ處務順序ヲ定ム處務規程ノ部ニ載ス

書往復スル事

第七條 所中一切ノ費用ハ簿冊ニ詳録シ每件所長ノ檢印ヲナス事

新町層絲紡績所

本所ノ所長ヘ事務專決ノ權限ヲ附與スル左ノ如シ

- 第一條 層絲賣買ノ事
  - 第二條 所中事務ノ分科擔當吏員ノ係替ヲナス事
  - 第三條 所中業務ノ緩急ヲ計リ技手技女ノ増減或ハ其給料ヲ適宜増減スル事
  - 第四條 技手技女ノ勤惰ヲ勸懲スル爲メニ勸ハ金二圓ヨリ多カラス懲ハ給料ヲ減シ或ハ放免ニ止ルノ處分ヲ爲ス事
  - 第五條 營業費金五十圓ニ過サル費額ヲ以テ諸建物ノ修繕及所中要需ノ物品ヲ買辦シ或ハ器械ノ缺乏ヲ補ヒ又ハ之ヲ修覆スル事
  - 第六條 所中一切ノ費用ハ簿冊ニ詳録シ每件所長ノ檢印ヲナス事
  - 第七條 所中ノ事務上事ノ瑣末ニ涉リ地方勸業課等分課ヘ往復シテ辨スヘキモノハ所長ノ名ヲ以テ文書往復スル事
  - 第八條 諸擔當ノ官員及ヒ技手其外小使雇夫ニ至ル迄本所定式要務ノ爲メ地方ヘ派遣セシムル事
  - 第九條 所長出京不在ノトキ次席ノモノヲシテ事務ヲ代理セシムル事
- 工務局ヨリ農商務省ヘ伺十四年五月九日  
 舊勸農局所屬タリシ各製作所今同當局所屬ニ被附依テハ差向千住製絨所富岡製絲所新町紡績所之三箇所々長權限別紙之通舊勸農局之既定ニ依リ履行仕度此段相伺候也五月二十日  
 但別紙中名稱之變更及實施上要件懸紙ニテ訂正候事
- 農商務省達十四年八月八日  
 其局所管下總種畜場事務別紙ノ權限ヲ以テ可取扱此旨相達候事  
 但施行ノ都度開申スヘシ

十六年二月二十六日第八條改正

十九年十一月二十五日新町紡績所事務專決權限ヲ定ム

下總種畜場事務權限



(別紙)

農務局長ハ下總種畜場在勤官員中一名ヲ特選シ卿ノ決判ヲ經テ本場事務主任者トナシ左記ノ權限ヲ付與スヘシ

十五年二月四日第一項(但書ヲ追加ス)  
十五年八月七日權限中改正附加

- 第一 在勤ノ官員以下ヲ該場要務ノ爲メ東京千葉等ニ派出セシムルコト
- 第二 在勤官員以下養痾ノ爲メ旅行及ヒ湯治又ハ父母疾病危篤ニヨリ歸省等ノ願ヲ許可スル事
- 第三 牧夫等ノ勤惰ヲ考ヘ左ノ限内ニ於テ處分スルコト
  - 一金二圓五十錢以內ノ慰勞金ヲ給與スルコト
  - 一給料ヲ減シ又ハ解免スルコト

第四 該場定額金ヲ以テ仕拂フヘキ飼料肥料諸建物ノ修繕場中要需ノ物品及ヒ器械ノ補充修理等ノ諸

第五 前記各項ノ事件ハ施行ノ都度本局長ニ届出ヘシ

農務局ヨリ農商務省ヘ伺十四年七月二日  
該場之儀ハ遺隔ノ場所ニシテ今般制定之處務規程ニテハ事務上支之儀モ有之候間從前特別ヲ以テ内務卿ヨリ付與相成居候權限ヲ斟酌シ更ニ左之權限御付與相成候様仕度此段相伺候也  
○下總種畜場ハ八年五月牧羊場ヲ下總國印旛地生兩郡内ニ設ク是ヨリ先内務省香取縣岡ノ牧場ヲ管ス  
十三年一月下總牧羊場香取種畜場ヲ合シテ下總種畜場ト改稱シ十四年四月建省ノ際内務省ヨリ繼受シ十八年六月十八日宮内省ニ屬シ十九年四月該場ヲ借用シテ又種畜場ヲ置キ官制ヲ定メ二十年四月二十八日嶺岡支牧場ヲ貸與シ二十一年三月六日宮内省ニ還付シ從テ官制ヲ廢ス

各作業所ノ長代理方

工務局達 十四年九月二十六日

其同心得之者出張或ハ歸省忌引等之節ハ次席之者所長之見込ヲ以テ令代理事務差支無之様可取計且本局ヘ其時々可届出此段相達候事

工務局ヨリ農商務省ヘ伺十四年九月二十二日  
各作業所所長同心得之者出張或ハ歸省忌引等ノ節處務代理人之儀ハ時々經伺ノ上施行可爲致管之處右ニテハ遺隔之地方等ハ往復而已ニ其時日ヲ經過候テハ實際之不辨而已ナラス素ヨリ作業所之如キハ事務活機ニシテ其緩急豫メ難期隨テ其順序ヲ難經場合モ有之候得ハ各工業場所長不在之節ハ次席ノ者ヲ

以テ適宜令代理其時々本局ヘ届出候様爲致度則左案之通各作業所ヘ達案相伺候也 九月二十六日

下總種畜場事務權限第一項(但書ヲ追加ス)

農商務省達 十五年二月四日

下總種畜場事務權限第一(但書左ノ通追加候條此旨相達候事

但主任者自ラ出張ヲ要スルトキハ預メ伺出ツヘシ若シ至急ヲ要スル場合ニ於テハ出張ノ後其事由ヲ具申スヘキ事

農務局ヨリ農商務省ヘ伺十四年十一月二日  
當局所轄下總種畜場事務權限過般御達ノ次第モ有之候ニ付右ニ照準夫々處分罷在候得共該場主任者ニ於テ御用向ノ爲メ出京及千葉縣下出張等ヲ要スル場合ニ於テハ何等明文無之爲メニ其時々經伺御差圖ヲ待テ進退罷在候得共遺隔ノ場所實際差支不尠候條兼テ御達相成候權限中第一左ノ但書追加御達相成候様致度此段上申候也

愛知種畜所ノ長權限

農商務省達 十五年二月二十四日

其所長ニ權限ヲ附與スル左ノ如シ

- 第一條 原綿買入及ヒ紡績綿絲賣捌ノ事
- 第二條 事務ノ緩急ニ憑リ諸職工ヲ増減シ若クハ其給料ヲ増減スル事
- 第三條 諸職工ノ勤惰ヲ勸懲スル爲メ金二圓ヨリ多カラサル慰勞金ヲ與ヘ或ハ給料ヲ減シ若クハ放免スル事
- 第四條 營業費金五十圓ニ過サル費額ヲ以テ諸建物ノ修繕及所中要需ノ物品ヲ買辦シ或ハ器械ノ缺乏ヲ補ヒ又ハ之ヲ修覆スル事

十五年三月十一日第四條第五條第六條中改正

第五條 所中事務ノ分科擔當吏員ノ係替ヲナス事

第六條 在勤官員及ヒ職工等定式ノ公事ニ付地方ヘ出張セシムル事

但シ執行ノ後直チニ可届出

第七條 所中ノ事務上於テ地方勸業課及ヒ同分課中ヘ往復シテ辨スヘキモノハ所長ノ名ヲ以テ文書往

十六年二月二十六日第六條ヲ改正ス



復スル事

第八條 各地紡績所設置人ヨリノ依頼ニ應シ自費生徒ヲ引受ケ現業傳習セシムル事  
 第九條 所中ニ於テ實驗シタル該業必用ノ事項アラハ之ヲ本局及ヒ各地紡績所設置人へ報告スル事  
 第十條 總テ會計上ニ關スル事ハ會計主務官吏へ協議スヘキ事

工務局ヨリ農商務省へ同十四年十二月十二日  
 當局所屬愛知紡績所々々長權限別紙之通り履行爲致度尤他日變更等之儀モ有之候ハ、其都度經伺之上施行仕候此段相伺候也  
 但シ追テ會計主務規定被相定候上抵觸ノ廉更正ノ積

愛知紡績所々々長權限中更正

工務局ヨリ農商務省へ同十五年三月二日

當局所屬愛知紡績所々々長權限之儀別紙之通同濟ニ候處差支之義モ有之候ニ付第四條但書增加并第六七條更正方左之通取計度此段相伺候也  
三月十一日 決刊

第四條

營業費金云云

但外國品購買之義ハ別ニ規則アルヲ以テ本文ノ限ニアラス

第六條

(定式ノ公事ニ付)ノ下へ(愛知縣管内若クハ其近傍)ノ十二字ヲ加エ(地方)ノ二字ヲ删除ス

第七條

(地方勸業及同分課中へ)ノ下(對シ所長ノ名ヲ以テ文書往復スル事)ト改ム

紋襪製糖所長事務專決權限

紋襪製糖所長事務專決權限 十五年五月五日

第一條 甜菜根買入及ヒ製糖々蜜酒精賣捌ノ事

第二條 諸職工日給六十錢以下ヲ以テ傭入職務ノ優劣ニ憑リ其給料ヲ適宜増減シ休業中解雇スル事

第三條 諸職工ノ勤惰ヲ勸懲スル爲メ金二圓ヨリ多カラサル慰勞金ヲ與へ或ハ放免スル事

第四條 所中事務ノ分科吏員ノ係替ヲナス事

但會計事務取扱ハ本文ノ限ニアラス

第五條 官員及職工等公事ニ付札幌縣管轄内若クハ其近傍地方へ出張セシムル事

但執行ノ後直チニ可届出事

第六條 所中ノ事務上ニ於テ地方勸業課等へ對シ所長ノ名ヲ以テ文書往復スル事

第七條 營業費金一ト廉金百圓以下ノ費額ヲ以テ諸建物ヲ修繕シ一個金五十圓以下ノ費額ヲ以テ器械ノ缺乏ヲ補ヒ又ハ之ヲ修覆シ及ヒ所中需用ノ物品ヲ購買スル事

但外國品購買ハ別ニ規則アルヲ以テ本文ノ限ニアラス

第八條 甜菜栽培者ノ精粗勤惰ニ因リ其ノ功勞アル者へハ勸獎ノ爲三圓以下ノ手當金ヲ給與スル事

第九條 物品買入代價并賃錢ニ代用スル米鹽噌ヲ凡積ニテ購買備置ク事

第十條 甜菜播種人ニハ甜菜根收穫代凡十分ノ八ヲ目途トシテ下種時及收穫前ノ兩期ニ分チ米金鹽噌

ヲ前貸シ雇役スル職工人足ニハ賃金三箇月分ヲ目途トシ及物品調達者ニハ其物品代價ノ凡七分ヲ目

途トシテ同様前貸スル事

第十一條 甜菜播種人ニ於テ骨粉油滓等ノ肥料拂下ヲ請願スルトキハ購求ノ上拂下ケ其代價取立ハ收穫後決算ノ時ニ於テスル事

第十二條 出京其他經伺ノ上他出不在中ハ次席ノ所員ヲシテ處務代理セシムル事

第十三條 總テ會計上ニ關係ノ事項ハ會計主務官吏へ協議スヘキ事

紋襪製糖所ヨリ工務局へ同十五年二月十日  
 當製糖所之儀ハ北海之障限ニ占在シテ之ヲ都下近接之四通八達ナル各場校所ニ比スレハ其便否ハ自ラ徑庭有之候ニ付所長權限之如キモ亦殊別之御委任無之ヲ得ス依而實際ヲ斟酌シ別紙之通相伺候條御許容相成度此段相伺候也  
 工務局ヨリ農商務省へ同十五年三月十日  
 紋襪製糖所々々長事務專決權限御付與ノ義別紙之通伺出候ニ付調査候處該所之義者他ノ作業所ト異リ北海僻遠ニシテ往復數日ヲ得サレハ難相達ニ付自然事務上差問ニ有之候ニ付伺出之通事務專決權限御附與相成可然哉此段相伺候也  
 決刊 五月 日  
 但作業所會計規定御制定之上抵觸ノ廉ハ其時々更正之積リ







第八條 追加

事業上業務ノ爲メ所員以下ヲシテ各地へ出張セシムル事  
但シ判任官及ヒ本局備ハ執行ノ後直ニ可届出事

千住製絨所

農商務省達 十六年 五月 三日

富岡製絲所自今其局管理ニ付シ候條右ニ屬スル事務工務局ヨリ受取ルヘク此旨相達候事

農商務省達 十六年 五月 三日  
富岡製絲所自今農務局管理ニ付シ候條右ニ屬スル事務該局へ引渡スヘク此旨相達候事

農務工務兩局へ別紙ノ通相達候條此旨相達候事

農商務省達 十八年 一月 二十八日

其所自今農務局主管ヲ割キ農書編纂掛ノ次ニ列シ候條此旨相達候事

農商務省達 十八年 一月 二十八日

其局所管中富岡製絲所ヲ割キ更ニ農書編纂掛ノ次ニ列シ候條此旨相達候事

農商務省達 十八年 一月 二十八日

農務局所管中以下同文

農商務省 十八年 一月 二十八日

當省農務局所管中富岡製絲所ヲ割キ更ニ農書編纂掛ノ次ニ列シ候條此段及御届候也

農商務省達 十八年 二月 二十四日

其所長事務專決ノ權限左ノ通委任候條此旨相達候事

農務局主管ノ富岡製絲所ヲ特立トシ農書編纂掛ノ次ニ列ス

富岡製絲所ヲ農務局ノ管理ト爲ス  
十八年一月二十八日富岡製絲所ヲ特立ト爲ス

富岡製絲所長事務專決ノ權限  
十九年四月五日農務局所管中富岡製絲所ヲ定ム農務局所管中富岡製絲所ヲ定ム農務局所管中富岡製絲所ヲ定ム

第一條 繭絲賣買及ヒ需用品買入之事

但海外注文ニ係ル物品ハ此限ニアラス

第二條 諸職工ヲ増減シ或ハ其給料ヲ適宜増減スル事

第三條 諸職工ノ勤惰ヲ勸懲スルメ勸ハ金二圓ヨリ多カラサル手當金ヲ與ヘ懲ハ給料ヲ減シ或ハ放免スル事

第四條 在來ノ建物及器械ヲ修繕スル事

但修繕費用ノ爲メ歳入豫算ノ收益ヲ減少スルカ又ハ資本ノ缺損ヲ來タスヘキモノハ此限ニアラス

第五條 事務ノ都合ニ依リ擔當官員ノ係替ヲナス事

第六條 事業上業務ノ爲メ官員ヲシテ各地へ出張セシメタルトキハ其旨届出ヘキ事

但所長自ラ出張ヲ要スルトキハ豫メ伺出ツヘシ若シ至急ヲ要スル場合ニ於テハ出張ノ後其事由ヲ具申スヘシ

第七條 事務上ノ瑣末ニ涉リ地方官等へ往復シテ辨スヘキモノハ所名及ヒ所長名ヲ以テ文書ヲ往復スル事

第八條 所長疾病事故アルトキハ次官ヲ以テ代理セシムルコトヲ得ル事

第九條 各條ニ掲クル事項ノ會計ニ關スルモノハ會計主務商議ノ上處分スヘシ

第十條 前條々ノ外臨時生スル事務處分方之儀ハ其時々具申指揮ヲ受クヘキ事

富岡製絲所長ヨリ農商務省へ伺 十八年 二月 十七日  
別紙之通富岡製絲所長へ權限御達相成度候也  
書記局ヨリ農商務省へ伺 十八年 二月 十七日  
富岡製絲所長心得權限農務局同義キニ申號ノ通御決裁相成居候處這般獨立相成候ニ付更ニ左ノ通權限御委任相成可然達案左ニ相伺候也

富内農商務兩省上請 十八年 五月 二十八日  
農商務省所轄千葉縣下下總國印旛植生兩郡内ニ取設有之候種畜場ノ儀ハ  
思石ノ次第モ有之候ニ付更ニ富内省ニ於テ管理シ從前ノ通種畜ノ改良蕃殖ヲ謀リ度ニ付該地積三千五

同月十六日官制ヲ定ム官等職制ノ部ニ載ス

下總種畜場ヲ富内省ニ屬ス







ヨリ十圓迄ノ手當ヲ下付セシムルコトト爲シ來リシモノナルカ故ニ之ヲ製フテ該所ニ限リ本文ノ權限ヲ與フルヲ適當ト爲ス

**第五條 營業費金三百圓ニ過キサル費額ヲ以テ諸建物ノ修繕及所中需用ノ物品ヲ買辦シ或ハ器械ノ缺乏ヲ補ヒ又ハ之ヲ修覆スル事** 同上第四條ニ據ル  
但書ハ十七年十二月間濟ニ據リ挿入ス  
但機械及建築修繕ノ須臾モ捨置キカキモノニシテ該年度收支豫算ニ異同ヲ生セサルトキハ本文ノ金高ヲ超過スルモ著手ノ上開申スルコトヲ得

○本所ノ十五十六十七年三箇年度ノ營業費仕拂平均高ヲ案スルニ器械修繕ノ費額二千七百九十七圓餘建築ノ費額千九百三十四圓餘合計金四千七百三十一圓餘ニシテ器械ノ修繕ニ至リテハ一廉二百圓乃至三百圓ヲ要スルモノ往々少ナカラス而シテ又修繕ノ爲メニ船渠ニ來ルモノハ其出入或ハ一時間ノ遲速ヲ爭フコトアレハ器械建築等ノ修繕モ時トシテハ須臾モ猶豫スヘカラサルモノアリ且營業費ノ割合ヨリ考フルトキハ千住製絨所(二十九萬圓餘)カ愛知紡績所(五萬五千餘圓)等ト均シク本文ノ權限ヲ五十圓ニ限ラレタルハ其權衡ヲ得タルモノト爲シ難シ然レトモ製絨所ノ如キハ幸ニ府下ニ在ルヲ以テ姑ク勉テ五十圓ニ超ヘサラシムルモ兵庫造船所ノ興業費(六十萬圓)ニ達セリ千住製絨所ノ倍數ニ在リテ其土地モ又遠ク隔絶セリ是其本條ニ於テモ特ニ三百圓ヲ許スヲ以テ相當ト爲ス所以ナリ

**第六條 所中ノ事務上ニ於テ事ノ重要ニ涉ラサルモノハ地方長官各局長及外國領事官等へ對シ所長ノ名ヲ以テ文書往復スル事** 同上第六條ニ據ル

○内外官民ノ依頼ニ應ジテ造船製鐵ノ事業ヲ管理スルニ於テハ受負定約其他ノ爲メニ常ニ本文ノ權限ヲ有セサルヘカラス

**第七條 事業上必要ノ場合ニ於テ所長ハ東京ヲ除クノ外各地ニ出張シ及所員ヲシテ東京其他ノ各地へ出張セシムル事** 同上第八條ニ據ル

但本條ノ場合ニ於テハ執行ノ後直ニ届出ヘシ

○本所事業上ニ付テハ航海日數ヲ期シタル船舶等ヲ修理シ又ハ其他實檢ヲ必要トスル場合少カラサルヲ以テ其時々經伺ノ順序ヲ踏ムトキハ不便少カラス依テ本條ノ權限ヲ與フルヲ必要ナリトス又新町愛知兩紡績所ノ儀ハ明治十六年二月中伺定メタル所長權限中事業上業務ノ爲メ所長出京シ云々トアレトモ右ハ各事情アルコトニシテ該造船所ノ如キハ電信等ノ便宜充分ナレハ所長其他ノ出京ハ伺同ヲ經サシムルモ差支ナシト認ム是自由出京ノ事ヲ省キシ所以ナリ

**第八條 所長事故アルトキハ次席ノ者ヲシテ事務ヲ代理セシムル事**  
工務局ヨリ農商務省へ伺十九年二月二十六日

當局所管兵庫造船所々長權限ノ儀各作業場所長權限中參酌ノ上別紙ノ通取調候間御決定相成可然哉此段相伺候也

播州葡萄酒戶阿利權  
國委託

二十一年三月二十四日  
却ス

農商務省稟議十九年三月二十七日  
當省所轄播州葡萄酒之儀ハ去明治十三年ノ設立ニテ其目的荒地ヲ開墾シ海外良種ノ葡萄ヲ栽植シ其釀酒ヲ試ニ成述ヲ廣ク公衆ニ示シテ葡萄酒製造事業ノ模範ヲ示シテ計畫ニ有之爾後本年ニ至ルマデ七年間ノ經驗ニ據レハ風土ハ適宜シ既ニ二十五町歩ノ葡萄園ヲ爲シ釀酒ノ義モ其質良好ニシテ將來ノ目的モ略相立ニ據レリ又神戸阿利權園ノ義モ明治十二年ノ創立ニシテ其地味能ク樹質ニ適シ生育佳良既ニ明治十五年以降ハ製油ノ業ニ著手セシニ敢テ歐洲產品ニ讓ラサルノ良油ヲ得タリ熟ラ今日ノ時勢ヲ考フルニ此等事業ハ將ニ民間ニ移スヘキノ時機トス因テ此際當器ノ者ヲ撰定シ先以テ本年ヨリ向三箇年間該二園ヲ委託シ其事業ヲ繼續爲致度尤モ昨今ノ有様ニテハ園中ノ葡萄樹及阿利權樹ハ尙嫩苗ヲ交ヘ結實未充分從テ釀酒製油モ多額ヲ得ルニ到ラス爲ニ收支相償ハサルニ由リ委託年限中毎年金四千圓補助金トシテ當省經費中ヨリ下付セントス依テ閣議ヲ請フ

指令十九年四月十二日  
請議ノ通タルヘシ

兵庫造船所貸下  
二十年七月五日詰却ス

農商務省稟議十九年四月十日  
當省所轄兵庫造船所ハ其沿革大要別紙參照甲號ノ如クニシテ客歲十二月下旬本省ノ管理ニ屬セラレ現ニ官民ノ需求ニ應ジ造船製鐵ノ業ニ從事セルモ已ニ本省所屬ノ管船局ヲ遞信省ニ移サレタルヲ以テ管理上稍不便ノ感ナキ能ハス故ニ當一月以來同省へ協議ノ上該所管理換ノ義ヲ閣議ニ提出セント計畫中別紙乙號丙號ノ通東京府下住民川崎正藏及ヒ平野富二ノ兩人ヨリ該所借借ノ義願出共旨趣タル專ラ造船事業ヲ擴張シ海運ノ便益ヲ圖ラントスルニ外ナラス茲ヲ以テ先其願旨大體ニ關シ閣議ヲ定メラレンコトヲ請ヒタリシニ貸下順序方法等併セテ閣議ヲ請フヘキ旨ノ指令アリシニ由テ之ヲ調査シ尙爲念海軍遞信兩省ノ意見ヲ問合セタル處別紙丁號ノ如ク共ニ貸下ヲ得策ナルヘシトセリ元來貸下ノ件ハ本省於テモ右兩省ト意見ヲ異ニセサルヲ以テ右願入兩名カ營業上ノ經歷ヲ調査セシメシニ別紙戊號ノ通ニシテ其事業ノ經歷ニ於テハ何レモ相當ノ資格ヲ有スルモノナリト雖モ將來尙一層該業ノ擴張ヲ圖ラント欲セハ右兩名ヲ合併シ合資營業ヲ執ラシムルニ若カサルヘシト思惟セシヲ以テ私ニ其合併ノ事ヲ說諭セシメタリシニ兩者ノ意向自カラ相投セサル所アリテ終ニ相合セシムルヲ得ハ就テハ兩者ノ中川崎正ハ殊ニ先願者ニモ有之旁以テ該所貸下ノ義同人ニ決定セシコトヲ望ム乃チ貸下手續約定案ヲ添附シ閣議ノ決裁ヲ請フ

指令十九年四月二十七日



請議之通

官職門 官制 農商務省

農商務省稟議 十九年九月六日  
 當省所轄愛知紡績所ノ沿革ハ別紙ニ縷述ノ如ク開業以來旱魃若クハ洪水ノ爲メニ停業セルト商況ノ否  
 塞ニ隨ヒ製品ノ賣レサルトニヨリテ資本ノ虧損ヲ來スコト少ナカラス其時々繰替金等ニヨリテ維持ヲ  
 謀リ旁ラ水害制禦ノ道ヲ求ムル等諸般ノ經營ニ暇アラスシテ假令之ヲ拂下ントスルモ復タ願ルモノナ  
 キ形勢ニテ終ニ未タ民業ニ歸スルノ時期ヲ得サリシナリ輒近堰堤ノ修繕稍整ヒテ水害漸ク其度ヲ減シ  
 諸物價モ亦大凡ソ平分ヲ得テ製品滯滞ノ苦境ヲ脱スルノ域ニ達シタレハ此時ヲ以テ民手ニ移サント欲  
 スレトモ、數旬雨ナキトキハ水源忽チ旱涸スルヲ以テ時々車ノ運轉ヲ停ムルコトハ猶免ルコトヲ得メ  
 テ難多ク利少キ工場ナレハ拂受人其人ヲ得ルコト最難ク若シ廣ク之カ拂受人ヲ募ランカ一旦其人ヲ誤  
 ルトキハ公告ハ却テ工場ノ廢滅ヲ促スノ具ニ歸センコトヲ恐ル將之ヲ避ケテ工場ノ爲メニ其人ヲ求メ  
 ンカ工業ノ經驗ニ富メルモノ未タ必シモ資金ニ裕ナラスシテ營業資金即納ノコトヲ踐マシムル能ハス  
 是ヲ以テ百方共道ヲ求ムレトモ未タ適當ノ處分法ヲ發見セサリシカ別紙愛知縣ノ申請ハ其願旨能ク該  
 所利弊ノ肯綮ヲ得テ殊ニ拂受人其人ノ如キハ該所起工以來其所ニ在リテ多年事ニ此ニ從ヒ自カラ其得  
 失ヲ經驗セシモノナレハ其目的ノ確立セルハ素ヨリ信スヘクシテ將來工場ノ維持ニ於テモ亦願慮スル  
 所ナシ然ラハ則チ斯ノ如キ拂受人ハ復タ得難カルヘシ因テ本人申請ノ旨趣ニヨリ之ヲ拂下ント欲スル  
 事愛知縣申牒書愛知紡績所沿革拂下約定案及拂下財產價格歩引概算書ヲ添付シ以テ閣議ヲ請フ  
 指令 十九年九月十七日

稟議ノ趣認許ス

農商務省達 十九年十一月二十五日  
 其所主管ノ事務中左ニ列擧スル條件ハ自今專決シ例規ニ據テ施行スルコトヲ得  
 但會計ニ關スル事項ハ會計主務官ニ合議スヘシ  
 事務專決權限  
 第一條 製絲用物品ノ購買及ヒ製造品ノ販賣其他一廉代價五十圓以內ノ廳中需用品購買并不用品賣却  
 ノ事  
 第二條 所員ニ事務分擔ヲ命スル事  
 第三條 所中業務ノ緩急ヲ計リ職工ヲ増減シ又ハ其給料ヲ増減スル事

第四條 職工ノ勤惰ヲ勸懲スル爲メ勸ハ金五圓以內ノ手當ヲ給與シ懲ハ減給又ハ罷免スル事  
 第五條 職工及ヒ傭夫ノ負傷手當金扶助料理葬料ヲ成規ニ據リ豫算金額以內ヲ以テ給與スル事  
 但シ執行ノ後ハ直ニ上申スヘシ  
 第六條 營業費中豫算金額以內ヲ以テ在來ノ建物ヲ修繕シ及ヒ器械ノ缺乏ヲ補ヒ又ハ之ヲ修繕スル事  
 ○十七年十二月同議  
 機械及建築費 修繕處分方ノ儀ハ向後修繕額ハ假令金高五十圓ヲ越ルモ其所損益收支ノ豫算ニ異動  
 ヲ生セサル時ハ所長限リ修繕方處分ノ儀所長權限以內ヘ付セラレ  
 但本文一廉金高五十圓以上ハ著手ノ上開申ノ事

第七條 所中ノ事務上瑣末ノ件ハ地方勸業課等ニ對シ所長ノ名ヲ以テ文書往復スル事  
 第八條 事務上必要ノ爲メ出京シ又ハ十五里以內ノ各地ヘ出張シ及ヒ所員以下ヲ各地ヘ出張セシムル  
 事  
 但執行ノ後ハ直ニ届出ツヘシ  
 第九條 事故又ハ不在中ノトキ判任官ヲシテ事務ヲ代理セシムル事

農商務省稟議 二十年四月十五日  
 千葉縣ヨリ當省所轄嶺岡支牧場貸渡并ニ現在ノ種畜及ヒ建物什器等拂下ノ稟請アリ其要ハ近年縣下一  
 般牛馬ノ缺乏ヲ告ケ農業上不利ヲ來スコト歟シトテ是ヲ以テ此牧場ニ於テ專ラ通常牛馬ノ播殖ヲ圖  
 リ廣ク民間ノ供給ニ充テ且乳牛肉牛ヲ飼育シ以テ牧業獎勵ノ道ヲ開カントスルニ在リ元來該地ハ天然  
 ノ水草ニ富ムト雖モ地形險峻ニシテ種畜ノ牧養ニ適セス然レトモ通常牛馬ノ牧畜ニ恰好ナルヲ以テ其  
 主旨ヲ聽許シ向後五年ヲ一期トシ之ヲ試業セシメント欲ス而シテ下總牧場官制中兼テ嶺岡支牧場ヲ管  
 轄シトアルカ如キハ暫ク其儘存置センコトヲ望ム依テ指令案及縣知事上申書寫相添ヘ閣議ヲ請フ  
 指令 二十年四月二十八日  
 稟議ノ通

農商務省稟議 二十年四月二十八日  
 今般當省所轄新町紡績所拂下ヲ出願スルモノ二人アリテ甲ハ東京府下平民三越得右衛門乙ハ群馬縣下  
 平民岩崎作太郎ナリトス而シテ其願旨ヲ調査セシニ乙ハ拂下代價ヲ八萬圓ト定メ二十箇年賦ニ上納シ

官職門 官制 農商務省



營業資本金七萬圓ヲモ其儘受繼キ十箇年賦ニ上納セシメテ年々ノ上納金額ハ殆ンド該工場ノ純益金ノミヲ以テ之ニ充ツルモ能ク之ヲ消却シ得ヘキ程ノ計算ニシテ今年ノ上納金額ハ殆ンド該工場ノ氣勢ニ係ル當世ニ於テ該所ノ如キ幾分ノ贏利アル工場拂下ケテ請願ニハ頗ル不適切ト認ムルヲ以テ之ヲ斥ケ甲ハ最初工場代價六萬圓ト定メ之ヲ舊公債證券全面額面トハ額面ノ意ナリト云フヲ以テ納シ營業資本ハ其内二萬九千圓餘ハ之ヲ即納シ殘金四萬圓ハ本年十二月ニ於テ上納スヘシト云フヲ以テ亦悉皆即納スヘシトノ意ニ改メシテ納付スルニ請願セリ即チ別紙附價格取調書ノ未償額ニテ即納シ營業資本金額ニ不相當ナキノミナラス別紙理由書ニ詳悉スル所ノ如ク其願入タルモノ望ヲ將來ニ屬シ上請ハ其務ヲ前途ニ負ハシムルモ能ク之ヲ踐行スルニ堪ユヘシト認ムルヲ以テ之ヲ採リ其請願ノ如ク舊公債證券未償額ノ上納ヲ許可シ拂下ノ處分ニ及ハント欲ス因テ別紙理由書ヲ約定書案新町紡績所沿革書及拂下財產價格書ヲ調製シ東京府及群馬縣中縣書類ヲ添付シ以テ開議ヲ乞フ略紙

追テ本件當省詮議中別紙兩號若林七五郎外二名ヨリ出願セリ因テ更ニ詮議ヲ遂ケシニ之ヲ甲號三越格ニ於テ幾分ノ及ハサル所アリ且財產上ノ信用ニ於テモ三越ノ右ニ出願アルヲ見スト雖トモ拂下價以テ敢テ本文ノ議ヲ動スニ足ラサルモノト認定ス仍テ丙號願書ハ之ヲ斥ント欲スルナリ

指令二十年五月十二日

稟議ノ通

兵部造船所拂下

農商務省稟議二十年六月十六日  
當省所轄兵部造船所ハ客年四月中閣議ノ決議ヲ經テ明治十九年五月十八日ヨリ同三十九年五月十七日マテ滿二十箇年間無料ヲ以テ之ヲ東京府平民川崎正藏ヘ貸渡セシカ今回更ニ該所悉皆拂下ノ義ヲ出願セリ其意蓋シ今日工業改進ノ時ニガリ猶舊式古形ノ機械等ニ藉リ其業ヲ營ムトキハ其事業ノ擴張ヲ達スルコト能ハサルヲ恐ルル故ニ今ヨリ漸次工場ヲ改築シ精良ノ機械ヲ補設シ以テ大ニ其事業ヲ擴張シ通日國家萬一ノ用ニ應スルノ地步ヲ爲サントスルニ在リ況ンヤ本所ハ多年事ニ此ニ從ヒ能ク其得失ニ通日將來大ニ望ヲ屬スルモノアルニ於テオヤ是ヲ以テ先ヅ海軍通信兩省ニ向テ照會ヲ發シ之カ拂下ノ可否得失ニ就キ其意見ヲ求メタリシニ兩省共ニ異議ナキ旨ヲ回答セリ因テ大藏大臣協議ノ上該所貸渡財產額金十八萬八千二百九十九圓九十錢一釐ヲ更ニ拂下代價額ト改メ而シテ其返納方ハ明治二十年ヨリ無利子向五十箇年賦ヲ以テ之ヲ願入ニ拂下ント欲ス乃チ別紙願書寫指令案命案及參照書ヲ附シ以テ閣議ヲ請フ略紙

指令二十年七月五日

稟議ノ通タルヘシ

舊兵部造船所ヨリ農商務省へ上申二十年七月八日  
舊兵部造船所殘務之儀今般會計檢査院認可相濟本日ヲ以テ悉皆結了候ニ付此段上申候也

三田農具製作所拂下

農商務省稟議二十年十一月十六日  
本省所轄三田農具製作所燒失後處分ノ儀ニ就テハ別紙理由書ノ如ク初メ該所再設ノ議アリシト雖モ又經濟上ヨリ觀察ヲ下ストキハ該所ノ事業タル本來營利ノ目的ニ非サルヲ以テ創業以來收支計算常ニ相償ハス去明治十三年太政官御濟ノ上特殊ノ會計法ニ據リ漸ク今日ニ維持シ來ルモ單ニ洋式農具ノミヲ製作セント欲セハ其注文品寡少ノ時ニ當リ徒ニ機力ト工手ヲ空費シ若シ之ヲ補充スルニ他ノ鐵具等ヲ製作販賣セハ縱令其利益ヲ見サルモ願テ以テ該所ノ經濟ヲ維持スヘシト雖モ其事實如何ニ拘ハラズ民間製鐵家ノ營業ニ妨碍ヲ與フルトモ農具製作ノ繁閑ニ隨ヒ自由ニ能ハス故ニ寧ロ該所ノ名義ヲ保存シテ民移シ以テ繼續セシムルトモ農具製作ノ目的ヲ達スルコトヲ得ヘシ因テ今般別冊ノ通リ該所ノ土地建物機械ヲ營ムニ足リ且ツ別紙理由書ノ目的ヲ達スルコトヲ得ヘシ因テ今般別冊ノ通リ該所ノ土地建物機械并ニ既成ノ農具標本農具ヲ除キ及ヒ半製品共悉皆之ヲ公賣ニ付シ即金上納ニテ拂下ント欲ス  
前旨ノ如ク官設ノ農具製作所ヲ廢セハ必ス他ニ一ノ農具陳列所ヲ新設セサルヲ得ス然ル所以タル明治初年來歐米各國ヨリ購入ノ農具ニシテ標本若クハ參考用ノ爲メ蒐集シタル品類別冊目錄ノ如ク其數三百箇ハ從來陳列所ノ設ケナキニ由リ假ニ三田農具製作所構内ノ一館ニ收メ農事篤志者ノ望ニ應シテ參觀ヲ縱シ又洋式農具ノ新調ヲ該所ニ注文スルモノアレハ其模型ヲ此標本ニ取リシモノナリ然ルニ今此農具モ亦該所ト共ニ拂下ルトキハ遂ニ散逸シテ復タ收拾スヘカラサルニ至ルハ必然ノ勢ナリ因テ今般更ニ上野或ハ芝公園内等へ便宜ノ地ヲ相シ別紙新築豫算書ノ通り一館ヲ建設シ右標本農具ヲ陳列シテ遍ク衆庶ノ參觀ヲ縱シ且ツ民間製作者ノ洋式農具ヲ製造セント欲スルモノハ何人ヲ論ヘズ此場ニ就テ以テ其模型ヲ取ラシムルトキハ一ハ農家ノ智識ヲ啓發シ一ハ製作家ニ便宜ヲ與ヘ一舉兩得亦以テ政府勸農ノ主旨ニ適スヘシ就テハ同所拂下代金凡一萬八千九百九十圓八國庫ニ納入シ而シテ此新築費凡金一萬五千圓ハ別途支出ヲ仰キ度大藏大臣へ協議ヲ遂ケン處別紙寫ノ通回答有之依テ同所拂下ノ閣議ヲ請フ

指令二十年十一月二十二日

請議ノ通

山林局ヲ農商務省ノ管理ニ付ス

達節錄 第十四号 四月七日 (全文ハ官報及職) 第六十二號 (制ノ部ニ載ス)  
一 驛遞局山林局博物館及ヒ所屬博物館ハ舉ケテ農商務省ノ管理ニ付シ候條其事務悉皆該省へ引繼クヘシ  
内務省へ達ノ第一項ナリ

官職門 官制 農商務省



(參考)

山林局沿革

明治維新以降山林ノ事務ハ民部省地理司ニ屬シ或ハ大藏省勘農寮又租稅寮ニ屬シ當時未ダ專管ノ主務アラズ其特ニ課名ヲ設ケテ專ラ之ヲ管理セシハ蓋シ明治七年一月内務省中地理寮ヲ置キ同年同月地理寮中木石課ヲ設クルヲ創トス木寮事務章程中山林ニ關スル事項三條アリ内務大丞杉浦謙地理頭タリ八年八月山林課ヲ置キ其課職制章程及處務順序ヲ改正ス

九年一月又本課ノ章程ニ改正ヲ加フ當時山林本支局設置林區畫定等ノ議ヲ正院ニ上奏シ山林ノ國家經濟ニ緊要ナル理由ヲ陳辯セリ又官林調查條例ヲ作リ本調査ニ著手ス

十年一月地理寮ヲ改メテ地理局トシ山林課ヲ二部ニ分ツ同年七月櫻井勉地理局長ニ任ス

十一年六月地理局長ノ建議ニ依リ森林中年度ノ過クルモ及糊茂朽腐ノ患アルモ其他深山ニ埋没スルモノ等ヲ年度輪伐ノ諸法ヲ以テ伐採シ廣ク世用ニ供シ其純益ヲ以テ培養保護上一切ノ諸經費ニ充テ漸次完全ノ森林ヲ造成シ生育繁茂盡期ナカラシメ以テ經濟ノ根基ヲ建ツヘキ目的ヲ以テ本局中ニ官林作業課ヲ置キ爲メニ大藏省ヨリ作業費ヲ借入レタリ七月岐阜縣長野縣秋田縣青森縣下官林直轄トナルヲ以テ官林事務章程ヲ定ム同年全國北海道上野道六六六大林區ヲ置キ其下ニ四十八中林區二百十六小林區ヲ設ク又東京府下北豐島郡西ヶ原村ニ於テ山林試驗場ヲ設ク當時總員ハ八百八十八人ナリキ

十二年五月内務省中山林局ヲ置キ山林課ヲ廢ス櫻井勉山林局長トナル局中木課官林文書計製作業ノ五區出張所ノ位置ヲ定ム本年ニ到リテ官林調査ノ業略成ル本年ハ人員一千〇九十一人ヲ増シ總員一千九百七十五人ナリ森林定費ハ三萬五千〇九圓餘外ニ本年度作業豫算額四十萬四千五百二十九圓餘ナリキ

十三年三月内務少輔品川彌次郎營分ノ内山林局長ノ心得ヲ以テ事務兼勤ヲ命セラレ櫻井勉地理局長ニ轉ス同年六月殖樹伐木運材運船出納ノ五課即山林作業ニ關スル諸課ヲ廢ス同年六月岡山靜岡茨城山口石川兵庫大分和歌山ノ八縣ノ官林局ヲ山林局ニテ直轄シ各所ニ出張所ヲ設ク是時ヨリシテ未直轄ノ府縣ハ官林保護費ヲ分付ス十二月本局中ニ森林取調掛ヲ設ク本年ハ作業ヲ廢スルカ爲メ人員一千二百四十九人ヲ減シテ總員七百二十六人トナル

十四年一月山林局長ヨリ本局員ハ毎水曜日山林費ノ講義ヲ聽クヘキ諭達アリ同年四月農商務省設置ニ付山林局ハ本省ノ管理トナル同月本省少書記官宮島信吉山林局長トナル七月宮島信吉山林局長ヲ免セラレ大書記官牟田口元學之ニ代ル八月本局ノ分掌ヲ改メ林制學務官林掌計庶務ノ五課トス十月牟田口元學願ニ依リ本官ヲ免セラレ十一月本省大書記官武井守正山林局長トナル本年ハ人員ニ於テ三十八人ヲ増シ七百六十四人トナリ森林費ハ少シク減シテ九萬千〇三圓餘トナル

十五年十一月東京府北豐島郡西ヶ原村ニ山林學校ヲ設置シ農商務省東京山林學校ト稱ス十三年ニ於テ作業ヲ廢セシ以來ハ定額經濟ヲ以テ官林ノ管理ニ充テ地方ノ官林ハ漸次本局ニ直轄シ未直轄地方ノ官林ハ保護費ヲ交付シテ其管理ヲ地方廳ニ委シ本局之ヲ監督セリ本局ノ方針專ラ森林ヲ保護シ傍ラ森林官ヲ養成スルニアリ遂ニ山林學校設立ノ舉アルニ及ヘリ本年福井高知鹿兒島三縣ノ官林直轄トナル人員ハ二百七十八人ヲ増シテ一千四百四十二人トナリ森林費ハ又減シテ十七萬八千三百三十八圓餘トナル

十六年三月本局各課并東京山林學校事務條項ヲ改定ス五月富山縣宮崎縣ノ官林直轄トナル六月今般皇城建築御用材掛被廢候ニ付右事務本局ニ於テ可取扱ノ違アリ本年度ニ於テ非常ニ局費ヲ節減シ一萬三千餘圓ノ金員ヲ流用シテ資財トシ別途事業ヲ創メ枯損木盜伐等ノ拂下ケ其他遺利ヲ拾收シ經常森林收入豫算外ノ收益ヲ得之ヲ以テ翌十七年度本局定額外ノ別額トシ事業ヲ經營ス十八年度ニ於テモ亦斯ノ方法ニ依リ其事業ヲ繼續セリ本年ハ人員二十四人ヲ減シ一千八十八人トナリ森林費ハ少シク増シテ十八萬千二百九十一圓餘トナル

十七年五月局長武井守正英國萬國森林博覽會事務官長ノ任ヲ以テ彼地ヘ出發繼テ歐洲諸國森林ノ實況ヲ巡視ス廣島縣福岡縣官林直轄トナル本年ノ人員ハ二百二十二人ヲ増シテ千二百四十八人トナリ森林費ハ又増テ二十四萬五千八百五十圓餘トナル

十八年六月局長武井守正歐洲ヨリ歸朝愛媛三重二縣ノ官林直轄トナル本年ノ人員ハ九十四人ヲ増シテ千三百三十八人トナリ森林費ハ二十六萬九千九百十七圓餘

十九年三月本局官制四月貯木所并ニ錦織綱場官制ヲ定メラル京都宮城佐賀ノ三縣ノ官林直轄トナル六月大小林區署名稱位置及管轄區域ヲ定ム當時京都兵庫靜岡三重岐阜山岡廣島山口福岡大分宮崎鹿兒島和歌山高知愛媛木曾石川茨城宮城秋田青森ノ二十一大大林區アリ其下ニ二百二十小林區五十七派出所ヲ設ク本年人員ハ二百四十八人ヲ増シテ千五百七十四人トナリ森林費ハ二十九萬四千三百三十二圓餘

二十年三月愛知縣官林直轄トナル同月局長武井守正非職ヲ命セラレ田邊輝實之ニ代ル初メ武井守正歐洲ヨリ歸朝以後ハ彼地林業ノ整頓セルヲ感シ一志我林業ノ擴張ヲ計リ明治二十年以後ハ國庫經常定額費ヲ仰カス全ク森林經濟上ヨリ生スル所ノ收入ヲ以テ一切ノ經費ヲ處辨シ逐年之ヲ増加シ來リ又林業ヲ三期ニ別チ第一期即明治二十七年年度ニ至リ林區普設ノ目的ヲ了シ同年年度ノ經費百二十六萬九千九百三十圓ヲ以テ百六十六萬六千圓ノ收入ヲ得差引四十萬四千〇七十圓ノ國庫ニ殘スヘク第二期中ハ營林事業ヲ隆盛ナラシメ官林一町歩ノ收入平均金一圓ヲ得ルヲ期シ第三期ニハ更ニ進シテ林道開通ノ事業ヲ興シ三十箇年ノ後ハ一町歩ノ收入五圓以上ヲ得ヘキ計畫ナリキ依テ國庫中ニ森林資金部ヲ設ケ森林ノ收入ハ他ノ金筋ト區別シテ此資金部ニ收納シ其部内ヨリ毎年支出額ヲ定メ殘額ハ依然翌年度資金部ヘ繰越スコトハナセリ而シテ現局長就職以來ノ方針ハ稍前局長ノ方針ヲ逐フテ今日ニ至ルモノナリ二十年年度人員ハ六百六十八人ヲ増シテ千七百三十四人トナル森林費ハ三十三萬四千三百十六圓餘

二十一年度ニハ人員三百四十八人ヲ増シテ二千〇八十二人トナリ森林費ハ四十萬九千四百三十六圓餘

二十二年二月ヨリ八月ノ間ニ派出所ヲ廢スルモ十九錦織綱場廢止桑名白取貯木所ハ帝室ニ屬ス八月靜岡岐阜愛知ノ官林帝室御財產ニ入ルカ爲メ三大大林區署ノ名稱位置及管轄區域ヲ刪除ス九月全國道海縣ノ官林直轄トナリ大林區ノ區域ヲ改正シテ十六大大林區トシ其名稱位置ヲ改ム宮城秋田青森岩手栃木東京長野石川大坂兵庫廣島高知愛媛福岡熊本鹿兒島是ナリ其下ニ百九十二小林區トシ百五十四派出所アリ本年ハ人員五十七人ヲ増シテ二千三十九人トナリ森林費豫算高ハ五十三萬二千二百七十一圓餘

二十三年四月ニ至リ會計法ノ制定ニ由リ森林經濟ノ變更ヲ生シ森林費ハ國庫常用ノ支出トナリ收入モ全ク國庫ノ收入ニ變セシヲ以テ山林局費ト林區費ト判然別項ニ支出スルノ制トナル



山林局出張所員所轄  
外臨時出張ノ節心得方

山林局達 十四年九月二十七日

其出張所最寄府縣ニ於テ山林原野地處分ニ關シ實地調査ヲ要スル場合ニ於テハ已來其所員ノ内ヲ以テ便宜出張被命候儀モ可有之ニ付右御用ニ付出張候節ハ別紙之通相心得可被申此段豫メ相達候也  
所轄外臨時出張ノ節心得方

- 一 所轄外最寄府縣へ臨時出張ヲ命セラレタル節ハ辭令拜受ノ即日受書差出スヘシ
- 一 實地出張ヲ命セラレタル御用向ノ主要ハ別ニ局長ヨリ達スヘシ
- 一 出張ヲ命セラレタルトキハ速ニ出發スヘキハ勿論ナリト雖トモ若シ事故有之日數一週間ヲ經過スルモ出發難相成場合ニ於テハ其事由ヲ具申スヘシ
- 但發著共定例ノ通本局へ届出ツヘシ
- 一 復命書ハ御用濟次第本局へ向ケ郵送スヘシ
- 但復命書ハ成ヘク事理明瞭ニシ再應諮問等ノ煩ナキ様調査上最モ注意スヘシ
- 一 旅費并經費之儀ハ本局費ヨリ支給相成ルヘキ儀ト心得ヘシ

山林局ヨリ農商務省へ同十四年八月三十一日

山林原野田野地處分ニ關シ實地踏査ヲ要セサルヲ得サル場合ニ於テハ從前特ニ局員ヲシテ各府縣へ出張被命候處以來便宜ヲ謀リ其實査ヲ要スル府縣最寄本局出張所員ノ内へ出張被命候様致度御許可之上ハ左ノ通各出張所長へ豫メ達置申度此段相伺候也

山林局出張所處務心得 十四年九月十日

十五年六月二十三日山林  
事務所山林局員處務心得  
ト改メ條款中ヲ改正附補  
ス

- 第一條 所長ハ成規ニヨリ部内ノ官林ニ屬スル一切ノ事務ヲ調理シ及局長ノ命令ヲ執行スルコトヲ掌ル
- 第二條 所長ハ局長ノ命令又ハ其適宜處分ヲ許サレタル事件ヲ執行スル爲ニ必要ナリトスルトキハ其實施ノ順序ヲ設ケ出張所ノ名義ヲ以テ部内ニ廣告シ又ハ布達ヲ要スル場合ニ於テハ其旨ヲ地方廳ニ

照會スルコトヲ得但施行後直ニ局長ニ報告スヘシ

- 第三條 所長ハ職員ノ勤惰ヲ監シ局長ニ對シ之ヲ具狀スルヲ得
- 第四條 所長ハ管内ノ官林ヲ巡視シ及職員ヲ派出セシムルヲ得
- 第五條 所長ハ主管ノ事務ニツキ各廳ニ對シ出張所ノ名ヲ以テ照會往復スルヲ得
- 第六條 所長ハ臨時日給三十錢以下ノ雇員ヲ採用解免シ及其給料ヲ増減スルヲ得
- 第七條 所長ハ月給雇以下ノ告暇又ハ除服出仕ヲ例規ニ據テ決行スルヲ得
- 第八條 所長ハ巡回出張等ノ場合ニ於テハ在勤官吏上席ノ者ヲシテ代理セシムルヲ得
- 第九條 出張所職員ハ所長ノ指示ヲ受ケ庶務ヲ分掌ス
- 第十條 監守人ハ出張所ノ指揮ヲ受ケ官林監守ノコトヲ掌ル
- 第十一條 出張所ノ事務ヲ分ツテ二款トシ其上款ハ本局ニ稟申シテ後ニ處分スヘキモノトス其下款ハ出張所限適宜處分スルヲ得

但上款ノ項目中其一部ヲ分ツテ下款ニ掲ケタルモノハ渾テ下款ノ例ニ據リテ處分スヘシ  
上款

- 第一 官林ニ等級及種類ヲ定メ之ヲ變更スル事
- 第二 山林ノ官民有區別ニ關スル事
- 第三 官林外ノ地ヲ官林ニ編入ノ事
- 第四 官林ノ輪伐區ヲ定メ及之ヲ變更スル事
- 第五 官林ノ境界ヲ定メ及標本新設ノ事
- 第六 官林防火線新設ノ事
- 第七 官林ノ竹木伐採ノ事
- 第八 苗圃開設及廢止ノ事
- 第九 苗圃ノ樹木拂下ノ事



- 第十 燒木處分ノ事
  - 第十一 部分木仕付ノ事
  - 第十二 官林地貸渡ノ事
  - 第十三 土石掘取ノ事
  - 第十四 埋木木根掘取ノ事
  - 第十五 官林地拂下ノ事
  - 第十六 官林地變換ノ事
  - 第十七 官林制札新設ノ事
  - 第十八 官林内副産物拂下ノ事
  - 第十九 諸拂下又ハ貸渡地等處分既濟ノ事件ヲ變更シ又ハ之レヲ取消ス事
  - 第二十 管外出張及上京ノ事
  - 第二十一 主管ノ件ニ付詞訟ニ關スル事
  - 第二十二 雇員採用解免ノ事
  - 第二十三 出張所又ハ所長ノ名ヲ以テ官金辨償トナルヘキ類ノ契約ヲ爲シ又ハ既成ノ契約變更ノ事
- 但第六條ニ掲クル者ハ格別ナリトス
- 下款
- 第一 官林ヲ調査スル事
  - 第二 官林ニ栽植ヲナス事
  - 第三 官林調査ノ爲メ障碍木ヲ伐除シ及之ヲ賣却スル事
  - 第四 竹林手入ノ爲メ老竹ヲ洗伐シ及之ヲ拂下クル事
  - 第五 官林内ニ於テ季節アル副産物ヲ拂下クル事
  - 第六 盜伐木ヲ處分スル事

青森以下十二縣ノ山林  
局出張所ヲ農商務省某  
山林事務所ト改稱ス

- 第七 枯損木ヲ處分スル事
- 第八 官林内ニ於テ製炭ノ許可ヲ爲シタル者ヘ炭竈敷地ヲ貸渡ス事
- 第九 官林内ニ於テ一時季節ヲ限リタル貸地ヲ許可スル事
- 第十 官林制札防火線及經界標ヲ修理スル事
- 第十一 荆棘蔓草ヲ芟除スル事
- 第十二 洪水急防ノ際地方官ノ照會ニ應シ三等及員外官林ヲ伐採スル事
- 第十三 電線及ヒ道路障害木ヲ處分スル事
- 第十四 習慣アル柴草ヲ拂下又ハ繼年季ヲ許可スル事
- 第十五 入林鑑札ヲ下付スル事
- 第十六 官林救火等ノ功勞者ヘ賞與ヲ要スルモノアルトキハ之ヲ地方官ヘ通牒スル事
- 第十七 電信柱ノ用ニ供スル樹木ヲ賣渡ス事
- 第十八 官林ニ係ル犯罪人ヲ告訴スル事
- 第十九 前條中兩款ニ明文ナキモノ及下款ニ屬スルモノト雖モ事疑似ニ涉ルカ又ハ事情アリテ特別ノ處分ヲ要スルモノハ其理由ヲ具シテ稟申スヘシ
- 第十一條 出張所ニ於テ處分セル一切ノ事務ハ月表并年報ヲ以本局ヘ報告スヘシ但至急ヲ要スルモノハ其時々報告スヘシ

農商務省達 十四年九月二十九日 青森 秋田 長野 岐阜 滋賀 城 靜岡 石川 兵庫 關山 山口 大分 和歌山 十二縣  
其縣下當省山林局(地名)出張所ノ儀今般農商務省(地名)山林事務所ト改稱候條此旨相達候事

山林會計二局達 十四年九月三十日 青森 秋田 長野 岐阜 滋賀 城 靜岡 石川 兵庫 關山 山口 大分 和歌山 十二縣  
其出張所名稱ノ儀今般農商務省(地名)山林事務所ト改稱相成候條此旨相達候事

山林會計二局ヨリ農商務省ヘ同十四年九月二十八日  
本年四月第三十三號同第三十六號公達會計法及會計事務上各廳長官ト會計主務官トノ責任分界方ニ據



リ會計主務官ヲ被定候上ハ山林局各出張所等へ在勤ノ會計局官員ハ則會計主務官吏ノ一小分子ニシテ苟モ會計上ニ關スル事項ニ付他ニ往復等ヲナス場合ニ於テハ山林局出張所ノ名義ヲ用フル能ハス抑今日山林局出張所ノ性質ハ山林會計兩局ノ事務ヲ執ル場合ニテ單ニ山林局云々ト稱シ候テハ會計事務取扱上實際差開候去リ連會計局出張所ト云ハバ一所兩名ノ姿ニテ體裁宜シキヲ不得付テハ右出張所ノ儀局ノ字ヲ廢シ更ニ農商務省地名山林事務所ト改稱候ハ、妥當ノ儀ト被存候條速ニ御改正相成度御許可之上ハ大藏省へ御通知并該事務所所在縣々へ御達共併セテ左案相伺候也

但山林局出張所へハ兩局長ヨリ達ノ積  
農商務省ヨリ大藏省へ通知十四年九月二十九日  
當省山林局各地出張所ノ儀今般農商務省地名山林事務所ト改稱候條此段及御通知候也

農商務省達 十五年二月二十八日

其縣下官林ノ儀總テ當省於テ直轄候條此旨相達候事

但滋賀縣元管轄若狹國及越前國敦賀郡ニ屬スル官林之儀ハ更ニ引渡候儀ト可相心得事

農商務省達 十五年二月二十八日

福井縣下官林事務其局ニ於テ直ニ取扱可申此旨相達候事

但福井縣へハ別紙之通相達候事

農商務省達 十五年二月二十八日

福井縣下官林之儀今般本省於テ直管候ニ付同所へ事務所ヲ置農商務省福井山林事務所ト稱シ候條此旨相達候事

但福井縣并山林局へ別紙之通相達候事

書記局ヨリ農商務省へ同十五年二月十日

石川縣下官林ノ儀ハ當局ニテ直轄候處今般該縣ヲ裂キ福井縣被置候ニ付テハ同縣モ同様直轄相成候條致度御許可ノ上ハ御達案左ニ相伺候

農商務省達 十五年三月七日

其縣下官林ノ儀ハ去ル十三年三月中内務省直管相成度旨申立ノ趣モ有之追テ何分ノ可及詮議旨指令及

福井縣下官林ヲ山林局ノ直轄ト爲シ事務所ヲ置テ

高知縣下官林ヲ山林局ノ直轄ト爲シ事務所ヲ置テ

置候處此回當省於テ直管候條此旨相達候事

但事務受取方ノ義ハ山林局長ヨリ可及照會候事

農商務省達 同日

高知縣下官林事務其局於テ直ニ取扱可申此旨相達候事

但高知縣へハ別紙ノ通相達候事

農商務省達 同日

高知縣下官林ノ儀今般本省於テ直管候ニ付同所へ事務所ヲ置農商務省高知山林事務所ト稱シ候條此旨相達候事

但高知縣并山林局へ別紙之通相達候事

書記局ヨリ農商務省へ同十五年三月二日

高知縣官林ノ義ハ別紙參照ノ通本省直管相成度旨曾テ伺出ノ趣モ有之既ニ御決議ニ相成居候得共當時局務多端未タ其手順實施ノ場合ニ不到候處頃日林政擴張ノ折柄直管御施行相成候條致度尤當縣令於テモ最前上申ノ節書記官奉職中ニシテ縣令ニ任セラレシ後モ深ク直管ヲ希望候旨屢當局員へ談示之趣モ有之旁此際御實施相成度依テ御達案左ニ相伺候也 高知縣ヨリ内務省へ同略之

山林局達 十五年六月二十三日

十四年九月普第十五號ヲ以テ相達候山林局出張所處務心得ヲ山林事務所山林局員處務心得ト改メ其條款中別紙之通改正増補候條此旨相達候事

但條款中會計事務ニ關涉スルモノハ總テ會計局員へ合議處辦スヘキ事

別紙

第二條中(出張所)ノ三字ヲ(事務所)ト改ム以下出張所トアルモノハ之ニ倣フ

同上但以下四字ヲ削除ス

第五條末文(照會往復スルヲ得)ノ下へ(但訴訟等ニ關スルモノハ官氏名ヲ署スヘキモノトス)ノ二十

三字ヲ増補ス

山林局出張所處務心得ヲ山林事務所山林局員處務心得ト改メ條款中ヲ改正附ス



第十一條上款第十項ヲ削除シ第十一ヲ第十二ヲ第十一ト改ム以下順次之ニ倣フ  
 同上第十<sup>舊</sup>第十一(部分木)ノ下(仕付)ノ二字ヲ(伐採)ト改ム  
 同條下款第二項ヲ(官林及ヒ苗圃ニ播植ヲ爲ス事)ト改ム  
 同上第七項(枯損木)ノ下(及ヒ燒木)ノ四字ヲ増補ス  
 同上第十三項(道路)ノ下(及ヒ耕宅地)ノ四字ヲ増補ス  
 同上第十八項ヲ削除シ更ニ左ノ四項ニ改正増補ス  
 第十八 官林内ノ轉石拾ヒ採處分ノ事  
 第十九 部分木仕付ニ關スル事  
 第二十 官林ニ係ル犯罪人ノ告發及ヒ贓物返還損害要償ノ訴ヲ爲ス事  
 第二十一 成規定例ニ違フ民願處分ノ事  
 第十三條ヲ左ノ通り改ム

第十三條 事務所ニ於テ處分シタル一切之事務ハ月報年報又ハ臨時本局ヘ報告スヘシ但其區別及ヒ書式ノ如キハ別段ノ達ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

山林局ヨリ農商務省ヘ同十五年五月廿日  
 本局各地方山林事務所處務心得條款中刑法治罪法實施等ニテ實際改正ヲ要セサルヲ得サルモノ其他從前經驗上不都合之廉等左之通改正之上各事務所ヘ相達申度此段相伺候也

鹿兒島縣下官林ヲ山林局ノ直轄ト爲ス

農商務省達 十五年六月二十八日  
 鹿兒島縣下官林以來其局ニ於テ直轄可致此旨相達候事

但別紙之通鹿兒島縣ヘ相達候事

農商務省達 十五年六月二十九日

其縣下官林以來當省山林局於テ直轄候條此旨相達候事

書記局ヨリ農商務省ヘ同十五年六月十六日  
 今般渡邊鹿兒島縣令ヨリ該縣下官林直轄之儀ニ付纏々協議之次第モ有之候ニ付篤ト致勘考候處元來該

鹿兒島山林事務所ヲ置ク

農商務省達 十五年七月二十日  
 鹿兒島縣下官林ノ儀今般本省於テ直管候ニ付同所ヘ事務所ヲ置キ農商務省鹿兒島山林事務所ト稱シ候條此旨相達候事

但鹿兒島縣并山林局ヘ別紙ノ通相達候事

農商務省達 鹿兒島縣

其縣下官林本省直管ノ儀相達候ニ付テハ鹿兒島ニ事務所ヲ置キ農商務省鹿兒島山林事務所ト稱シ候條此旨相達候事

書記局ヨリ農商務省ヘ同十五年七月十七日

今般鹿兒島縣下官林本省直轄ノ儀御達相成候ニ付テハ同縣下ニ事務所ヲ置キ農商務省鹿兒島山林事務所ト稱シ度就テハ會計局并該縣ヘ左ノ通御達相成度此段相伺候也

山林事務所山林局員處務心得第十一條上款中處分心得

山林局達 十六年五月十五日

山林事務所山林局員處務心得第十一條上款中左ノ諸項ニ限リ實地差問又ハ不相當之民願ニシテ到底許可難相成モノト看認ルトキハ其所限リ處分ノ上願旨及ヒ其事由ヲ摘記シ翌月十日迄ニ可届出此旨相達候事

第七ノ内 家屋薪炭椎葺製作及ヒ木地挽ノ用材

第十一ノ内 建物稻干場網干場牧畜開墾及ヒ部分木仕付用

第十二ノ内 營業及ヒ一己ノ使用

第十四ノ内 建物稻干場網干場牧畜開墾及ヒ還祿者授産用

山林局ヨリ農商務省ヘ同十六年四月十七日



官林直轄事務所處務心得第十一條上款ニ屬スル官林地排下貸渡及產物ノ排下等ハ經伺ノ上處分スヘキニ付其排下難相成ト見認ムルモノモ又經伺之上處分致來候儀ノ處元來事務所ニ於テハ實際ニ就キ利害得失差問之有無及願情ノ如何ヲモ取調候事故其事務所ニ於テ許可難相成モノト見認ルモノハ概シテ見込之通指令相成候儀ニシテ之ヲ經伺スルニハ每廉伺出ノ手續ヲ爲シ本局ニ於テモ亦普通指令ノ手續ヲ爲スハ管ニ無益ノ手數ニ涉ルノミナラス往復數日ヲ費シ其間人民ハ引當ト爲スヨリ指令ヲ得テ目的ヲ失シ爲ニ再應再三ノ情願ヲ爲スモ許可ナキ末ハ終ニ事務所ヲ怨視スルニ至ル之レ民情ノ免カレサルナレハ其處分ノ速ナルニ若カサル儀ニ付勞務所ニ於テ到底開屆難相成モノト見認ルモノハ直チニ指令爲取計候方可然ト存候間左ニ御達可相成哉 決五月五日

富山官崎二縣ノ官林ヲ山林局ノ直轄ト爲ス

農商務省達 林第一三六號富山縣  
其縣下官林當省山林局於テ直轄候條此旨相達候事

農商務省達 林第一三六號富山縣  
其縣下官林本省直轄ノ儀相達候ニ付テハ右官林事務ハ石川縣下石川山林事務所ニ屬シ爲取扱候條此旨相達候事

農商務省達 林第一三六號富山縣  
其縣下官林當省山林局於テ直轄候條此旨相達候事

農商務省達 林第一三六號富山縣  
其縣下官林本省直轄ノ儀相達候ニ付テハ右官林事務ハ鹿兒島縣下鹿兒島山林事務所ニ屬シ爲取扱候條此旨相達候事

農商務省達 林第一三六號富山縣  
其縣下官林本省直轄ノ儀相達候ニ付テハ右官林事務ハ鹿兒島縣下鹿兒島山林事務所ニ屬シ爲取扱候條此旨相達候事

農商務省達 林第一三六號富山縣  
其縣下官林本省直轄ノ儀相達候ニ付テハ右官林事務ハ鹿兒島縣下鹿兒島山林事務所ニ屬シ爲取扱候條此旨相達候事

農商務省達 林第一三六號富山縣  
其縣下官林本省直轄ノ儀相達候ニ付テハ右官林事務ハ鹿兒島縣下鹿兒島山林事務所ニ屬シ爲取扱候條此旨相達候事

各山林事務所ニ於テ管外所在ノ裁判所へ出向ヲ要スル時ハ經伺ニ及ハス

但富山官崎兩縣并山林局へ別紙ノ通相達候事

山林局達 各山林事務所  
刑事ニ附帶セシ損害賠償ノ始審裁判ニ對シ控訴ヲ起ス場合ニ於テ管外所在ノ裁判所へ出向ノ義ハ經伺ニ及ハス其旨上申致シ置直ニ出向候儀ト可相心得此旨相達候事

山林局ヨリ農商務省へ同十六年五月十二日  
各山林事務所ニ於テ贓物返還損害賠償ノ始審裁判ニ服セス控訴セントスルトキハ事務所處務心得第十條下款第二十項ニ據リ經伺セテ起訴致候ヘトモ管外出向ノ義ハ經伺セサレハ直ニ爲シ得ラルヘキ成規モ無之抑控訴期限ノ義ハ治罪法第三百六十六條ニ依リ五日間ヲ以テ起訴セサレハ相成ラス義ニ付實際經伺ノ暇無之場合モ可有之且假令電伺ノ間合アル場合ト雖トモ既ニ木訴ニ就テハ經伺ニ及ハサル義ナレハ右ニ屬スル出向ノ如キハ敢テ經伺ヲ要セサル義ト存候間以來控訴ニ就テハ其旨上申置直ニ管外出向可然裁御裁定ノ上ハ各山林事務所へ御達案左ニ相伺候也 決五月三十日

農商務省達 官崎縣  
今般當省鹿兒島山林事務所官崎出張所ヲ設置シ其縣下官林事務於同所爲取扱候條此旨相達候事

但開設日限等ノ儀ハ鹿兒島山林事務所ヨリ通牒可及答ニ付此旨可相心得事

山林局達 鹿兒島山林事務所  
官崎出張所設置ノ儀ニ付別紙之通官崎縣へ御達相成候條開設日限等ノ義ハ其所ヨリ通牒可致此旨相達候事

山林局ヨリ農商務省へ同十六年十月一日  
今般鹿兒島山林事務所官崎出張所設置ノ儀御開屆相成候ニ付テハ官崎縣へ左ノ通御達相成可然裁右ニ付鹿兒島山林事務所へ御達案共併テ相伺候也

農商務省達 林第一三八號會計局  
鹿兒島山林事務所官崎出張所ヲ廢シ更ニ官崎へ事務所ヲ置キ農商務省官崎山林事務所ト稱シ候條此旨相達候事

鹿兒島山林事務所官崎出張所ヲ廢シ更ニ官崎山林事務所ヲ置ク

鹿兒島山林事務所官崎出張所ヲ廢シ更ニ官崎山林事務所ヲ置ク







第六條 派出所詰ノ職員ハ左ノ二名ヲ以テ成ル

- 一 營林主事補一名
- 一 森林監守一名

第七條 詰員ノ營林主事補ハ森林監守及官林巡邏ヲ指揮監督スヘシ

第八條 詰員ハ大林區署長監督主任及掛員ノ指揮監督ヲ受ケ官林ノ保護及營林ノ業務ニ從事スヘシ

第九條 掛員及詰員ハ行狀端正ニシテ誠實ニ職務ニ從事シ公衆ニ對シ威信ヲ失ハサルコトニ注意スヘシ

但掛員及詰員ノ服務心得等ニ付テハ小林區吏服務條規第一條乃至第七條及第十一條乃至第十五條ヲ遵奉スヘシ

第十條 官林保護ノ爲メ官林巡邏ヲ要スル地ハ大林區署ニ於テ適宜之ヲ配置ス

第十一條 官林巡邏ハ派出所詰員ノ指揮ヲ受ケテ官林ヲ巡視スルモノトス

第二章 營林ノ業務

第十二條 派出所所轄官林ノ伐木造林及副産物ノ採收其他主副産物賣却ノ方法ハ小林區署長服務條規中當該ノ條項ニ準據シ大林區署長ニ於テ之ヲ行フ

第十三條 掛員ハ毎年主副産物ノ收支豫算案及ヒ造林築道等ノ計畫案ヲ製調スヘシ

第十四條 豫算ノ調査及ヒ其表式并諸簿表ノ製調記載ノ方法及大林區署へ提出ノ月日手續ハ小林區署長服務條規中當該ノ條項ニ準據スヘシ

第三章 官林ノ保護

第十五條 詰員ハ營林ノ業務ニ從事スルノ外常ニ官林ヲ巡視シテ其保護ヲ擔當スヘシ

第十六條 詰員ハ擔當ノ官林ヲ視察スルハ勿論兼テ近傍ノ民林若クハ田野ニ注目シテ野火蟲害其他官林ニ損害ヲ及ホスヘキ影響アル事物ヲ觀察スヘシ

第十七條 盜伐其他森林ノ犯罪鳥獸昆蟲ノ加害森林火災野火延燒森林ノ水損風雪ノ損樹林道ノ危險等

ニ依ル豫防除害ノ處置ハ派出所詰員小林區吏服務條規第二章中當該ノ條項ニ準據スヘシ

第十八條 官林境界ノ調査林地ノ區畫其他林地ノ測量地圖ノ製調等ヲ要スルコトアレハ又小林區署長服務條規中當該ノ條項ニ準據スヘシ

第十九條 官林ノ保護ハ派出所詰員專ラ其責ニ任スヘシ

小林區署長服務條規草案十九年四月日 附錄略之

第一章 總則

第一條 小林區署長ハ其區内ノ官林ヲ管理シ其業務ヲ執行シ小林區吏ヲ指揮シテ各自當該ノ業務ヲ擔當セシム

第二條 小林區署長ハ誠實ニ其負擔スル職掌ヲ竭シ且品行方正殊ニ廉潔ヲ旨トシ衆庶ノ信任ヲ失ハス常ニ精ヲ勵マシ勞ヲ厭ハス以テ永遠ノ成効ヲ企圖ス可シ

第三條 小林區吏服務條規第一章中ノ諸條項ハ小林區署長又之ヲ遵守シ小林區吏ヲ督シテ之ヲ遵奉セシムヘシ

但小林區吏服務條規ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 小林區署長ノ要務ハ分テ左ノ四項ト爲ス

- 一 官林地ノ境界ヲ調査保存シ及官林ノ保護ヲ指揮監察スル事
- 二 官林地ヲ測量シ及地圖ヲ調製スル事
- 三 毎年ノ斫伐案造林案築道案副産案ヲ調製シ既許ノ成案ヲ施行シ百種ノ林産物ヲ利用スル事
- 四 總テ其管理ニ係ル帳簿ヲ記載シ計算ヲ整理スル事

第五條 小林區署長ハ其所轄林區ノ境界區分及事業ノ情況ヲ詳ニシ兼テ森林ニ關係セシ法律條規ニ通曉シ日々官林地ヲ巡視ス可シ

第二章 林産物



第六條

小林區署長ハ其所轄林区ノ產物ヲ生材豫算表及金員豫算表ニ據テ之ヲ暗記ス可シ

第七條 前條ノ豫算表中記數ニ變更ヲ生スル時ハ之ヲ當該ノ帳簿ニ明記ス可シ但面積ニ係ル者ハ成規ニ據テ面積簿ニ記註シ出材及金員收入ニ係ル者ハ生材若クハ金員豫算表中當該ノ欄内ニ記註シ且後年度ノ生材及金員豫算表ニ於テ變更ヲ生スベキ情況アル事物ハ總テ之ニ記註シ置ク可シ

第八條 年々斫伐ノ成蹟ハ照査簿ニ記載シ林產所得ニ係ル變更及意見ハ林值簿ニ記載ス可シ但面積簿照査簿及林值簿ノ製式記載法ハ別ニ之ヲ定ム

第九條 小林區署長ハ生產物ノ收支及其計算ヲ爲スニ止リ金員ノ收支ヲ爲スヲ得ス

第十條 小林區署長ハ會計員ニ於テ受收スヘキ森林收入金ヲ照査スル爲メ附錄第一號書式ニ據テ豫算收入簿ニ記載スヘシ其記載ハ會計員ニ通知ノ時若クハ金員豫算表ニ據ル拂込ノ時ヲ以テス

第十一條 豫算收入簿ハ監督紙數ヲ檢シ證印ヲ捺シタル時ハ上官ノ外他見ヲ許サス

第十二條 事業年度ハ會計年度ニ據リ四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル者トス生材及金員ノ收支ハ總テ此年度ニ據テ計算シ事業年度ノ諸帳ハ會計年度決算ノ時ヲ以テ完結ス可シ

第十三條 小林區署長ハ毎年四月一日ヲ以テ諸簿表ヲ悉皆新調シ前年度ノ諸帳簿ハ年度決算ニ至ル迄續記ス可シ

第一款 主產物

第十四條 伐木ハ總テ斫伐案ニ據テ執行ス可キ者トス斫伐案ハ附錄第二號書式ニ準シ毎年之ヲ調製スヘシ

第十五條 小林區署長ハ施業規畫ニ準據シテ毎年木材ノ用途ヲ調査シ翌年度ノ斫伐案ヲ七月三十一日迄ニ起草シ監督來署ノ時其草案ニ依リ實地檢査ヲ受クヘシ此檢査終リタル時ハ速ニ其草案ヲ淨書シ之ヲ監督ニ差出スヘシ但檢査ノ時供用シタル草案ニ監督ノ加筆アレハ之ヲ添付スヘシ

第十六條 斫伐案ニ記載ス可キ者左ノ如シ  
第一 前年度迄ノ伐採増減ト來年度ノ伐採定額トヲ計較シ實際ノ伐採豫算高ヲ算出シテ案中當該ノ

欄内ニ記載シ其伐木豫算ハ鉛筆ニテ假書スヘシ

第二 伐木ノ計畫終リタルハ郡村事業區林班小班ニ隨ヒ主伐開伐ヲ樹種材類ニ據テ記別スヘシ但枯損風損ノ類豫定シ難キ木材ハ終尾ニ概算ヲ以テ之ヲ記載ス可シ

第十七條 斫伐案ハ大林區署長ヨリ確定シテ一月三十一日迄ニ下付ス可キ者トス

第十八條 既定ノ斫伐案ハ監督ノ許可書ヲ得ルニ非レハ小林區署長ニ於テ變更スルヲ許サス其斫伐案ヲ變更シタル時ハ生材精算表ニ其許可書ヲ添付シテ進達スヘシ

第十九條 小林區署長ハ斫伐前既定ノ斫伐案中林班若クハ小班ノ伐木數ヲ指定シテ之ヲ擔當員ニ配付シテ實際施業ノ區域ヲ指示スヘシ

第二十條 小林區署長ハ喬林ノ擇伐地間伐地ニ於テ伐採スヘキ樹幹ヲ標示シ又皆伐地ニ於テ存置木トシテ殘存ス可キ樹幹ヲ標示ス可シ但矮林ノ存置木ハ擔當員ヲシテ標示セシムルコトヲ得

第二十一條 柚夫ヲ備フニハ大林區署長ノ指定セル書式ニ從テ小林區署長各柚頭ト受負條約ヲ結ヒ人夫ハ相對若クハ受負條約ヲ結ヒ備役ス可シ

第二十二條 既出ノ收材費（柚夫入夫ノ賃等）及既收ノ生材ハ一切收材費簿（收材簿）ニ記載ス可シ該簿ハ附錄第三號書式ニ準シ毎年度ノ始メニ於テ新調シ每事業區ニ新紙面ヲ用ヒテ完結シ且通知濟ノ賃金高ハ之ニ登記スヘシ

立木ノ儘拂下タル時其採取ノ生材ハ收材費簿ニ毎月ノ總計ヲ朱記スヘシ

年度ノ終ニ至レハ每事業區ノ生材及收材費ヲ各別ノ欄内ニ墨書シ立木拂ノ生材ハ別欄内ニ朱記シテ完結スヘシ

一事業區限リニ計算セシ總計ハ收材費有無ノ生材ヲ區分シ墨書若クハ朱書ヲ以テ複記シテ總括スヘシ

第二十三條 小林區署長ハ收材費簿ヲ完結シ之ヲ淨書シテ收材費精算表ヲ作り其原稿及斫伐受負等ノ證據書類ヲ添ヘテ四月三十日迄ニ大林區署長ニ進達スヘシ其精算表及原稿ハ大林區署長ノ保證ヲ受



ケテ之ヲ保存スヘシ

第二十四條 木材ヲ賣却セントスルニ若シ運材ノ費用ヲ要スル時ハ大林區署長ノ指揮ヲ受ケテ受買人ヲ定メ其費用ニ付テハ別ニ精算表ヲ調製スヘシ

第二十五條 小林區署長ハ一班若クハ一小班ノ斫伐ヲ終リタル時擔當員ニ於テ木材ヲ測算シ番號ヲ付シテ記載シタル木材番號簿ニ據リ各個ノ員額及尺縮ヲ検査シ番號簿中ノ記數ト照查シテ極印ヲ番號ノ傍ヲニ打シ小林區吏服務條規ニ準據シテ其木材ヲ監收スヘシ

第二十六條 小林區署長木材ヲ監收シテ成規ニ據リ番號簿ヲ完結保證シタル時ハ附錄第四號書式ニ準シ一班若クハ一小班毎ニ賣材表ヲ調製ス可シ但シ賣材表ハ番號簿ト同時ニ完結シ其監收ノ記事ニ對シ擔當員ト共ニ連署檢印スヘシ

第二十七條 木材ヲ賣却シタル時ハ賣材表中ヘ左項ニ依テ出材ヲ附記スヘシ但賣材表ノ終尾ニハ總計ヲ複記シ採收ノ木材ヲ照查簿ニ轉記スルノ料ニ供ス

第一 特賣買得者ノ宿所姓名及木材交付票ノ番號  
第二 公賣ノ年月日及落札落耀者ノ宿所姓名

第二十八條 立木ノ儘拂下ヲ爲シ買得者ノ伐採ヲ許シタル時モ又前條ニ準據シテ特別ニ賣材表ヲ調製スヘシ

第二十九條 林地ニ散在スル枯損木ノ類迅速ニ賣却セサレハ被盜ノ恐レアル者ハ散在ノ儘賣却スヘシ該材ハ擔當員ノ木材番號簿ニ記載スヘシ但小林區署長ノ實地點檢及監收ニ依テ賣材表ニ記載スヘシ  
第三十條 小林區署長ハ木材利用ノ爲メ前年ノ賣價及市場ノ現價ニ應シ適實ノ價格ヲ査定シ常ニ需用者及材商ノ用途希望ヲ觀察シ時機ニ投シ收入ノ多カラントヲ勉ムヘシ

第三十一條 木材ノ賣却ハ一事業區若クハ一班ニ於テ伐木ヲ完了シ生材ヲ監收シタル後ニ非レハ之ヲ許サス

第三十二條 公賣特賣ヲ間ハス木材交付ノ爲メニハ附錄第五號書式ニ準シ木材交付票ヲ製スヘシ但シ

交付票ハ全年度ヲ貫通シテ順次番號ヲ付スヘシ

第三十三條 出材ハ小林區署長直ニ生材簿中出材ノ部ニ記入ス可シ

第三十四條 生材簿ハ附錄第六號書式ニ準シ生材豫算表ノ科目ニ據テ調製スヘシ但生材精算表ノ原稿ト爲スヘキ者トス

各科目ノ決算ハ年度末ニ於テ履行スヘシ

第三十五條 木材ノ賣却ハ左ノ二種ニ據ル

第一 特賣 第二 公賣

特賣ニ係ルモノハ大林區署長ノ指揮ヲ受クヘシ公賣ニ係ル者ハ之ヲ要セス

第三十六條 木材交付票ハ賣材表ニ交付ノ事由ヲ記述シ其木材番號ニ從テ受領者ノ姓名及交付票ノ番號ヲ記シタル後之ヲ受領者ニ下付シ擔當員ニ於テ木材ヲ交付スル時之ヲ收受スヘキ者トス

但交付票裏書ノ手續ハ別ニ之ヲ定ム

第三十七條 特別ニ小林區署長ニ委任スル特賣ハ左ノ如シ

第一 水火ノ災害ニ因テ生シタル臨時切迫ノ需要ニ應スル用材

第二 林區線内細民需用ノ薪材

第三 袖夫需用ノ作業器具材

第四 蟲害其他保護上ニ關シ採伐セシ小圓材

第五 竊取ノ恐アル倒木若クハ盜伐材

第六 二回公賣ニ付シテ尙相當ノ賣價ヲ得サリシ木材

但本項ノ木材ハ公賣ニ附シタル結果及年月日ヲ特賣ノ交付票ニ記載スヘシ

第三十八條 前條ノ特賣ハ時價ヲ以テ實施スヘシ

但大林區署長ヨリ訓示アル者ハ此限ニアラス

第三十九條 第三十七條第一項ヨリ第五項ニ至ル特賣ハ買得者一戸一箇年ノ買得高金五圓ヲ限リトス



第四十條 小林區官吏ノ需用薪材ハ其定量ヲ超ヘサル以上ハ小林區署長成規ニ照準シテ付與スヘシ  
但木材交付票ヲ下付スヘシ

第四十一條 生材豫算表若クハ大林區署長ノ指揮ニ據テ特賣スル者ヲ除キ其他ノ木材ハ入札法若クハ  
繙賣法ヲ以テ公賣スヘシ公賣ヲ別テ左ノ二種ト爲ス  
第一 制限公賣 第二 普通公賣

第四十二條 制限公賣ハ細民自家需用ノ爲メ營業者工業者及富有者ノ加入ヲ制止シテ買得ヲ容易ナラ  
シムルニ在リ此公賣ハ薪材一棚ヲ限リ發賣スヘシ但一箇月二回ヲ超ユヘカラス

第四十三條 普通公賣ハ時機ニ應シテ之ヲ行フヘシ

第四十四條 公賣期限ノ廣告ハ制限若クハ普通ノ別ニ從ヒ小林區署長之ヲ爲スヘシ

第四十五條 公賣ハ小林區署長ノ開設スルヲ通則ト爲ス數林區聯合シテ多量ノ木材ヲ賣却セントスル  
時其公賣ハ監督之ヲ開設スル者トス此場合ニ於テハ小林區署長常ニ臨場スヘシ  
但事宜ニ依リ大林區署長ヨリ別ニ木材公賣開設委員ヲ撰出スル時ハ此限ニアラス

第四十六條 小林區署長ハ擔當員ニ既定ノ公賣期限ヲ豫報シテ其公賣ニ從事セシムヘシ

第四十七條 公賣ヲ指揮シテ且之ニ從事スル官吏ハ本人又ハ他人ヲシテ自家若クハ他家ノ爲メニ入札  
者若クハ贖買者トナリテ公賣ニ加入スルコトヲ嚴禁トス

第四十八條 公賣ハ土場其他便宜ノ地ニ於テ執行スヘシ其便宜ノ地ニ於テ執行セントスル時ハ土場ヲ  
遠隔セサルコトニ注意スヘシ

第四十九條 小林區署長ハ事務ノ便否ヲ問ハス地方ノ事情買得者ノ企望慣習及販路ノ利便ヲ思料シテ  
公賣地ヲ撰定スヘシ

擔當員ハ公賣スヘキ木材ヲ公賣開期ノ八日前ニ整頓シテ番號ヲ附シ小林區署長ハ豫メ擔當員ニ訓示  
シ望人ヲシテ規約書及現品ヲ丁寧ニ熟覽スルヲ得セシムヘシ  
但疾急ノ賣却ヲ要スル時ハ此限ニアラス

第五十條 木材公賣始末書ハ附錄第七號書式ニ準シ發賣スヘキ每拵ノ番地本敷尺及メ棚數ノ總計ヲ表  
中ニ記入シ公賣開期前之ヲ準備シ置クヘシ但拵數ノ記事ハ小林區署長ノ責ニ任スヘキ者トス

第五十一條 木材ノ公賣ハ豫メ價格ヲ算シ留直段ヲ定メ置キテ之ヲ行フヘシ  
其公賣ハ規約書ヲ朗讀スルヲ以テ開始スルモノトス  
但特別ノ規約書ハ大林區署長ノ確定シタル者ニ據ルヘシ

第五十二條 公賣開札ノ朗讀及贖賣ノ耀方ハ擔當員ヲシテ之ヲ行ハシム  
但擔當員支障アルトキハ他人ヲ撰シ之ヲ行ハシムルコトアルヘシ

第五十三條 入札耀賣ハ留直段以上ニ達シタル最高價ノ者ニ落札申渡若クハ落糶信號ヲ報スヘキ者ト  
ス  
若シ低價ナルモ其減額留直段ヨリ百分ノ二十迄ハ小林區署長ノ職權内ヲ以テ事宜ヲ酌量シ之ヲ賣却  
スルコトヲ得

第五十四條 小林區署長ハ監督若クハ大林區署長ヨリ命シタル公賣委員ノ公賣ヲ開設スル時又公賣始  
末書ヲ記述スヘシ

第五十五條 小林區署長ハ落札落糶既ニ定リタル時ハ直ニ落札落糶人ノ姓名及代金ヲ公賣始末書ニ記  
入シ落札落糶人ヲシテ捺印セシムヘシ

第五十六條 派出會計員ハ其手簿ニ落札落糶人ノ姓名及代金ヲ記入シ擔當員ハ木材番號簿ニ落札落糶  
人ノ姓名及代金ヲ記入シ公賣始末書及擔當員會計員ノ兩記事ヲシテ差違ナカラシムヘシ

第五十七條 公賣ノ終リタル時ハ公賣始末書ト派出會計員及擔當員ノ兩記事トヲ對照シテ之ヲ完結シ  
其金員ヲ始末書中金員欄内ニ記入シ小林區署長會計員及擔當員ト共ニ連署捺印スヘシ  
但公賣始末書ハ其公賣ニ於テ落札落糶シタル木材ノ外他ノ木材ヲ記入スルヲ得ス

第五十八條 小林區署長公賣始末書ヲ完結シタル時ハ賣材表及生材簿ニ賣材ヲ登記シ金員ノ總計ヲ生  
材簿及豫算收入簿ニ記載シ其記事ノ番號ヲ公賣始末書ニ記載スヘシ



但公賣始末書ハ速ニ會計員ニ送致スヘシ

第五十九條 落札落糶ニ於テ賣買終リタル時ハ小林區署長木材交付票ヲ製シテ直ニ買得者ニ手授スヘシ

第六十條 小林區署長ハ賣材藏書函ヲ設ケ置キ公賣特賣ニ關スル公賣始末書并ニ所屬ノ廣告文書生材精算表等ノ證據書類ヲ之ニ藏置シ毎月末之ヲ大林區署長ニ進達シテ検査ヲ受クヘシ

第六十一條 小林區署長ハ常ニ現存ノ生材ヲ點檢シテ其整否ヲ監査シ之ヲ擔當員ノ木材番號簿ニ記註シテ保證ス可シ

第六十二條 年度末ニ殘存セシ生材ハ附錄第八號書式ニ準シ生材一覽表ニ合載シテ四月三十日迄ニ監督ニ差出スヘシ

第六十三條 小林區署長ハ諸計算簿ヲ明確ニ記載シ兼テ擔當員ノ木材番號簿ヲ正シク記載セシム可キ責任アル者トス

第六十四條 諸計算簿ハ甲乙ノ計算符合シ且擔當員ノ木材番號簿及出材證據書ノ計算ト符合ス可キ者トス小林區署長ハ諸帳簿ヲ對照計較シテ著實ニ検査スヘシ其検査ノ時擔當員ノ面前ニ於テ木材番號簿ヲ検査シ木材交付票ノ記入保存及整否如何ヲ證認スヘシ

第六十五條 小林區署長ハ生材精算表ヲ調製シ成規ノ計算證據書類ヲ添付シテ四月三十日迄ニ之ヲ監督ニ差出スヘシ

但年度末以前ニ於テ生材ヲ皆出シタル時ハ大林區署長ノ指定シタル進達期限ニ據ルヘシ

第六十六條 小林區署長精算表ヲ調製スルニハ前期精算表ノ備考及記註ニ注意スヘシ但精算表ハ生材簿ト同一ノ模式ヲ用ユルヲ以テ生材簿ヲ原稿ト爲シ其番號及證據書類ノ番號ヲ記入スヘシ

第六十七條 精算表完結後ノ殘材ハ生材簿收材ノ部要領欄内第一項ニ證記シ計算ノ備考監收ノ記註若クハ監督ノ計算證書ニ據テ前期精算表ノ缺減ニ係ル收入ノ伐木ハ第二項中ニ特記シ當事業年度ノ伐

木ハ收材費簿ニ記載シタル後總計シテ第三項中ニ記載スヘシ

但當事業年度收材ノ證據書トシテ斫伐案ヲ添付スヘシ

第六十八條 生材簿第三項ニ於テ照査丁簿ノ伐木尺メノ總計ト斫伐案ノ總計豫算高トヲ對照スヘシ其超額百分ノ十ヲ過タル時ハ大林區署長ヲ經テ農商務大臣ノ認可ヲ受ク可キ者トス

第六十九條 生材簿中出材ノ部ハ各項ノ生材及金員總計ヲ複記シテ生材精算表ノ原稿ト爲スヘキ者トス

出材ノ部ハ分テ二項ト爲シ第一項ニハ前期計算補闕ノ出材ヲ記述シ第二項ニハ豫算表ノ順序ニ依テ前年度ノ貯木ト當年度ノ伐木トノ出材ヲ明記スヘシ

第七十條 出材ハ左ノ三項ニ分チ豫算表ノ順序ニ依テ出材簿ニ詳記スヘシ

- 第一 前年度引渡未済ノ交付
- 第二 當年度豫算表上ノ交付
- 第三 臨時ノ交付

第七十一條 出材及豫算收入金總計ヲ生材簿ニ記入シタル後收材總計ヲ附記シテ殘材アリタル時ハ監督ニ對シテ其殘材ノ數量正確ナルヲ保證スヘシ

第七十二條 小林區署長ハ生材精算表ヲ淨書シ其證據書ニ番號ヲ附記シ之ヲ整頓綴合シテ監督ニ差出スヘシ

小林區署長生材精算表ニ添付スヘキ者左ノ如シ

- 第一 收材費精算表原稿
- 第二 生材簿
- 第三 豫算收入簿
- 第四 賣材表
- 第五 擔當人ノ差出セシ木材番號簿



第六 同木材交付票

第七十三條 前條ノ簿表ハ生材精算表證據書類及木材交付票ヲ除クノ外監督検査済ノ後返付アル者トス

第七十四條 收材費簿生材簿及豫算收入簿ハ他ノ公證書ト共ニ之ヲ保存シ其他ノ生材精算表及木材番號簿ハ十箇年以上保存シタル後大林區署長ニ送致スヘシ

第七十五條 竹材ノ收支ハ總テ前條ノ規定ニ據ルヘシ  
但諸簿表ハ特別ニ調製スヘシ

第二款 副産物

第七十六條 小林區署長ハ副産物ノ利用ニ注意スヘシ

人民ニ副産物ノ採收ヲ許可シタル場合ニ於テハ其指定シタル規約ニ違背スルコト無キヤ又森林ヲ妨害スルコト無キヤヲ監察スヘシ

第七十七條 副産物ヲ利用スルニ方テ主産物ヲ害セス又副産物ヲ竊取セザレサルコトニ注意スヘシ

第七十八條 小林區署長ハ豫算年度ノ第三年ニ於テ後期四年間ノ副産物利用法 豫定價格等ヲ詳記シタル副産草案ヲ大林區署長ニ差出スヘシ

第七十九條 小林區署長ハ別段ノ條約ニ據テ豫定セサル副産物ノ賣却ニ就テハ副産物交付票ヲ調製スヘシ

但交付票ノ授受及用法ハ木材交付票ニ準シ臨時ノ賣却ニハ賣品收金票ヲ調製スヘシ

第八十條 副産物交付票及賣品收金票ハ附錄第九號書式ニ準シ調整スヘシ

第八十一條 副産物ノ賣却ハ豫算表既定ノ條約大林區署長ノ許可若クハ確定ノ副産案ニ基キ之ヲ行フヘシ其賣却ヲ別テ左ノ二種ト爲ス

第一 公賣 第二 特賣

第八十二條 樹實菌草雜草類ノ副産物ハ入札若クハ糶賣ヲ以テ賣却スルヲ通則ト爲ス

第八十三條 代價僅少ニシテ公賣ニ附スルヲ要セス若クハ主産物ノ保護急備ノ供給盜難ノ豫防其他公賣スヘカラサル理由アル副産物ハ特賣法ヲ以テ賣却スヘシ

第八十四條 木材公賣ノ爲メ第四十一條以下ニ制定シタル條規ハ副産物ノ公賣ニ又之ヲ適用ス

第八十五條 面積區畫ヲ指定シテ公賣スル時ハ小林區署長豫メ其區畫ノ境界ヲ明示シ擔當員望人ノ請求ニ應シ豫メ其公賣區畫及物品ヲ實見セシムヘシ

第八十六條 一年以上ノ年季ヲ以テ副産物ヲ公賣スヘキ始末書ヲ完結シタル時ハ廣告文及收額ヲ豫算表ニ添付シテ大林區署長ニ差出シテ落札落糶ノ認可又ハ條約ノ可決ヲ受クヘシ

第八十七條 副産物採取者ニ入札監札ヲ下付シテ買得ノ證票ト爲サシムヘシ

第八十八條 年季賣却ノ規約ハ公賣始末書ノ冒頭ニ記載スヘシ

其規約中ニ記載スヘキ者左ノ如シ

第一 入札區部ノ番號

第二 生産所在ノ町村及字林班ノ名稱

第三 生産地ノ面積

第四 生産物ノ概算

第五 一個及全數ノ價格

第六 買得者ノ宿所姓名

第七 落札落糶ノ記事

第八 入札監札若クハ交付票ノ番號

第九 買得者ニ關スル備考及其證印

但其他ハ第四十一條以下主産物公賣ノ條規ヲ適用ス

第八十九條 小林區署長ハ僅少ナル副産物ヲ買得者ニ採收セシメ又ハ小林區署ニ於テ採收賣却スルコトヲ得



第九十條 小林區署長ハ副産物採收ノ爲メ林中ノ區部時日方法採收器械及運送器械ヲ指定シ又入林鑑札ヲ下付スルコトヲ得

第九十一條 官業採收ノ副産物特賣ニハ此條規第三十七條第三十八條第三十九條第四十條ヲ適用ス  
第九十二條 買得者ヲシテ採收セシムヘキ副産物ノ賣却ニモ其交付票ヲ下付シ之ヲ買得者自採副産物賣却一覽表ニ記入スヘシ

第九十三條 副産物交付票若クハ收金票ノ原稿ハ年度末ニ至リ既定ノ公證書中ニ綴込ムヘシ

第九十四條 官業採收ノ副産物ヲ賣却シタル時ハ小林區署長其收支及採收費ノ精算表ヲ製シ年度末ニ至リ監督ノ保證ヲ受ケテ證據書類ト共ニ會計員ニ送致スヘシ

第九十五條 前條ノ場合ニ於テハ主産物ノ方法ニ準據シ左ノ簿表ヲ調製記載スヘシ

第一 擔當員ノ差出シタル採收費賃金票ニ據テ交付票ニ記入スヘキ産物ノ爲メニハ副産番號ヲ調製スヘシ

第二 副産拂下表ヲ調製シ森林副産簿ヲ記載スヘシ

但賃金票ハ本簿中收品ノ部ニ登記シ拂下表若クハ公賣始末書ハ出品ノ部ニ登記スル者トス

第九十六條 森林副産簿ハ年度末ニ至リ收支ヲ決算シ之ヲ原稿トシテ副産精算表ヲ製シ收品及採收費豫算支出ノ部ニ拂下表若クハ公賣始末書ヲ記シ四月三十日迄ニ會計員ニ送致スヘシ

第九十七條 精算表及其證據書ハ小林區署長副産拂下表副産簿副産番號簿及交付票ト共ニ監督ニ差出シテ檢査保證ヲ受クヘシ

第九十八條 森林副産簿副産拂下表番號簿及交付票ノ保存ニハ此條規第七十四條ヲ適用ス

第三章 造林及林地改良

第一款 造林案

第九十九條 小林區署長ハ翌年度ニ於テ施行スヘキ造林及林地改良ノ爲メ成規ニ據リ七月三十一日迄ニ附録第十號書式ニ準シ造林案及其經費豫算書ヲ調製シ監督若クハ大林區署長巡回ノ時實地ノ檢査ヲ受クヘシ

但起案ノ時ハ上官ノ實地檢査ニ就テ所要ノ變更ヲ記入スルヲ得ヘキ餘白ヲ存置スヘシ

第一百條 造林案ヲ起草スルニハ實地經驗ニ徴シ前數年度ノ造林及天然ノ更新ニ於テ要スル諸般ノ改良ヲ查覈シ其他緊要ノ改良作業ヲ精密ニ豫算スヘシ

第一百一條 新起業ヲ案出スルニ方リ若シ準備ノ資金勞力ヲ悉皆豫算シ難キ時ハ別ニ翌年度施行ノ爲メニ必要トスル部分ヲ算定スヘシ

第一百二條 林地改良ノ區域ヲ查覈シ新起業地ヲ測量スヘキ作業ハ擔當員ヲシテ助成セシメタル作業ノ施行及成蹟ノ良否ハ小林區署長其責ニ任スヘシ

但費用ヲ豫算スルニ方テ計畫ノ作業ハ其地方時價ニ據リ樹實樹苗代價ハ假リニ時價若クハ前年度ノ價格ニ據テ經費ヲ豫算スヘシ

第一百三條 上官ノ檢査ヲ經タル造林案ハ小林區署長之ヲ淨書シ其實地檢査ニ使用セシ草案ヲ添付シ一月三十一日迄ニ監督ニ差出スヘシ

第一百四條 造林案ヲ調製スルニ方テ特ニ注意スヘキ者左ノ如シ

第一 林值整表及林值簿中造林若クハ改良施行ノ爲メニ詳録シタル照查記號ハ造林案中毎科各別ニ之ヲ定ムルヲ通則トス各部ノ造林ハ林班ノ番號ニ準シ林班限リ規定ノ項内ニ登記スヘシ

第二 植樹若クハ播種スヘキ空地ニシテ測量又ハ概算ニ據テ查覈スヘキ面積ハ「造林用面積」欄内第一項ニ記スヘシ但他日計算ノ時ニ於テハ實際植樹シタル土地ノ面積ヲ其植樹若クハ區部ノ員數ニ據テ詳細ニ計算スヘシ

第三 林地改良ヲ必要トスル全面積ハ造林案ノ要領欄内改良ニ關スル科目中ニ明記スヘシ

第四 造林ノ種類施行ノ方法ハ特別ニ詳記シ播種ハ土工作業ノ方法種子ノ保護方及播種地ノ距離ヲ記シ植樹ハ樹苗ノ年齢大小及之ヲ採收スヘキ地名遠近ヲ記シ鑿溝ハ淺深長短及廣狹ヲ記シ其他造林ノ施行及其費額ノ審査ニ關係アル者ハ總テ記入スヘシ



第五 造林案及造林精算表ヲ調製スルニハ豫算外ノ造林作業ヲ生シタル時之ヲ記入スヘキ餘白ヲ存シ置クヘシ

第六 確定シタル造林案ハ二月二十八日迄ニ大林區署長ヨリ下付シ造林費總額ヲ指定セラルヘシ  
第七 確定シタル造林案ハ監督ノ許可ヲ得スシテ之ヲ變更シ又ハ現行中ノ造林ヲ更改シ又ハ制定外ノ面積及方法ニ依リ造林スルヲ許サス且指定ノ造林金額ヲ超過セサルヲ要ス  
豫想外ノ事故ニ因リ變更ヲ要スルコトアル時ハ豫メ監督ニ開申スヘシ

但豫算費金ニ對スル些少ノ變更ハ此限ニ在ラス  
第八 造林區署長ハ既定造林案中ノ一事項ヲ擔當員ニ委付シテ其造林及改良ノ作業ヲ實施セシムヘシ

第二款 造林及林地改良ノ作業

第七條 既定造林案面積内ニ溝渠ヲ設ケ土地ヲ拓ク等ノ造林作業ニシテ請負ヲ以テ施行セシムルモ妨ケナキ者ハ小林區署長ハ札若クハ相對ノ受負ヲ以テ人夫ヲ僱使スルヲ得若シ造林案ニ於テ人札ノ受負ヲ規定シタル者ハ監督ノ許可ヲ受ルニ非レハ濫リニ相對ニ受負ハシムルコトヲ得ス  
但相對ノ受負ハ豫算ヲ超過スルヲ許サス人札ノ請負ハ豫算費額百分ノ十迄ハ之ヲ許スコトアルヘシ

第八條 入札ノ最低價豫算ヲ超過スル場合ニ於テ他ニ豫算金額以内ヲ以テ施行セシムヘキ著實ノ受負人アルトキハ相對ヲ以テ受負ハシムルヲ得ヘシ  
但此人札始末書ハ變更ノ證トシテ必計算證據書ト共ニ保存スヘシ

第九條 植苗播種等特別ノ指揮注意ヲ要スヘキ造林作業ハ熟練ノ者ヲ僱使シテ施行スヘシ  
第十條 造林人夫ノ使役及視察ハ擔當員ニ訓示シテ分掌セシムヘシ  
造林人夫ノ選擇ヲ監察シ植苗播種ノ作業造林ノ養樹ハ熟練ノ人夫ヲ使用スルコトニ注意スヘシ  
但僱入賃額ハ小林區署長之ヲ定ムヘシ

第十一條 小林區署長ハ適當ノ時季ニ於テ造林作業ヲ施行シ其目的ニ害ナク造林案ノ定規ニ違背セサル時ハ費用ヲ節減シテ施業スヘキ責任アルモノトス

第十二條 小林區署長ハ自ら作業ヲ指揮監督スヘキ任務アルニ依リ時々造林場ニ臨ンテ周到ニ作業ヲ檢查シ擔當員ノ勤怠ヲ監察シ其手簿ニ就キ作業ノ記事ヲ點檢シテ捺印若クハ意見ヲ記入シ年月日ヲ記スヘシ

第十三條 小林區署長ハ造林案ニ準據シテ造林用ノ樹實ヲ採收貯蓄シ其良否ヲ査定シ各部ノ造林ニ應シテ適度ノ數量ヲ擔當員ニ配付シ適實ニ使用セシムヘシ

第十四條 擔當員ヨリ下付スヘキ造林賃金票ハ附錄第十一號書式ノ用紙ヲ大林區署ヨリ受取需要ニ應シテ擔當員ニ配付スヘシ

但日備作業ト受負作業トノ賃金票ヲ區分スヘシ

第十五條 小林區署長ハ豫算表ニ據テ作業ヲ善良廉價ニ施行シ特ニ賃金票中ノ記數ヲ正確ニ保證シ受負作業ノ時ニ於テハ其施行善良ニシテ豫算ニ適合シ及其他ノ記事正確ナルコトヲ證認シタル後賃金票ヲ確定シテ會計員ニ送致スヘシ

第十六條 既定ノ賃金票ヲ其受領人ニ下付スル時ハ附錄第十二號ノ書式ニ準シ其金員ヲ賃金簿ニ登錄スヘシ

第十七條 各年度ノ爲メニ調製スヘキ造林精算表ハ造材簿ノ記事ニ據テ之ヲ完結スヘシ

第十八條 造林精算表ニ屬スル證據書類左ノ如シ

- 第一 作業ノ始末書若クハ其受負ノ廣告書
- 第二 賃金票及其他造林用ニ就テ支出シタル金員ノ領收書
- 第三 樹苗種子購買ノ領收書

第十九條 造林案及證據書類ハ一月三十日迄ニ監督ニ差出スヘシ

第二十條 小林區署長ハ大林區署ニ於テ計算主任官ノ審査ヲ經テ支出ノ總額ヲ確定保證シタル後造



林精算表及證據書ノ返付アリタル時之ヲ生材精算表ニ綴合スヘシ

但造林案及精算表ノ原稿賃金簿ハ小林區署ニ收藏スヘシ

第三款 道路官舎ノ修築

第二百一十一條 官林内ノ道路及橋梁ノ修築ハ小林區署長常ニ臨檢スヘシ

但運材一途ニ用ユル道路ノ費用ハ造林費ヲ以テ支辨シ之ヲ造林案若クハ精算表ニ記載スヘシ

第二百二十二條 道路ノ費用ハ築道案ニ於テ豫算シ監督巡回ノ時審査ヲ受ケ毎年一月十五日大林區署長ニ進達スヘシ

但此費用ニ就テハ築道精算表ヲ製スヘシ

第二百二十三條 小林區署長ハ所轄區内ノ官舎ヲ保管シ且ツ左ノ事項ヲ司掌スヘシ

第一 官舎ノ使用者ヲシテ成規ノ義務ヲ遵奉セシムル事

第二 官舎ノ建築ハ三箇月以前ニ其明細表ヲ監督ニ開申スル事

第三 年度ノ中途ニ於テ必要トスル官舎修理ヲ豫メ大林區署長ニ具申スル事

第四章 森林保護

第二百二十四條 小林區署長ハ成規ニ據テ官林ヲ保護愛養シ天變人爲ノ災害ヲ防禦スヘシ

第二百二十五條 損害又ハ危險アル時之ヲ除却豫防スルヲ小林區署長及擔當員ノ責任トナス

第二百二十六條 官林地ノ境界ヲ監視スルハ擔當員ノ責任ニ屬シ官林ノ土地物件ヲ保存スルハ小林區署長ノ責任ト爲ス

第二百二十七條 官林内ニ於テ風火其他ノ災害及盜伐誤伐等アリタル時ハ小林區署長其大小緩急ニ應ジ

擔當員ヲ指揮シテ之ヲ處分スヘシ

小林區署長服務條規草案

農商務省達 林第十九年六月一日 林第二〇三號

小林區署長服務條規草案中取扱方左ノ通相心得ヘシ

第三十七條ノ特賣ハ當分ノ内大林區署長ノ認可ヲ受クヘシ  
第五十一條第二項ハ當分施行セス

林區會計事務條規

本條規ハ二十年度限り廢ス  
農商務省達 林第十九年六月一日 林第一七二號

林區會計事務條規

第一條 林區署ノ會計事務ハ山林局ヲシテ管理セシム

第二條 山林局ハ常ニ會計員ヲ大林區署ニ置キ其林區ニ係ル會計一切ノ事務ヲ取扱ハシムルモノトス

第三條 大林區署ニ在ル會計員ハ上席者支部長トナリテ其事務ヲ整理スルモノトス但支部長事故アルトキハ次席者ニ代理セシムルコトヲ得

トキハ次席者ニ代理セシムルコトヲ得

第四條 收支豫算案ハ大林區署長協議ノ上調製シ連署ヲ以テ本省へ進達スヘシ

第五條 支部長ハ左ノ區別ニ據リ其事務ヲ調理スルモノトス

收入

一 收入金ハ豫算ニ基キ實際處分ノ決定ニ隨ヒ之ヲ徵收スヘシ

二 豫算ノ科目外ニ起ル收入金ハ時々達ニ據リ之ヲ徵收スヘシ

支出

三 經費金ハ左ニ掲クルモノヲ除クノ外豫算ニ據リ之ヲ支出スヘシ

辦償金 外國品購買費 土地家屋購買費 土木起工費 家屋新築費 修繕費金二十圓以上 常用

品購買費一種金三十圓以上 特用品購買費一個金三圓以上 豫算科目外ノ費用

第六條 會計員出張巡回ヲ要スルコトアルトキハ大林區署長へ通知ノ上支部長事由ヲ具シテ山林局長

へ伺出ツヘシ但左ノ各項至急ヲ要シ經伺ノ違ナキ場合ニ於テハ其旨ヲ具申シ出張巡回スルヲ得ヘシ

一 公賣ノ立會 一 未納金督促(管内ニ限ル) 一家屋ノ新築

第七條 支部長ハ署内ノ取締ニ任スヘシ且給仕小使ノ進退ハ其權内ニ屬スルモノトス但署内取締方法



ハ大林區署長協議ノ上便宜之ヲ定ムルモノトス  
第八條 會計事務上ニ付各廳ニ對シ照會往復スルトキハ上席者ノ官氏名ヲ以テスヘシ

農商務省達 十九年八月口 閣  
林第二六七號

大林區署長處務規程  
二十一年三月二十七日第  
十五條(追加アリ)

大林區署長處務規程

- 第一條 大林區署長ハ所轄官林ニ關スル一切ノ事務ヲ處理ス
- 第二條 大林區署長ハ主管事務ノ整理及大小林區署職員勤惰ノ監視ニ就テハ都テ其責ニ任ス
- 第三條 大林區署長ハ大臣ノ命令又ハ其適宜處分ヲ許サレタル事件ヲ執行スル爲ニ必要ナリトスルトキハ其實施ノ順序ヲ設ケテ之ヲ公告シ又ハ府縣ノ令達告示ヲ要スル場合ニ於テハ其旨ヲ地方廳ニ照會スルコトヲ得
- 第四條 大林區署長ハ主管ノ事務ニツキ各廳ニ對シ照會往復スルコトヲ得
- 第五條 大林區署長ハ林務官補以下ノ職員ニ署中事務ノ分掌ヲ命シ及主管ノ事務ニツキ處務細則ヲ設ケルコトヲ得
- 第六條 大林區署長ハ大小林區署職員ノ身分ニ關スル事項ハ山林局長ヲ經由シテ具狀スルコトヲ得
- 第七條 大林區署長ハ日給金二十錢以下ノ傭員ヲ採用解免スルコトヲ得
- 第八條 大林區署長ハ小林區吏ノ在勤ヲ命免スルコトヲ得
- 第九條 大林區署長ハ官林巡邏ノ進退黜陟ハ之ヲ專行スルコトヲ得
- 第十條 大林區署長ハ所轄官林ヲ巡視シ及大小林區署職員ニ管内出張巡回ヲ命スルコトヲ得
- 第十一條 大林區署長ハ大小林區署職員ヲシテ訴訟事件又ハ官林ニ係ル犯罪若クハ官林流出ニ關シ管外ニ派出セシムルコトヲ得
- 第十二條 大林區署長ハ巡回出張等ノ場合ニ於テハ次席ノ官吏ニ署務ノ幾分ヲ任委シ自己ノ名義ヲ以テ之ヲ處理セシムルコトヲ得

- 第十三條 大林區署長ハ大小林區署職員ニ除服出仕ヲ命スルコトヲ得
- 第十四條 大林區署長ハ刑事附帶ニ係ル詞訟ヲ爲スコトヲ得
- 第十五條 大林區署長經伺ノ上處分スヘキ者ハ左ノ件ヤトス

- 第一 林地交換ノ事
- 第二 林地拂下ノ事
- 第三 林地無代下附ノ事
- 第四 林地變更ノ事
- 第五 官林貸渡ノ事
- 第六 民地侵墾處分ノ事
- 第七 民有地及民家買上又ハ借入ノ事
- 第八 官林民有ニ引直ノ事
- 第九 社寺上地官林委託ノ事
- 第十 官林内部分木仕付ノ事
- 第十一 官林内樹木人民自費栽植ノ事
- 第十二 小林區ノ廢置變更ノ事
- 第十三 官林ノ境界調査又ハ分合ノ事
- 第十四 國土保安ニ關スル林木處分ノ事
- 第十五 林值調査ノ事
- 第十六 長期施業案確定ノ事
- 第十七 生材豫算案及金員豫算案確定ノ事
- 第十八 施業案ノ伐採定額十分一以上増減變更ノ事
- 第十九 生材豫算表金員豫算表又ハ造林計畫案十分一以上増減變更ノ事



- 第二十 金員五十圓以上ノ主副産物ヲ特賣スル事
- 第二十一 主産物特賣ノ爲メ條約ヲ結フ事
- 第二十二 主副産物拂下代金年度外ニ係ル延期若クハ棄捐ノ事
- 第二十三 大小林区署及官舎建築又ハ附屬地撰定及變更ノ事
- 第二十四 林地埋藏物發顯處分ノ事
- 第二十五 官林制札新設ノ事
- 第二十六 管外出張及上京ノ事
- 第二十七 主管ノ件ニツキ詞訟ニ關スル事
- 第二十八 大小林区職員歸郷願又ハ轉地療養ノ事
- 第二十九 官金辨償ノ義務アル契約ヲ爲シ又ハ既成ノ契約變更ノ事
- 第十六條 大林區署長ハ第十五條ノ各項ヲ除クノ外主管ノ事務ニ限り便宜處分スルコトヲ得  
但事重大ニ涉ル者ハ經伺スヘシ
- 第十七條 大林區署ニ於テ處分セシ一切ノ事務ハ之ヲ報告スヘシ
- 大林區署長處務規程修正増補十九年九月二十日  
林部第三〇二號
- 第十五條中
- 第五項 (官林)ヲ(林地)ト改メ左ノ但書ヲ増補ス  
但林業附帶ノ爲又ハ季節ヲ限リタルモノ及繼年季ハ此限ニアラス
- 第十四項 左ノ但書ヲ増補ス  
但燒枯損木障礙木ハ此限ニアラス
- 第十五項 (林値調査)ノ下ニ(確定)ノ二字ヲ増補ス  
山林局長ヨリ各大林區署へ通達十九年九月二十二日  
第一〇九八號
- 大林區署長處務規程第十五條中第五項但書林業附帶ノ爲メトハ伐木製炭製糖及土石掘採等ヲ許可セシモノハ其林業ニ附帶シテ小屋掛竈床製造場等ノ如キ必要ノ敷地ヲ貸渡ス場合ヲ指稱スル儀ト御承知アルヘシ

農商務省達 十九年九月廿四日 林部第二七二號

大林區署長服務概則草案

- 第一條 大林區署長ハ所轄大小林区署職員ノ勤惰ヲ監督シ品行ヲ視察シ各自ヲシテ其條規ヲ遵守セシムヘシ
- 第二條 大林區署長ハ所轄林区ノ事務及事業其他森林ニ關スル法律規則ノ施行如何ヲ督察スヘシ
- 第三條 大林區署長ハ所轄区内官林ノ境界氣候地味及盛衰等ヲ詳知シ且林産物需用供給ノ度其價値輸出入ノ數量森林犯罪ノ多寡狀情其他地方ノ風土民情ニ通曉スヘシ
- 第四條 大林區署長ハ監督員ノ假定シタル斫伐案ヲ審查シテ之ヲ認可若クハ修正シ其案中鉛筆ノ記數(伐本  
豫算)ハ更ニ墨書確定シテ一月三十一日マテニ之ヲ小林區署長ニ下付スヘシ  
該案ノ伐木豫算ヲ確定スルニ當テハ施業案ノ伐採定額ニ基キ之ヲ増減スヘシ  
但其増減十分一以上ナル時ハ大臣ノ許可ヲ受クヘシ
- 第五條 大林區署長ハ小林區署長ニ於テ受負條約ヲ結フヘキ時ハ其條約ノ要領ヲ指定シ尙ホ書式ノ用紙ヲ下付スヘシ
- 第六條 大林區署長ハ小林區署長ニ於テ調製シタル收材費精算及附屬書類ハ監督員審查證認ノ後之ヲ點檢シテ署名捺印シ其證據書類ト共ニ大林區署會計支部長ニ交付スヘシ
- 第七條 大林區署長ハ既定ノ豫算ニ據リ林産物ノ特賣ヲ許可シ若クハ委員ヲ命ジテ其特賣ヲ執行スヘシ生材豫算及金員豫算ニ變更ヲ要スル時ハ大臣ノ許可ヲ受クヘシ
- 第八條 大林區署長ハ數小林區聯合作業ノ木材若クハ一小林区巨額ノ木材ヲ公賣セントスル時ハ林務官補ヲ派出シ之ヲ執行セシムヘシ但林務官補ニ支障アル場合ニ於テハ他ノ小林區署長ヲ公賣委員ト爲スヘシ
- 其公賣ハ派出官若クハ公賣委員ヲシテ公賣ノ種類ヲ定メ公賣地ヲ撰定セシムヘシ其公賣始末書賣材



表生材簿及木材交付票ハ小林區署長ヲシテ之ヲ調製セシメ其保證ニ就テハ派出官若クハ公賣委員ヲシテ署名捺印セシムヘシ

第九條 大林區署長ハ小林區署長ヨリ進達スル公賣始末書及其廣告文ノ當否ヲ審査シ其數量金員ハ會計支部長ノ檢算ヲ待テ之ヲ證認スヘシ

第十條 大林區署長ハ監督員ノ假定シタル副産案ヲ審査確定シ之ヲ小林區署長ニ下付シテ施行セシムヘシ

第十一條 大林區署長ハ造林及林地改良ノ長期豫算ハ大臣ノ許可ヲ受ケテ之ヲ小林區署長ニ達スヘシ  
小林區署長ニ於テ調製シタル短期ノ造林案及其經費豫算ハ監督員假定ノ後之ヲ審査確定スヘシ  
但其經費豫算ハ豫メ會計支部長ノ檢算ヲ經可シ

第十二條 大林區署長確定ノ造林案ハ二月二十八日マテニ之ヲ小林區署長ニ下付スヘシ

第十三條 大林區署長ハ小林區署長ニ於テ調製シタル生材豫算案金員豫算案ハ監督員及會計支部長審査證認ノ後之ヲ點檢シテ署名捺印シ本省ニ進達スヘシ  
大臣ノ裁定セラレタル該豫算表ハ大林區署ニ於テ之ヲ謄寫シ小林區署長ニ下付シテ施行セシムヘシ

第十四條 大林區署長ハ生材豫算表及金員豫算表ニ差違ヲ生シタル時ハ其理由ヲ説明シ小林區署長ノ上申書ニ添ヘテ之ヲ本省ニ進達スヘシ

第十五條 大林區署長ハ小林區署ニ於テ年度末以前ニ材品ヲ皆出シタル時ハ生材精算表及證據書ノ進達期限ヲ指定スヘシ

第十六條 大林區署長ハ主副産物ノ記事ニ關シ小林區署長ニ於テ調製シタル統計一覽表ヲ蒐集總括シテ之ヲ本省ニ進達シ統計表ノ材料ニ供スヘシ

第十七條 大林區署長ハ林地調査條例ニ據リ長期施業案ヲ編成シテ本省ニ進達スヘシ  
其編成ニ供用セシ材料ノ面積樹積所得及數量等ニ係ルモノハ總テ之ヲ副進スヘシ  
大臣ノ裁定セラレタル該施業案ハ大林區署ニ於テ之ヲ謄寫シ小林區署長ニ下付スヘシ

第十八條 大林區署長ハ施業案其他營林ノ事業ニ於テ經驗上改良ノ考案アル時ハ其意見ヲ上申スヘシ

第十九條 大林區署長施業案ノ編成若クハ林地ノ復審ニ際シテハ小林區署長ヲ招集シ監督員ト共ニ調査委員ヲ編成シテ之ヲ調査セシムルコトヲ得ヘシ

第二十條 大林區署長ハ小林區署長ニ於テ調製シタル林地原測圖及測量簿表ハ之ヲ審査證認シ本省ニ進達スヘシ  
但簿表用紙ハ總テ大林區署ヨリ之ヲ下付スヘシ

第二十一條 大林區署長ハ大林區署ニ於テ計畫スル官林至要ノ道路橋渠ニ係ル特別ノ築道案ハ大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條 大林區署長ハ官林内ニ於テ火災アリタル時ハ其發火ノ原因及被害ノ狀況等ヲ審査シテ之ヲ本省ニ申報スヘシ

第二十三條 大林區署長ハ官林内ニ於テ蟲害其他ノ災害アリタル時ハ其被害ノ景況除害ノ成跡等ヲ詳細シテ之ヲ本省ニ申報スヘシ

農商務省達 十九年九月廿四日 農林部第二七二號ノ二  
林務官補服務規程  
林務官補服務規程草案  
第一章 處務  
第一條 林務官補ハ特ニ定メラレタル監督事務ヲ除クノ外總テ大林區署長ノ指揮ヲ承ケ林區管理一般ノ事務ヲ處理ス  
第二條 林務官補大林區署長ノ委任ヲ受ケタル時ハ其職務ヲ行フコトヲ得  
第三條 林務官補小林區署長ヨリ進達スル官林ノ地圖帳簿表票證據書類及民願等ノ書類ハ之ヲ審査點檢シテ其正否且數量ノ當否ヲ證認スヘシ  
第四條 林務官補小林區署長ヨリ進達スル書類ニ就キ意見アル時ハ其意見ヲ付シテ大林區署長ニ差出



スヘシ

第五條 林務官補林区巡回ノ際其職權内ニ係ルモノハ之ヲ專決シ大林區署長ノ委任ヲ受ケテ處分セシ

第六條 林務官補林区巡回ノ際公賣特賣若クハ一時ノ貸地ニシテ既定ノ豫算ヲ超過セス其官林ノ資質

第七條 林務官補林区巡回ノ際事故ニ依リ確定ノ斫伐案ニ實際變更ヲ要スルコトアル時其數量十分ノ

第八條 凡ソ林区一般ノ監督ニ關スル事項及普通ノ制規ニ係ル事件ハ甲乙兩部ノ林務官補互ニ合議若

第九條 林務官補林区巡回セントスル時ハ營林事業其地諸般ノ調査ヲ爲スニ便宜ナル時期ヲ計リ豫

第十條 林務官補ハ小林區吏服務條規第一條乃至第十七條ノ規則ヲ遵奉スヘシ

第二章 監督

第十一條 林務官補ハ監督員トナリ甲乙二部ヲ分擔シテ其所部ノ林区ヲ監督シ小林區署職員各自其條

第十二條 監督員所部監督ノ事項ニ就テハ其意見ヲ直チニ大臣ニ開陳シテ指揮ヲ承ルコトヲ得

第十三條 監督員林值復審施業規畫ノ事務又ハ諸林業豫算案ノ調査ニ就キ大林區署長ト意見ヲ異ニス

但時機切迫シテ其決裁ヲ仰クノ間中止シ難キ時ハ先ツ大林區署長ノ意見ニ從テ之ヲ處理シ置キ其

第十四條 監督員常ニ林区ヲ巡回シテ小林區署職員ノ勤惰品行ヲ視察シ斫伐造林土工建築ノ事業林地

第十五條 監督員所部ノ林区及其比隣ノ地勢情況官林ノ基地種類產物ノ多寡價值販路需用供給等ハ之

第十六條 監督員定期生材豫算案金員豫算案ハ施業案照查簿面積簿林值簿及前年度ノ豫算表ニ對照審

第十七條 監督員小林區豫算收入簿ノ紙數ヲ檢查シ定規ノ書式ニ準據シテ檢印ヲ捺スヘシ

第十八條 監督員斫伐案及其明細表ノ原稿ハ夏期巡回ノ際施業案照查簿面積簿林值簿生材金員豫算表

第十九條 監督員前條ノ審查了リタル時ハ小林區署長ト共ニ實地ニ臨ミ事業區林班小班及其面積樹齡

第二十條 監督員第七條確定斫伐案ノ變更ヲ要スル場合ニ於テ増減シタル尺ノ棚數ハ小林區署長ヲシ

第二十一條 監督員生材ノ收出ハ小林區署長ヨリ提出スル生材精算表其證據書收材費精算表ノ原稿生

第二十二條 監督員前條調査ノ時表欄ノ各項ニ就キ材類數量ヲ點檢シ且關係ノ帳簿表票及證據書ト對



照シテ收出ノ正否ヲ審査シ表中收材ノ部ニハ特ニ該收材ト其小林區署長ノ收材費簿賣材表及小林區署長ノ番號簿ト符合シタルコトヲ證明シ其下ニ年月日及地名ヲ記シ署名捺印スヘシ

生材精算表ニハ豫算收入ニ對スル増減ヲ記註シ其事由ヲ證明シテ年月日ヲ記シ署名捺印スヘシ

第二十三條 監督員竹材ノ收出ハ第二十一條及第二十二條ニ準據シテ之ヲ調査スヘシ

第二十四條 監督員收材ノ費用ハ小林區署長ヨリ提出スル收材費精算表併伐運材ノ證據書類ニ依リ且代跡檢査ノ成績ヲ對照シ收材費簿賣材表及木材番號簿ニ符合スルヤ否ヤヲ調査スヘシ

精算表ノ表面ニハ年月日及地名ヲ記シ署名捺印シテ之ヲ證明スヘシ

第二十五條 監督員定期ノ副産草案ハ林區巡回ノ際之ヲ假定シ金員豫算表ト共ニ大林區署長ニ差出スヘシ

第二十六條 監督員毎年ノ副産案ハ官業採收ト人民自採トヲ區分シ實地ニ臨ミ林班小班製作場産種面積期限價格及官業ニ係ルモノハ其經費收益等ヲ審査シテ豫算ノ適否如何ヲ檢スヘシ該案ノ淨書證明ノ手續ハ第十九條ノ例ニ依ルヘシ

第二十七條 監督員副産物ノ收出ハ副産精算表其證據書類及森林副産簿副産拂下表副産番號簿副産交付票等ニ依テ之ヲ調査スヘシ

其調査證明ノ手續ハ第二十二條ノ例ニ依ルヘシ

第二十八條 監督員副産精算表證據書類及副産物交付票ハ審査ノ後之ヲ大林區署長ニ産出シ其他ノ簿表ハ小林區署長ニ返付スヘシ

第二十九條 監督員造林案ノ原稿及造林經費豫算案ハ冬期巡回ノ際施業案面積簿林值簿金員豫算表及前期ノ造林精算表ニ對照シ實地ニ臨檢シテ其資本努力面積事業ノ緩急造林ノ區域施業ノ種類操作ノ方法費用ノ多寡地味ノ良否ニ依テ其適否ヲ考量查覈スヘシ

第三十條 監督員前條ノ調査ハ補缺造林ノ植繼時繼又ハ造林年季中ノ作業造林ノ新起業并更新ノ天然人造ノ別種苗反別費用入夫受負責及其契約書等ノ各項ニ就テ之ヲ施爲スヘシ

該案中林道溝渠堤防ノ新設修理等ノ豫算ハ其調書ト實地トヲ對照審査スヘシ

第三十一條 監督員造林精算表ハ造林作業始末書受負責廣告書造林賃金票樹苗種子購買ノ領收書ト造林實地ノ成績トヲ對照查覈シ且年月日及地名ヲ記シ署名捺印シテ之ヲ證明スヘシ

第三十二條 監督員官林ニ要スル道路橋樑官舎ノ新築又ハ修理ニ係ル築道官舎建築案其明細表及經始圖ハ測量簿表森林地圖面積簿及林值簿等ニ對照シ實地ニ臨ミ其必要ノ緩急位置廣狹長短費額耐久如何ヲ審査スヘシ

該案ノ淨書證明等ノ手續ハ第十九條ノ例ニ依ルヘシ

第三十三條 監督員築道及官舎建築ノ精算表ハ造林案精算表ノ例ニ依テ之ヲ證明スヘシ

第三十四條 監督員林地境界ノ侵蝕界標ノ異動火災蟲害盜伐濫伐檀伐及誤伐等傷害ノ實況且其成績ヲ視察シ其處置方法ヲ指揮スヘシ

第三十五條 監督員小林區署職員ノ給與薪材ヲ伐採スヘキ林班又ハ其樹木ヲ指定スヘシ

小林區署長ノ給與薪材ハ伐採ノ後之ヲ點檢證認シ木材交付票ヲ下付スヘシ

(參考)

山林局調査書

官林監督ノ制ハ明治十九年三月勅令ヲ以テ布カレタル本省官制中山林局事務分掌ノ項ニ其明文無シト雖モ蓋シ該監督ノ事タル山林局第一課分掌森林經濟ニ關スル事項ノ範圍内ニ含有セルモノナラン是ヲ以テ同年九月本省達ヲ以テ林務官補服務條規草案ヲ達セラルル第二章ニ於テ官林監督ノ順序ヲ示サレタリ是レ則チ始メテ官林監督法ノ起ル所ナリ茲ニ其ノ奉務ノ梗概ヲ述フレハ監督員ノ職タル一ハ所部ノ小林區署ヲ監督シテ小林區員ノ各自其ノ條規ヲ遵奉スルヤ否ヲ監督シ一ハ小林區署員ノ勤務品行又ハ新伐造林土工建築測量林産製造等ヲ指揮監督スルニ在リ之ヲ要スルニ林區監督員カ其ノ職務ヲ履行スルノ主眼ハ小林區署員カ遵奉スヘキ法律訓令上ノ事項小林區署員ノ執行スヘキ奉務ノ勸懲品行上ノ事項新伐造林其他諸調査等技術上ノ事項ニ存スルモノニシテ是等監督上ノ利害ニ對シテ意見アレハ直ニ大臣ニ開陳シテ指揮ヲ承ルコトヲ得又施業設計ノ業務林業上諸豫算ノ調査ニ就テ大林區署長ト意見ヲ異ニスル時モ又之ヲ大臣ニ上申スルヲ得ルノ職權アリ而シテ大小林區一般ノ奉務大林區署長以下ニ係ル監督并林政上監督ヲ要スルコトハ臨時山林局ヨリ吏員派出シテ處置スルモノトス但シ林區監督員ノ監督ヲ執行スヘキ手續ハ明治十九年本省林務官補服務條規第二章ニ詳ナリ



農商務省達 林第十九号九月廿四日 農  
小林區吏服務規草案

第一章 服務

第一條 凡小林區吏(營林主事補森林監守)ハ各自ノ從事スヘキ職務ヲ詳ニシ法律規則ヲ遵奉シテ萬般ノ事務ヲ審實ニ取扱フヘシ若シ職務ノ懈怠又ハ其懈怠ニヨリ損害ノ事アル時ハ不知案内ヲ口實トシテ其責ヲ遁ルコトヲ得

第二條 小林區吏ハ各自其職分ヲ守リ林政上ノ利益ハ必ス之ヲ進取シ其損失及不利ハ勉メテ之ヲ排除スルコトニ注意スヘシ

第三條 小林區吏ハ上官ニ對シ常ニ敬禮ヲ失ハス順正ニシテ其指揮命令ニ服従スヘシ  
小林區吏ノ上官ハ小林區署長監督員及大林區署長トス

第四條 小林區吏其勤務上ニ於テハ都テ上官ノ指揮訓令ヲ承ケ身上ニ關スル願屆等ハ小林區署長ヲ經由シテ大臣ニ差出スヘシ

(參照)十九年十月林第三三六號本省書記官通達

小林區吏服務規草案第四條中小林區吏其身上ニ關スル願屆等ハ小林區署長ヲ經由シテ大臣ニ差出スヘキ明文有之候處右願屆等ハ小林區署長ヨリハ大林區署長ヲ大林區署長ヨリハ山林局長ヲ經由スヘキ義ト心得ラルヘキ旨

第五條 小林區吏ハ常ニ品行ヲ方正ニシテ平時舉動ヲ慎ミ其職務上ノ威望信用ヲ失フ可ラス若シ醜惡ノ行為ヲ現ハシタル者ハ退職ノ處分ヲ免ルヘカラサルモノトス

第六條 小林區吏勤務上公眾ニ對スルニハ威儀ヲ嚴正ニシテ常ニ從容温和ヲ以テ慇懃ニ之ヲ接遇スヘシ  
其事務ヲ履行スルニハ公平無私ヲ以テ要ト爲シ愛憎畏懼怨恨ノ意ヲ挾ミ其他私情ニ流レ情實ニ泥ムヘカラス

第七條 小林區吏職務ヲ執行シ又ハ勤務ニ因テ官廳ニ出頭スル時ハ其制服ヲ着用スヘシ

第八條 小林區吏疾病若クハ其他ノ事故ニ因リ勤務ニ從事スル能ハサル時ハ其旨小林區署長ニ届出ヘシ

第九條 小林區吏其職務上ニ關シテ贈遺報酬其他ノ利得ヲ受ク可カラサルハ勿論其家族ト雖モ又之ヲ收受スルコトヲ許サス

第十條 小林區吏賄賂ノ目的ヲ以テ林區職員ニ贈遺ヲ爲サントスル者アルコトヲ知りタル時ハ其危險ヲ被ラントスル人ニ之ヲ告知スヘシ

第十一條 小林區吏ハ大林區署長ノ命ヲ受ルノ外他ノ官廳學校會社若クハ人民ヨリ相對ノ依頼ヲ受ケ森林事物ノ鑑定効用ノ説明等ヲナスコトヲ得ス

第十二條 小林區吏ハ官務ノ機密ヲ漏洩シ又ハ公文書類ヲ當該職員ノ外閱讀セシムルコトヲ得ス

第十三條 小林區吏ハ大小林區署職員會計員官林巡邏其他材商林業受負人林業夫及其區内人民ニ對シ金穀貸借ヲ爲シ其他金券義務ニ聯帶スルコトヲ得ス

第十四條 小林區吏當該ノ大小林區署職員會計員及官林巡邏其他材商林業受負人及林業夫ニ親屬アル時ハ其旨大林區署長ニ届出ヘシ

第十五條 小林區吏職務ヲ除クノ外木材其他ノ林產物ヲ賣却スルコトヲ許サス

第十六條 小林區吏ハ森林ノ主副產物公賣ノ時他人ノ委託若シクハ自家需用ノ爲メ本人ハ勿論家族傭人ト雖モ其公賣ニ加入スルコトヲ得ス

第十七條 小林區吏ハ大林區署長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ官林内ニ於テ自家ノ需用ニ充ツヘキ用林及土砂石塊ノ類ヲ拂受ルコトヲ得ス

第十八條 小林區吏ハ當該ノ林區内ニ於テ森林ヲ所有スルコトヲ許サス  
但其拂受タルモノハ之ヲ他ニ轉賣讓與スルコトヲ許サス



- 小林區吏主管ノ官林接界ノ地ニ於テ森林外ノ地所ヲ所有セントスル時ハ大林區署長ノ許可ヲ受クヘシ
- 第十九條 小林區吏自家需用ノ薪材ハ無代價ヲ以テ之ヲ給與ス其薪材ハ一箇年六尺立方三棚ヲ以テ定量ト爲ス
- 第二十條 小林區吏給與薪材用ノ樹木ハ監督員豫メ林班若クハ樹木ヲ指定シ受給者ノ自費ヲ以テ之ヲ伐採スヘキモノトス
- 第二十一條 小林區吏其給與ノ薪材ハ豫メ番號ヲ記附シテ番號簿ニ登錄シ小林區署長ノ監收ヲ得交付票ノ下付ヲ受クヘキモノトス
- 第二十二條 小林區吏前條ノ交付票ヲ受ケタル時ハ小林區署長ヨリ其薪材ノ引渡ヲ受クヘシ其交付票ハ小林區署長ノ檢印ヲ受ケ他ノ交付票ト共ニ監督員ニ差出スヘシ
- 第二十三條 小林區吏其給與ヲ受ケタル薪材ハ其目的外ニ使用シ又ハ轉賣讓與シ若クハ他物ト交換スルコトヲ許サス
- 第二十四條 小林區吏轉免死亡ノ時其給與ヲ受ケタル薪材ノ剩餘アレハ前任者又ハ其遺族ヨリ之ヲ新任者ニ交付スヘシ
- 其交付ヲ受ケタル新任者ハ相當ノ收材費ヲ支辨スヘシ
- 第二十五條 小林區吏ハ官舎定則ニ依テ官舎及附屬地ノ貸給ヲ受ルモノトス
- 第二十六條 小林區吏ハ常ニ其官舎保存ニ注意シ上官ノ許可ヲ受ルニアラサレハ増減改築ヲ爲スコトヲ得ス但破損其他災害ヲ被リタル時ハ速ニ小林區署長ニ届出ヘシ
- 第二十七條 小林區吏其貸給ヲ受ケタル官舎附屬地ハ自カラ之ヲ使用スルノ外他ニ轉貸スルコトヲ許サス
- 第二十八條 小林區吏轉免死亡等ニ依リ新任者赴任ノ時ハ前任者或ハ其遺族ヨリ直ニ官舎及附屬地ヲ引渡スヘシ

附屬地ノ作附植樹及廠舎建設等前任者ノ自費ヲ以テ施爲セシモノハ授受ノ際互ニ熟議ヲ遂ケ他日故障ヲ生セサル爲メ證書ヲ交換スヘシ

第二章 處務

- 第二十九條 小林區吏ハ小林區署長ノ指揮ヲ承ケ伐木造林其他森林ノ業務ニ従事スヘシ
- 第三十條 小林區吏小林區署長ヨリ豫メ其木材賣却ノ通知ヲ受ケタル時ハ該期日ニ參會シ小林區署長ノ指揮ヲ承ケ公賣ニ従事スヘシ
- 第三十一條 小林區吏官林ノ事務ニ就キ不良ノ措置若クハ損害ヲ生スヘキ危險アリト思料シタル時ハ其旨ヲ監督員若クハ大林區署長ニ申告スルコトヲ得
- 第三十二條 小林區吏ハ分擔區内官林ノ反別名稱位置境界ヲ譜記シ盜伐其他森林犯罪等ノ情況ヲ詳細スヘシ
- 第三十三條 小林區吏ハ官林ヲ保護スルヲ以テ要務ト爲ス故ニ毎日林地ヲ巡視シテ專ラ官林ヲ養護シ且其害ヲ防遏スヘシ
- 第三十四條 小林區吏ハ常ニ境界標ノ保存ニ注目シ若シ界標ヲ毀壞シ又ハ移轉セシ者アル時ハ速ニ告發ヲ爲シ且小林區署長ニ申告スヘシ
- 第三十五條 小林區吏其職務ヲ行フニ因リ森林現行犯罪アルコトヲ認知シ又ハ森林犯罪ト思料シタル時ハ其分擔區ニ屬スルト否トヲ問ハス速ニ檢事ニ告發シ且之ヲ小林區署長ニ申告スヘシ
- 第三十六條 小林區吏森林現行犯逮捕ノ場合ニ於テ差押ヘニ係ル物件ハ被告人ト共ニ司法警察官ニ送致スヘシ
- 第三十七條 小林區吏違犯ニ係ル獸類又ハ器具其他ノ物件ヲ差押ヘタル時ハ告發ト共ニ司法警察官ニ送致スヘシ
- 其物件ノ巨大又ハ其他ノ事由アリテ運搬不便ナル者ハ被告人ノ親屬若クハ隣佑又ハ戸長ニ預ケ置其預リ證ヲ添ヘテ告發スヘシ



第三十八條 小林區吏官林内ニ於テ盜伐木ヲ發見シタル時ハ其被害ノ物件ハ被告人ノ親屬若クハ隣佑又ハ戸長ニ預ケ置其預リ證ヲ添ヘテ告發スヘシ

第三十九條 小林區吏盜伐ヲ發見シタル時ハ其斷株ニ證犯ノ印鍵ヲ打印シテ犯跡ノ記號ト爲シ且之ヲ監守簿ニ手記シ小林區署長ニ申告スヘシ

其監守簿ハ大林區署長之ヲ調製シ官印ヲ捺シ紙數ヲ定メテ下付スルモノトス

第四十條 小林區吏森林犯罪アルコトヲ認知シ又森林犯罪アリト思料シタル時ハ直ニ其事件ヲ監守簿ニ手記スヘシ

犯罪人逃亡シタル時ハ速ニ之ヲ蹤跡シテ精密ニ搜索ヲ爲スヘシ

但其犯跡及搜索ノ事實ハ之ヲ監守簿ニ詳録スヘシ

第四十一條 小林區吏ハ被告人ノ氏名年齢職業住所及犯罪ノ日時場所物件ノ數量品質價格證人證據物件其他告發ノ爲メ必要ト認メタル事件ハ都テ監守簿ニ詳録スヘシ

第四十二條 小林區吏森林現行犯ヲ逮捕シ又ハ物件ヲ差押ヘタル場合ニ於テハ速ニ其旨ヲ監守簿ニ手記スヘシ

第四十三條 小林區吏左項ノ場合ニ於テハ書面若クハ口述ヲ以テ直ニ小林區署長ニ申告スヘシ

一 林產物ノ盜取ニ係リタル時

二 物件ヲ差押ヘ及差押ヘニ係ル物件ヲ保管ニ付シタル時

三 盜伐材ヲ臨時ニ賣却スル時

第四十四條 小林區吏森林犯罪ニ關シ裁判所ヨリ召喚ヲ受ケタル時ハ小林區署長ニ届置キ監守簿ヲ携帶シテ出庭スヘシ

第四十五條 小林區吏ハ官林ニ於テ有用ノ鳥獸類ヲ勉メテ愛護養存シ又有害ノ鳥獸特ニ害蟲ヲ豫防驅除シ且隣接ノ森林地ハ之ニ注意スヘシ

第四十六條 小林區吏ハ官林ニ於テ害蟲發生シタル時ハ之ヲ小林區署長ニ申告シ其驅除撲滅ノ爲メ費用ヲ要スル時ハ其指揮ヲ受クヘシ

用ヲ要スル時ハ其指揮ヲ受クヘシ

害蟲驅除ノ爲メニ使役スル人夫ハ小林區吏其勤惰ヲ監視シ著實ニ撲滅法ヲ施行スヘシ

第四十七條 小林區吏害蟲驅除ニ係ル人夫ノ賃金ハ附録ノ書式ニ依テ記帳シ賃金票ヲ調製スヘシ

第四十八條 小林區吏數量ヲ以テ害蟲採集ノ約束ヲ爲セシ時ハ其個數若クハ度量ヲ點檢シ之ヲ人夫使

用帳ニ記入シタル後其賃金票ヲ手授スヘシ

第四十九條 小林區吏害蟲採集ノ數量及撲殺ノ景況ハ之ヲ賃金票ニ詳録スヘシ

第五十條 小林區吏ハ官林ノ火災ヲ豫防スル爲メ防火線ノ柴草ヲ芟リ落葉ヲ掃キ又ハ林道林班線及境界線等ヲ開通シテ常ニ防火ノ準備ヲ爲スコトニ注意スヘシ

第五十一條 小林區吏ハ柚夫其他林業役夫等官林内ニ於テ火ヲ使用スル時ハ其場所ヲ指定スヘシ官林内ニ於テ炭燒場又ハ汽車道アルトキハ火氣ヲ媒介スルカ如キ燃質物ヲ其近傍ニ存在セシメサルコトニ注意スヘシ

第五十二條 小林區吏官林若クハ其近傍ニ火災アル時ハ即刻現場ニ出張シ消防ニ從事スヘシ火災蔓延ノ恐レアルトキハ直ニ之ヲ小林區署長ニ報告シ其出張ヲ求ムヘシ

小林區吏ハ火災既ニ消止シ火氣ノ鎮滅ヲ確認シタル後ニアラサレハ其地ヲ去ルコトヲ得ス

第五十三條 小林區吏官林ニ火災アリタル時ハ其被害ノ情況木數反別及發火ノ原因等詳細ニ之ヲ調査スヘシ

第五十四條 小林區吏ハ官林ニ於テ風雪水災ニ依リ樹木倒折土石崩壞等ノ損害アリタル時ハ速ニ之ヲ小林區署長ニ申告スヘシ

第五十五條 小林區吏ハ斫伐ノ後ニ於テ木林ノ長徑ヲ測算シ之ヲ該材ニ記付スヘシ其長徑ヲ測算スル方法及尺度ノ定位ハ木材測算表ニ於テ之ヲ定ム

立木ノ長目通ヲ測算スル方法モ又該測算表ニ依ルヘシ

第五十六條 小林區吏ハ斫伐作業ニ就テハ小林區署長ヨリ下付ノ斫伐案拔萃ニ據リ指定ノ斫伐法ヲ遵



守シテ之ヲ執行スヘシ斫伐木及存置木ハ現場ニ於テ上官ノ標示ヲ受クヘキモノトス

第五十七條 小林區吏伐木作業ノ時ニ於テハ常ニ現場ニ臨シ袖夫其他ノ人夫ヲ指揮監視スヘシ

第五十八條 小林區吏袖夫人夫等ニ係ル賃金票ハ小林區署長ヨリ下付ノ用紙ニ之ヲ記載シ該署長ニ差出スヘシ

第五十九條 小林區吏ハ一伐木區域内ニ於テ斫伐中ニ運材ヲ爲スコトヲ得スト雖モ一伐木地ノ面積濶大ニシテ甲ノ一隅ニ於テ造林ヲ爲シ乙ノ一隅ニ於テ其載裝ヲ爲スコトヲ得ル時又ハ小林區署長ヨリ特別ニ許可書ヲ授付セシ時ハ之ヲ爲スコトヲ得

第六十條 小林區吏ハ伐木作業完ク終リタル時又ハ小林區署長ノ指示セル一部ノ伐木終リタル時ハ該木材ヘ品位伐年及官材ノ記號ヲ切判シ及番號ヲ記付スヘシ

建築材其他用材ノ番號ハ該材ノ斷口ニ記付シ薪炭材根材及蘆朶ノ番號ハ之ヲ棚ニ堆積スル時ハ其支柱之ヲ把ニ束括スル時ハ便宜ノ處ニ記付スヘシ

第六十一條 小林區吏前條番號ヲ記付シタル時ハ之ヲ木材番號簿ニ登錄スヘシ

該材ハ小林區署長ノ検査ヲ得監收ノ記號トシテ番號ノ側ニ極印ヲ受クヘキモノトス

建築材其他ノ用材薪炭材及蘆朶ハ各其記付シタル番號ノ順序ニ從ヒ木材番號簿ノ各欄内ニ記入スヘシ

第六十二條 小林區吏小林區署長ニ於テ木材番號簿ノ記事ヲ證認若クハ修正シ各材ノ種類ニ從テ總計ノ決算ヲ確定シタル時ハ該署長ト共ニ署名捺印スヘシ

小林區署長若シ其決算ノ記號ヲ修正シタル時ハ備考欄内ニ其理由ノ記註ヲ受クヘシ

第六十三條 小林區吏ハ小林區署長ノ確定シタル番號簿ニ依テ賣材表ヲ調製シ小林區署長ト共ニ署名捺印スヘシ

第六十四條 小林區吏主副產物ノ交付ハ其賣却ト下付トヲ問ハス總テ之ヲ執行スヘキモノトス

第六十五條 小林區吏主副產物ヲ交付スルニハ成規ノ順序ヲ踏ミ產物受領人ヨリ其交付票ヲ接受シテ

之ヲ引渡スヘシ

第六十六條 小林區吏立木ヲ賣却シ又ハ之ヲ下付スル時ハ小林區署長ト共ニ豫メ其尺メ又ハ材積ヲ算定シテ概算簿ヘ記入シ署名捺印スヘシ

第六十七條 小林區吏木材交付ノ時其交付票ノ番號票記ノ事業年度分擔區林班木材受領人ノ宿所氏名交付スヘキ木材ノ番號品位數量代金ノ納否會計員若クハ金員取扱人ノ裏書及小林區署長ノ署名等ヲ検査シ且公賣ノ時ニ於テ自記セシ手簿ニ對照スヘシ若シ製票上ニ誤謬アル時ハ直ニ小林區署長ニ報道シテ其改正ヲ受クヘシ

其數量ヲ塗抹シ又ハ改竄シタル交付票ハ無効ノモノト爲シテ之ヲ拒絕スヘシ

第六十八條 小林區吏ハ木材受領人其交付票ヲ紛失シタル時ハ其代金受收者若クハ會計員ヨリ交付票ニ換ルヘキ收金證ヲ得テ之ヲ差出シタル後ニアラサレハ其木材ヲ引渡スコトヲ得ス

其收金證ニ交付票紛失ノ事由及該票ノ無効ナルコトヲ判然明記シタルモノニアラサレハ其効ナキモノトス

第六十九條 小林區吏木材ノ引渡ヲ了リタル時ハ直ニ木材番號簿中ノ該番號ヲ勾消シ更ニ交付票ノ番號受領人ノ宿所氏名及引渡ノ月日ヲ記入スヘシ

第七十條 小林區吏ハ引渡以前ニ係ル木材ハ之ヲ保護シテ盜難等ヲ防クヘシ

小林區吏林地ニ存置セル官林ハ時々番號簿ニ照ラシテ之ヲ點檢スヘシ

其木材ニ缺減アルコトヲ認知シタル時ハ直ニ之ヲ小林區署長ニ申告シ其木材ノ所在ヲ搜索スヘシ

第七十一條 小林區吏木材交付票及交付ニ關スル書類ハ大切ニ貯藏シ伐跡検査ノ證憑ニ供スヘシ

第七十二條 小林區吏ハ毎年度末諸番號簿及交付票ヲ一括封緘シ小林區署長ヲ經由シテ監督員ニ差出スヘシ

第七十三條 小林區吏柴草落葉樹實菌草粘土年度砂石泥炭及其他副產物交付ノ時ハ副產番號簿若クハ副產引渡帳ニ登記スヘシ



第七十四條 副産物交付ノ際及交付了リタル時ノ取扱手續ハ第六十六條第六十七條第六十八條第六十九條第七十條第七十一條及第七十二條ニ準據スヘキモノトス

第七十五條 小林區吏ハ造林面積ヲ測量シ補缺造林ノ段別ヲ調査シ或ハ新設スヘキ道路及渠溝等ヲ測定且標示スルカ如キ造林案築道案ノ調査ハ小林區署長ヲ補助シテ之ニ從事スヘシ

第七十六條 小林區吏其分擔區ニ係ル造林作業ハ各部施行ノ區域種類方法及賃金額等實地ニツキ詳細ニ小林區署長ノ指示ヲ受ケテ之ヲ執行スヘシ

第七十七條 小林區吏造林作業ノ施行ニ於テ日備作業ニハ日々臨場シテ之ヲ督察スヘシ

第七十八條 小林區吏ハ造林及築道其他林地改良ノ作業ハ總テ人夫使用帳ニ詳記シ且之ニ依テ賃金票ヲ調製スヘシ但其用紙ハ小林區署長ヨリ之ヲ受取ルヘシ

造林案中ノ科目許多ナルモノハ總括シテ一賃金票ニ合載スルコトヲ得ヘシ

第七十九條 小林區吏前條ノ作業受負ニ係ルモノハ受負人其契約ニ違背セス善ク之ヲ履行シタルコトヲ確認シタル後其賃金票ヲ製シ小林區署長ニ差出スヘシ

第八十條 小林區吏日備作業ノ賃金票ハ人夫總員ノ記數ノ下ニ日備總代若クハ人夫頭ノ氏名ヲ記入スヘシ

賃金票ノ裏面ニ日備總代若クハ人夫頭ノ氏名且使用シタル賃金高ヲ記註シ其末ニ官氏名ヲ自署シテ表記賃金ノ正確ナルコトヲ證明スヘシ

第八十一條 小林區吏ハ造林ノ稚樹ヲ成育セシメ其成長ヲ妨害スル枝條蔓草ヲ芟除シ勉メテ良木ノ發育ヲ保スヘシ

第八十二條 小林區吏ハ法令規則訓令番號簿其他公用書類ハ大切ニ貯藏シ置クヘシ造林其他ノ用ニ供スル器械什具ハ都テ之ヲ保管スヘシ

農商務省達 林第十九号九月四日  
小林區吏服務條規草案中第七條ノ規則ハ追テ制服相定メラレ候迄施行セス

大林區署長處務規程第十五條各項ニ相當スル民願書ハ署限リ處分セシム

各大林區署ヨリ本省へ稟仰上申ノ事務易ニ屬スルモノハ山林局へ照會セシム

農商務省通知 二十年三月二十三日 石川縣ヲ除ク

大林區署長處務規程第十五條中各項ニシテ到底採用スヘカラスト視認ノ民願署限リ處分ノ義ニ付別紙ノ通石川大林區署ヨリ伺出朱書ノ通指令相成候間自今右ニ準據御取扱相成可然候間爲御心得別紙寫相添へ此段及御通知候也

石川大林區署ヨリ農商務省へ伺 十九年十月二十六日

大林區署長處務規程第十五條ノ各項中ニ相當セル民願書ニシテ到底許可不相成見込之分ハ當署限リ難開屆旨指令シ其旨可及御届儀ト心得可然候此段相伺候條至急何分ノ御指揮相仰候也

農商務省指令 十九年十一月十五日

伺之通

山林局通牒 二十年五月十六日

營林事業追々擴張相成候ニ付テハ諸般ノ事務益繁劇多端ノ折柄隨テ本省へ御稟仰上申等ノ文書類頻繁ニ相成候處條規等ノ疑義處務上之取扱向等ニ關シ事輕易ニ屬シ御指令ヲ要スル迄モ無之ト視認候件ハ右御稟議ニ對シ當局ヨリ其事理及取扱方等ヲ辨明シ及御通牒別段御指令不相成義モ可有之就テハ前陳ノ如ク貴署ト當局トノ間照會應答候テ相辨候様之瑣事ハ向後必ス下官迄御申越相成候ハ、相當之手續ヲ經テ夫々御回答可致左スレハ大ニ繁文ヲ省略シ事務敏活ニモ相成候儀ニ付右様御承知置相成度依命此段及御通牒候也

山林局ヨリ農商務省へ伺 二十年五月九日

大林區署長ヨリ其權限外ノ事項及規則上ノ疑義其他處務上ニ關スル稟仰上申ニ對シテハ一々御指令相成而シテ其御指令文簡單ニシテ意味充分貫徹致シ兼候ト視認ムルモノハ更ニ局長ノ通牒文ヲ附シ來候得共方今營林事業擴張隨テ事務多端ノ時ニ際シ稟仰上申等ノ文書益繁劇ヲ來シ候ニ就テハ從來ノ如ク些細ノ件々迄一々御指令相成候時ハ聊カ繁文ヲ省キ事務ヲシテ簡捷敏活ナラシムルノ精神ニモ背戻可致且大林區署ト本局ト照會應答ニ依リ相辨候瑣末ノ事件モ許多可有之哉ニ被存候間向後右等ノ類ハ可成本局へ照會候條致シ度將又稟仰上申ト雖トモ前陳同様ノ事件ニシテ御指令ヲ要スルマテモ無之ト視認候モノハ稟仰上申ト雖トモ御裁決ヲ經テ局長ヨリ委細共取扱方等通知セハ大ニ手數ヲ省キ便宜ト存候間御通牒案相添へ此段御裁決ヲ仰ク



大林區署ニ於テ會計事務ニ使用スル職員及區署給仕小使進退取扱方

山林局達 二十五年五月十八日  
大林區署ニ於テ特ニ會計事務ニ使用スル臨時備員又ハ大林區署ノ給仕小使ヲ進退黜陟セントスルトキハ豫メ大林區署長ヘ協議ス可シ

追テ該辭令書ニ某大林區署會計ト記載セル向モ有之候處自今渾テ大林區署名ヲ用フ可シ

山林局通知 二十五年五月十八日  
別紙寫之通相達候御心得迄及御通知候也

山林局ヨリ農商務省ヘ伺 二十五年五月六日  
右會計支部長限取扱候會計事務ニ使用スル備員又ハ大林區署之給仕小使等ノ進退ハ渾テ大林區署長ヘ協議スヘキ旨山林局長ヨリ達セラレ可然哉案ヲ具シテ御決裁ヲ仰ク

山林局各所ノ貯木所ヲ農商務省某貯木所ト改稱ス

農商務省達 二十五年十月三日  
其縣下當省山林局(地名)貯木所之儀今般農商務省(地名)貯木所ト改稱候條此旨相達候事

山林會計兩局達 二十五年十月三日  
○東京府ハ深川貯木所愛知縣ハ白鳥貯木所三重縣ハ桑名貯木所

其貯木所名稱之儀今般農商務省(地名)貯木所ト改稱相成候條此旨相達候也

山林會計兩局ヨリ農商務省ヘ伺 二十五年九月七日  
客年四月第三十三號同第三十六號ヲ以會計法之儀ニ付公達相成候後山林局各貯木所ヘモ山林會計兩局員出張事務執行候ニ付テハ別紙御參照之通各事務所之例ニ依リ改稱セサルヲ不得依テ更ニ農商務省地名貯木所ト御改正相成度右御許可之上ハ大藏省ヘ御通知并貯木所所在縣々ヘ御達共併テ左案相伺候也  
但貯木所ヘハ兩局長ヨリ達之積  
農商務省ヨリ大藏省ヘ通知 二十五年十月三日  
當省山林局各貯木所之儀今般農商務省(地名)貯木所ト改稱候條此段及御通知候也

桑名白鳥兩貯木所處務心得

山林局達 二十五年十月九日  
其貯木所處務心得別紙之通被相定候條此旨相達候事

十九年四月十六日貯木所及編輯場官制ヲ定ム官等職制ノ部ニ載ス

桑名白鳥兩貯木所處務心得別紙之通被相定候條爲心得此段相達候也

- 第一條 筆頭者ハ成規ニヨリ貯木ニ屬スル一切ノ事務ヲ調理シ及ヒ局長ノ命令ヲ執行スル事ヲ掌ル
- 第二條 筆頭者ハ局長ノ命令又ハ直ニ處分スヘキ事件ヲ執行シタルトキハ其時々局長ニ申告スヘシ
- 第三條 筆頭者ハ職員ノ勤惰ヲ監シ局長ニ對シ之レヲ具狀スルヲ得
- 第四條 筆頭者ハ主管ノ事務ニ就キ各廳ニ對シ貯木所ノ名ヲ以テ照會往復スルヲ得
- 第五條 筆頭者ハ臨時日給金三十錢以下ノ雇員ヲ採用解免シ及ヒ其給額内ニ於テ之ヲ増減スルヲ得
- 第六條 筆頭者ハ雇以下ノ告暇又ハ除服出仕ヲ例規ニヨツテ執行スルヲ得
- 第七條 筆頭者ハ出張等ノ場合ニ於テ次席ノ在勤官吏ヲシテ代理セシムルヲ得
- 第八條 貯木所職員ハ筆頭者ノ指示ヲ受ケ處務ヲ調理ス
- 第九條 貯材ノ發賣ハ時價ノ景況ニ應シ臨時局長ニ稟議シテ之ヲ處分スルコトヲ得
- 第十條 貯材發賣ノ場合ニ於テハ貯木所ノ名ヲ以テ之ヲ廣告スルコトヲ得
- 第十一條 入札排實施ニ臨ミ若シ留札ヨリ低價ナルモ一割以内ナルトキハ其材品ニ依リ時機ヲ量リ落札ノ處分ヲ爲スコトヲ得
- 第十二條 貯材保安又ハ發賣等ノ爲メ日備ヲ賃使スルコトヲ得
- 第十三條 貯材入札排ノトキハ時價ヲ調査シ局長ノ批可ヲ請ケ之レヲ留札トナスヘシ但臨時相當拂ニ於ケルモ亦同シ
- 第十四條 貯材ヲ回漕スルトキハ其運賃ヲ調査シ受買人ヲ定メ條約草案ヲ添ヘ局長ニ稟議スヘシ
- 第十五條 貯木所ヘ入材シタルトキハ檢知及木品ノ等級ヲ監別シ拵立明細簿ニ登記シ統計表ヲ製シ本局ニ報告スヘシ
- 第十六條 貯材ハ伐採年度ヲ區別シ受拂臺帳ニ登記シ木材ノ出納ヲ明カニスヘシ



第十七條 檢知濟ノ材ニハ木種木徑及其良否ニ應シ左ノ極印ヲ打込ミ之レカ區別ヲナスヘシ  
木種木徑ノ極印

檜ハ⑥明檜ハ⑦榎ハ⑧榎ハ⑨例ヘハ檜ノ徑五寸ナレハ前ニ記ス⑩ノ極印ヲ五ツ六寸ハ五ヲ省キ一ツ  
七寸ハ二ツ八寸ハ三ツ九寸ハ四ツ一尺ハ五ツ一尺一寸ハ又五ツヲ省キ一ツ打ツ各寸此例ニ倣フヘシ  
良否等級ノ極印  
最上ハ①三ツ上ハ②三ツ上ハ③一ツ中ハ④一ツ下ハ⑤一ツ下下ハ⑥二ツ  
都テ極印ハ他日見易カラシカ爲メ本口ヨリ三尺以内ニ打込ミ徑ノ極印ハ等級極印ト位置ヲ區別スヘシ

第十八條 長間ノ定度ハ目戸穴代ヲ除キ左之通りタルヘシ

六間	四丈三寸未滿
五間半	四丈七寸未滿
五間	三丈七寸未滿
四間半	三丈四寸未滿
四間	三丈四寸未滿
三間半	三丈四寸未滿
三間	二丈七寸未滿
二間半	二丈七寸未滿
二間	二丈五寸未滿
短二間	二丈五寸未滿
一丈	二丈三寸未滿
一間	一丈六寸未滿
半間	一丈五寸未滿

六間半 四丈三寸未滿  
 七間 四丈六寸未滿  
 七間半 四丈九寸未滿  
 第十九條 木材ノ徑ハ元口ヨリ之ヲ度リ左ノ寸尺ノ處ニ於テ之ヲ定ムヘシ  
 半間 三尺二寸五分目  
 一間 六尺五寸目  
 一丈 一丈目  
 短二間 一丈三尺目  
 二間 同  
 二間半 一丈六尺二寸五分目  
 以上半間コト三尺二寸五分ツ、ヲ延長シ以テ徑ヲ定ム  
 第二十條 木材ノ良否ハ左ノ例ニ照ラシ等級ヲ査別スヘシ  
 最上 無節直材  
 上々 小曲リ無節及ヒ一方小節  
 上 中曲リ無節及ヒ二方小節  
 中 直材ニシテ二方大節三方小節等  
 下 大節曲リ及ヒ四方小節等  
 下々 傷木大曲ニシテ大節及難木等  
 以上節曲リ傷トモ凡ソ墨打間内ニアルモノヲ指シタルモノニテ間外ノ分ハ關係ナキモノトス  
 第二十一條 拂下ノ木材ハ引渡ノ際左ノ極印ヲ鑿記スヘシ

△一ツ  
○貯木所所在地 桑名ノ如キハ①白鳥ノ極印一ツ 如キハ②ノ極印



第二十二條 本材ノ外切レ端シ屑木等ノ類ハ其時ノ材數ヲ明悉シ經伺ノ上之レヲ處分スヘシ

深川貯木所ヲ廢シ其事務ヲ山林局ニ併セ山林局深川貯木場ト稱ス

農商務省達 十九年三月三十一日限廢止シ其事務ヲ山林局ニ併セ同年四月一日以降山林局深川貯木場ト稱ス爲心得此旨相達ス

貯木所及網場位置

農商務省告示 十九年五月二十日

當省貯木所及錦織網場位置左ノ通相定ム

貯木所位置 桑名 三重縣下伊勢國桑名郡桑名 白鳥 愛知縣下尾張國愛知郡熱田  
網場位置 錦織 岐阜縣下美濃國可兒郡錦織  
右告示ス

達節錄 十四年四月七日全文ハ官等及職

一 驛遞局山林局博物館及ヒ所屬博物館ハ擧ケテ農商務省ノ管理ニ付シ候條其事務悉皆該省ヘ引繼クヘシ  
シ本文ハ農商務省設置ニ付内務省ヘ達ノ第一項ナリ

博物館及ヒ所屬博物館ヲ農商務省ノ管理ニ付ス

農商務省達 十四年五月五日

其局所管淺草文庫事務取扱所今般上野公園内ニ移轉可致書籍借覽當分差止候旨各新聞誌ヘ廣告可致候此旨相達候事

博物館ヨリ農商務省ヘ伺 十四年五月二日  
今般御都合ニ寄リ淺草文庫事務取扱所上野公園内ヘ移轉相成候ニ付テハ博物館及ヒ各新聞誌ニ廣告案共併テ左ニ相伺申候也

博物館ヲ上野公園内ニ移ス

農商務省伺 十四年十月一日

當省博物館本日上野公園内ニ建設有之候事務所ヘ移轉自今於同所事務爲取扱候條此段御届申上候也

博物館借用ノ淺草文庫ノ書籍ヲ博物館ニ移シ該所ノ内務省ニ返付ス

博物館ヨリ農商務省ヘ伺 十五年五月十六日  
淺草文庫ノ書籍博物館ヘ借用ノ儀ハ内務省圖書局ニ於テモ承知ニ付右書籍悉皆博物館ヘ引移淺草文庫地所建物等ハ去月二十八日内務省會計局ヘ引渡申候此段申上候也

博物館組織從前ノ制ニ仍ル

農商務省伺 十四年四月二十七日

今般博物館本省ヘ被附太政官第二十五號公達ヲ以テ本省職制并ニ事務章程被定右公達ヲ拜讀スルニ職制第二ニ博物館從前内務省所管ノ分ニ限ルヲ管理レ云々又章程第七條ニ博物館ハ古器物ノ保存美術ノ勸奨ニ關スル事務ヲ調理シ博物館ヲ管守スト有之右職制第二ニ據ルトキハ從前内務省所管ノ博物館ヲ其儘所管替ニ相成候儀ト被存章程第七條ノ古器物ノ保存美術ノ勸奨云々ハ局務ノ大體ヲ被示候儀ニシテ博物館ノ組織ニハ不關儀ト存候間其組織ニ至テハ則從前ノ通り天產農業工藝藝術史傳軍事教育ノ部門ヲ設分別紙分類表ノ通物品蒐集仕度依テ右分類表相添此段相伺候也  
指令 十四年五月二十三日

伺ノ通

内務部議案 十四年五月五日  
別紙農商務省伺博物館分類ノ儀ヲ案スルニ職制第二項ハ博物館管理替ノ儀ニシテ事務章程第七條ハ局務ノ大體ヲ示シタル儀ニ付博物館ノ組織ハ從前ノ通爲心得可然儀トス依テ伺ノ通御裁可相成可然哉法制部合議ノ上仰高裁候也

山下門内博物館ヲ上野公園ニ移ス

書記局ヨリ農商務省ヘ伺 十四年九月二十六日

山下門内博物館ノ列品過半上野新館ヘ引移シ候ニ付來ル十月一日ヨリ上野公園内ニ建設有之候事務所ヘ移轉致事務取扱可申此旨相伺候也  
本文御裁可ノ上ハ政府及ヒ官省使府縣ヘハ書記官ヨリ通報取扱相成度此旨申副候也



農商務省所管ノ博物館  
ヲ官内省ニ屬ス

官職門 官制 農商務省

四百七十二

官内農商務兩大臣へ訓令 十九年三月二十四日(官内省ノ部  
農商務省管理博物館自今官内省ノ管理ニ付ス

農商務省達 十九年三月二十五日  
官内各局課所

當省博物館自今官内省ノ管理ニ付セラル

驛遞局達 十四年四月二十一日

規畫課支給掛庶務課政表掛府縣年報例則取調掛相廢止調度掛ヲ計算課ニ屬シ當分ノ内庶務本課及ヒ調  
度掛事務章程別紙ノ通假定候條此旨相達候事

庶務本課假事務章程

- 一 驛路遞傳運輸ノ事務ヲ掌ル事
- 一 局中各課ノ月報ヲ纂輯スル事
- 一 各課ニ屬セサル庶務ヲ掌ル事
- 一 各地ノ營繕ニ係ル申牒ヲ掌ル事
- 一 給仕小使其他ノ使丁ヲ管スル事
- 一 諸物品ノ使用ヲ整理スル事
- 一 諸物品ノ需用ニ從ヒ調度掛ニ申牒スル事
- 一 本局年報ニ關シ本課ニ屬スル諸般ノ事項ヲ整理スル事
- 一 本局各課及ヒ各地郵便局ノ申牒ニ依テ諸物品ヲ交付スル事
- 一 調度掛假事務章程
- 一 本局ノ營繕ヲ掌ル事
- 一 各地ノ營繕ニ係ル仕様繪圖等ヲ掌ル事
- 一 諸物品ヲ製造購入スル事

驛遞局庶務本課及ヒ附  
屬課調度掛事務章程ヲ  
假定ス  
驛遞局 十四年四月七日  
内務省ヨリ機軸スル所官  
等職制ノ部參考スヘシ  
十五年九月六日第一項ヲ  
削ル

- 一 諸物品出納ノ事ヲ監スル事
- 一 諸物品ノ貯藏ヲ掌ル事
- 一 諸物品保存ノ事ヲ監スル事
- 一 諸消耗品ノ整理ヲ監スル事
- 一 庶務課ノ申牒ニ因テ諸物品ヲ交付スル事

驛遞局達 十四年九月十二日  
庶務課

本省詰相廢候條本月十日限り引拂可申此段相達候也

但郵便物取扱ハ暫ク從前之通り候事

驛遞局ヨリ農商務省へ上申 十四年九月九日  
局務ノ都合ニ依リ當局官吏本省へ出張爲致置候處定額減省ニ就テハ人繰ノ都合モ有之候間右相廢シ本  
月十日限り爲引拂候條此段上申候也

驛遞局達 十五年一月十日  
各課

今般庶務課中へ臨時編集取調掛ヲ置候條各課長ノ見込ヲ以テ各課ヨリ委員一名宛差出候様可致此段相  
達候事

掛渡神戶長崎函館上海  
郵便局長職務規程ヲ定  
ム

驛遞局達 十五年三月二十三日  
掛渡神戶長崎函館上海郵便局

其局長職務規程左之通相定候條此旨相達候也

第一條 局中一切ノ事務ヲ擔任シ局長事故アルトキハ局員タル判任官ニ其事務ヲ代理セシムルヲ得  
第二條 局員ノ勤惰ヲ監視シ能否ヲ審査シテ其黜陟ヲ要スルトキハ總官ニ具狀ス郵便集配人小遣等ハ  
人員ノ増減給金ヲ増與スルノ他ハ之ヲ專行スルヲ得

第三條 局中ノ事務ヲ大別シテ内外ノ二トス又其事務ヲ區分シ局員ニ其主務ヲ命スルハ局長之レヲ決

官職門 官制 農商務省

四百七十二



行スルヲ得

内國事務

- 第四條 主管ノ事務ニ付各所ニ對シ其名ヲ署シテ照會往復スルヲ得
  - 第五條 内國郵便發着及ヒ郵便線路開廢往復方法改正ニ意見アルトキハ之ヲ具申スルヲ得
  - 第六條 内國郵便發着配達物數及切手等賣下代金ノ日計精算表ヲ明瞭正確ナラシムル事ヲ掌ル
  - 第七條 郵便集配ノ當否及犯罪者ノ有無ヲ監察セシムル事ヲ掌ル
  - 第八條 内國郵便ノ發出及ヒ集信配達ノ時機ヲ正確ナラシムルヲ掌ル
  - 第九條 内國各道來着郵便遞送ノ遲速ヲ監督促スル事ヲ得
  - 第十條 内國事故郵便物ヲ掛量審案スル事ヲ掌ル
  - 第十一條 其局ニ係ル市内外郵便集配ノ便否及ヒ郵便局及ヒ郵便函ノ廢置切手賣下所ノ増減或ハ其位置ヲ變換スル等ノ事ニ關與ス
  - 第十二條 月日印及消印等ヲ掃淨シテ常ニ明瞭ナラシムル事ヲ掌ル
  - 第十三條 爲替貯金受拂ノ事務ヲ整理シ諸計表帳簿ヲ明瞭正確ナラシムル事ヲ掌ル
  - 第十四條 局中一切ノ出納計算及財産ヲ整理スル事ヲ掌ル
  - 第十五條 局中諸物品蓄藏方ヲ精良ナラシムル事ヲ掌ル
  - 第十六條 假定額金ノ内ヲ以テ成規アル局中要需ノ物品ヲ買辦シ或ハ器械ノ缺乏ヲ補ヒ又ハ之ヲ修繕スル事ヲ得
  - 第十七條 局中ノ簿書類彙整頓スル事ヲ掌ル
- 外國事務
- 第十八條 外國郵便ニ屬スル事務ハ該件ニ關スル規律方法及ヒ時々ノ達指令等ニ從ヒ之ヲ整理スルヲ掌ル
  - 第十九條 外國ト内國ノ間ニ遞送交換スル郵便發着及ヒ切手等賣下代金ノ日計表ヲ調理シ明瞭正確ナ

ラシムル事ヲ掌ル

- 第二十條 外國往復郵便物ノ表書ヲ點檢或ハ翻譯スル事ヲ掌ル
  - 第二十一條 同斷郵便物ノ稅額或ハ手數料ヲ點檢スル事ヲ掌ル
  - 第二十二條 外國郵便及郵便爲替ニ屬スル出納ハ別ニ調理スヘシト雖モ其收支ノ順序及ヒ所管スルハ内國ノ成規ニ從フモノトス
- 驛遞局ヨリブライアンヘ達 十五年三月二十三日
- 郵便局長職務規程別冊ノ通相定候條英譯文相添此旨爲心得相達候事
- 驛遞局ヨリ橫濱神戸長崎箱館上海郵便局長ヘ達 十五年三月二十三日
- 其局長職務規程別紙ノ通相達候處外國郵便ニ屬スル事務ニ付テハ在橫濱雇外國人郵便課長ブライアンヨリ時々檢査可及候條其意ニ因リ從事可致候且又同事務ニ屬スル規律方法等ニ付同人ヨリ示諭有之候節ハ其示諭ニ從ヒ取計可及尤モ其事件權限外ニ涉ルトキハ總官ノ決裁ヲ乞ヒ若シ該課長ノ示諭ニ異見アルトキハ姑ク之レニ從ヒ其旨詳悉總官ニ具申スヘシ此段相達候也

驛遞局小使ノ月給

驛遞局ヨリ農商務省ヘ伺 十五年四月四日

小使月給ノ儀從來肝煎ハ一名金五圓五十錢小使ハ一名金四圓五十錢ツ、支給相成居候處本局ノ儀ハ日々午後十一時迄モ使役シ殊ニ事務漸次増殖隨テ御用使等多忙ニ有之候間左ノ三等ニ區別シ各其勞力ニ隨ヒ支給候様致度此段相伺候也 四月十二日

小使月俸

肝煎 金六圓

一等 金五圓

二等 金四圓五十錢

但各出張局小使月給ノ儀モ各局事務ノ繁閑ヲ酌量シ前條三等ノ内ヲ以テ適宜支給候様致度



候

驛遞局ヨリ農商務省へ伺十五年八月二十三日  
本局及ヒ各地出張郵便局小使給料之義ハ過般經伺之上一箇月金六圓以下四圓五十錢迄三等ニ區別シ夫  
々支給致來候處函館郵便局之義ハ地景モ異リ物價騰貴且人員寡少ノ土地故右給料ニテハ備役ニ應スル  
判決モノ無之實際差支候間該局ニ限リ左之三等ニ區別シ各共勞力ニ隨ヒ支給候様致度此段相伺候也 九月十

小使月俸

- 一等 金七圓
- 二等 金六圓
- 三等 金五圓

驛遞局達 十五年六月二日

國逓府既課申請掛ノ事  
務ヲ改正ス

其課郵便取扱役職務掛事務自今庶務課ニ屬セシメ候條同課へ可引繼事

規畫課

規畫課郵便取扱役職務掛事務自今其課ニ屬セシメ候條同課ヨリ可請取事

庶務課

其課調査掛事務自今會計課ニ屬セシメ候條同課へ可引繼事

調整課

調整課調査掛事務自今其課ニ屬セシメ候條同課ヨリ可受取事

會計課

其課擔當ノ別種貯金之事務自今庶務課ニ屬セシメ候條同課へ可引繼事

同課

其課中へ統計掛ヲ置候事

庶務課

驛遞局庶務課職務掛  
事務順序ヲ定ム

驛遞局達 十五年六月十九日

其課職務掛ヲ二分シ庶務順序別冊之通相定候條此旨相達候事

庶務課職務係處務順序

第一部

- 第一 總官ノ命ヲ請ケ職員進退黜陟其他ノ辭令案ヲ照査シ及ヒ淨書スル事
- 第二 總官ノ命ヲ受ケ文案ヲ起草シ及淨書スル事
- 第三 總官其他ノ官印ヲ監守スル事
- 第四 職員身分ニ關スル願伺届等ヲ調理シ之ヲ申牒スル事
- 第五 職員錄六部ヲ調整シ毎月内閣并本省へ交送シ及時々出版スル事
- 第六 職員ノ履歷ヲ調査スル事

調整課擔當ノ別種貯金ノ事務自今其課ニ屬セシメ候條同課ヨリ可請取事

同課

其課諸物品交付及ヒ各地營繕等ニ關スル事務自今會計課ニ屬セシメ候條同課へ可引繼事

會計課

庶務課諸物品交付及ヒ各地營繕等ニ關スル事務自今其課ニ屬セシメ候條同課ヨリ可請取事

庶務課

局員月給旅費其他諸賄料調書ヲ製シ會計課へ通報ノ事務擔任可致事

會計課

別紙之通庶務課へ相達候條此旨相達候事

驛遞局ヨリ農商務省へ伺十五年六月一日

當局規畫課中郵便取扱役職務掛ヲ庶務課中職務掛へ合併調整課中へ統計掛ヲ置候様仕度此段相伺候也



- 第七 職員分課簿ヲ調製スル事
  - 第八 雇外國人明細簿ヲ調理スル事
  - 第九 職員出勤簿ヲ調整シ及點檢スル事
  - 第十 職員宿所簿ヲ調整スル事
  - 第十一 本局宿直割ヲ整理スル事
  - 第十二 職員公勤表ヲ調整スル事
  - 第十三 職員掛札ヲ調整スル事
  - 第十四 人員表ヲ調整スル事
  - 第十五 職員族籍表ヲ調整スル事
  - 第十六 局員任免ヲ本課及ヒ貯金課へ通知スル事
  - 第十七 在京局員貯金内規則請書ヲ本課へ送付スル事
  - 第十八 毎月盡日現在人員并俸給額明細表ヲ本省へ送達スル事
- 第二部
- 第一 郵便取扱役書記役ノ辭令ヲ認ムル事
  - 第二 郵便取扱役昇降表ヲ調整スル事
  - 第三 郵便局郵便受取所郵便切手賣下所郵便爲替貯金預所ヲ名簿ニ記載スル事
  - 第四 各郵便取扱役出頭ノ際指揮スル事
  - 第五 郵便取扱役辭令請書ヲ整肅スル事
  - 第六 郵便局及ヒ郵便切手賣下所等員數ノ年報并ニ月報ヲ表ニ製スル事
  - 第七 郵便切手賣下免許印鑑ヲ整調シ東京府下切手賣下所へ下付スル買下鑑札ヲ調シ并引換ノ事
  - 第八 郵便取扱役慰勞手當并祭菜料支給ノ元議ヲ作ル事

驛遞局府下監察係職務ノ限外ヲ定ム

驛遞局達十五年七月三十一日

別記

- 府下監察係リ之職務ニ關シ猶限界不明瞭之廉更ニ別記之通り治定候義ト可心得此旨相達候事
- 第一條 府下監察係リハ府下集配人ニ關シ取調フヘキ事件ヲ凡テ擔當スヘシ
  - 第二條 各課ニ於テ府下監察係リニ托シ取調ル事件ハ必ス之ヲ調整本課ニ報スヘシ故ニ府下監察係ハ調整本課ノ告知ヲ得テ之ヲ取調フヘシ
  - 第三條 第一條第二條ノ事件ニ付テ府下監察係リハ時宜ニヨリ府下各分局ノ主任ヲ以テ取調ヘ又ハ各課各係ニ稟議スルコトヲ得ヘシ
  - 第四條 府下監察係リハ其取調タル者ヨリ手續書ヲ取ルニ府下監察係ノ宛名ニ記載セシムルヲ得ヘシ
  - 第五條 府下監察係リハ第三條ノ場合ニ於テ取調ヲ受ケタル者ヨリ分局ノ主任ニ宛タル書面ヲ出セシ時ハ其宛名人ニ向ヒ府下監察係リニ宛タル添書ヲ需ムヘシ
  - 第六條 府下監察係リハ凡テ取調タル事件ヲ調整本課へ報告シ必ス其處分ヲ請フヘシ其事件ニ依リ又之ヲ發著本課ニ通知スヘシ
  - 第七條 規畫課又ハ發著課ヨリ郵便切手賣下所ノ位置若シクハ事故信書ノ取調ヲ府下監察係リニ托スルノ類ハ第二條第六條ノ限外ナリトス

驛遞局ニ取調課ヲ設キ發テ運轉課ト改メ事務章程ヲ定ム

驛遞局ヨリ農商務省へ伺十五年八月七日

當局取調課ヲ置キ同課事務章程別紙乙號ノ通伺相濟候處不都合ノ儀モ有之候間取調課ヲ運輸課ト改稱致シ度此段相伺申候

但事務章程ノ儀ハ取調課ヲ以テ伺濟ノ通施行可致事  
乙號別紙  
取調課



一 驛路遞傳運輸之事務ヲ掌理スル事

驛遞局庶務課事務章程  
中別除

驛遞局達十五年九月六日

庶務課事務章程中左ノ一項相廢止候條同事務可受繼此旨相達候事  
一 驛路遞傳運輸ノ事務ヲ掌ル事

驛遞局中外國文書課ヲ  
廢シ事務ヲ萬國郵便課  
ニ屬ス

驛遞局達十五年九月六日

其課相廢止候條事務萬國郵便課へ可引繼此旨相達候事

驛遞局萬國郵便課分掌  
ヲ定ム

萬國郵便課十五年九月六日

此課ハ各外國郵便院ト郵便交換條約ニ關スル事務及ヒ文書等ヲ掌ル而シテ此課ノ事務ヲ分テトナス  
其分掌スル所左ノ如シ

本課

萬國郵便聯合條約ニ關スル一切ノ事務ヲ掌理スル事

外國郵便物遞送方法ヲ掌理スル事

外國郵便ニ屬スル一切ノ書類ヲ管護保存スル事

外國郵便物運送賃及郵便爲替計算ヲ統括スル事

外國郵便ニ屬スル往復文書ノ事

本局年報ニ關シ本課ニ屬スル諸般ノ事項ヲ整理スル事

翻譯掛

外國文書ヲ翻譯スル事

驛遞局庶務課中臨時編  
集取調掛ヲ廢シ運輸課  
ニ取調掛ヲ置ク

驛遞局達十五年九月十一日

今般庶務課中臨時編集取調掛相廢シ運輸課中へ取調掛リ設置候條爲心得此旨相達候也  
驛遞局ヨリ運輸課へ達十五年九月十一日

其課へ取調掛差置候事

驛遞局規畫課地誌掛事  
務取扱ヲ定ム

驛遞局達十五年十月二十一日

今般規畫課地誌掛中へ第一部第二部第三部ヲ置キ各部擔掌之事務別紙之通相定候條此旨相達候事  
地誌掛事務取扱目次

第一部

- 一 郵便局線路往復方法等改正ニ從ヒ郵便地誌匯表ヲ改訂スル事
- 一 各道實測里程ヲ精確ニシ且其伸縮ヲ生スル毎ニ里程ヲ更訂スル事
- 一 郵便線路ノ里程伸縮及延里程ヲ調査シ月表ヲ作ル事
- 一 郵便線路地圖ヲ製調スル事
- 一 地名字引編纂ノ事

第二部

- 一 郵便取扱役書記役黜陟及手當増減等ノ元案ヲ草スル事
- 一 郵便局等級改正ノ元案ヲ草スル事
- 一 郵便取扱役并郵便切手賣下人變更ノ元案ヲ草シ取扱役身元引受人身分上ニ付府縣へ往復ノ文案ヲ草スル事
- 一 郵便局并郵便受取所郵便切手賣下所員數等ノ年報及月表ノ元調ヲ仕出シ臺帳へ記載スル事
- 一 東京府下郵便切手賣下所廢置ノ節指令文ヲ草スル事

第三部

- 一 東京府下郵便切手賣下所廢置ノ節指令文ヲ草スル事



- 一 各道郵便線路走力時間元簿ヲ製調スル事
- 一 各道郵便線路ニ發行スル遞送時間記改正ノ元案ヲ草スル事
- 一 各郵便局ヨリ返納セル遞送時間記ヲ徴シ其履行時間ヲ検査スル事
- 一 右履行時間ノ遅速表ヲ製シ其遲緩ヲ督スル違書ヲ草スル事
- 一 大中線路ノ現行時間記入表ヲ検査スル事
- 一 各道ノ難路ニ依リ猶豫時間ヲ出願セシ時其可否案ヲ草スル事

驛遞局達 十五年十一月一日

其課へ外國郵便爲替掛及書拔掛差置候事

驛遞局達 十六年一月十一日

其課中へ外國郵便爲替掛ヲ設置シ該事務受拂ヲ擔當爲致候條此旨相達候事

驛遞局達 十五年十二月一日

其課中ニ巡視ヲ置キ事務取扱順序別冊之通創定候條此旨相達候事

巡視事務順序

第一條 巡視者心得ノ總則

第一項 巡視吏ハ通用門内ノ見張所ヲ以テ假ニ詰所ト定メ日々順次交番シ左ニ定メタル人員ヲ以テ各其事務ヲ分擔スヘキ事

- 玄關詰 一人
- 分局詰 一人
- 通用門詰 一人
- 巡視 二人

十五年十二月六日第二項ノ次ニ追加アリ

宿直

一人

第二項 昇降口及ヒ分局詰其他巡視ノ當直ハ每朝各室開扉以前ニ出頭シ各官退出閉扉ノ後退局スルモノトス

但シ休暇ハ此限ニアラス

第三項 宿直ノ義ハ通用門詰番ニテ居殘翌朝交代人ノ出頭ヲ待テ事務引繼退局スヘシ

第四項 非常ノ用具ハ巡視者監守タルヘシ故ニ臨期不差支様毀損ノ有無常ニ注意致置ヘシ

第五項 詰番ノモノ一時處用之レアルトキハ巡視者ヲシテ代理ナサシメ決シテ空席ナラサル様致スヘシ

第六項 帽服及ヒ靴代ハ夏冬ノ兩期ニ支給ス故ニ常ニ不潔ナラサル様注意取扱フヘシ

第七項 前項著服類ハ出勤ノ節ニ限り他ニ著用スルコトヲ許サス

第八項 渾テ當直中事故有之節ハ事ノ細大ヲ不問總テ詰所ニ備ヘアル事務取扱日誌ニ登録シ置クヘシ

但日誌ハ日々本課ヘモ差出スヘシ

第二條 巡視ノ事

第一項 局中ニ於テ若シ疑ハシキ風體ノ者徘徊スルヲ見認ムルトキハ取押ヘ事由詰問ノ上本課ニ申出ツヘシ

第二項 火ノ元ハ別シテ入念巡視スヘシ

第三項 局中備品ハ勿論諸官員携帶ノ物品ト雖トモ賊難又ハ紛失等無之様取締方厚ク注意ヲ加フヘシ

第四項 本局構造中雨漏又ハ破損之箇所有之節ハ本課ニ報告スヘシ

第五項 薪炭及ヒ點燈用瓦斯燈油等使用ノ得失ヲ注意スヘシ

第六項 飲料湯水ノ清濁及ヒ之レニ屬スル諸器械維持ノ精粗等別テ入念日々點檢ニ及フヘシ



- 第七項 廁及ヒ下水等ハ日々検査シ若シ掃除ノ不充分ナル時ハ直チニ該係ヲシテ清潔ナラシムヘシ
  - 第八項 給仕小使等怠慢ナルカ又ハ不品行ノ所爲有之時ハ本課ニ届出ツヘシ
  - 第九項 小使以下其他商職工休息所等不取締無之様時々臨檢及フヘシ
  - 第十項 各昇降口際ニ於テ諸車ヲ散布シ出入ノ妨碍トナルモノハ直チニ之レヲ退カシムヘシ
  - 第十一項 郵便及ヒ爲替貯金等各受付所ニ有之各種ノ揭示札其他椅子卓机等ノ位地亂雜セサル様時々巡視ニ及フヘシ
  - 第十二項 本局外圍及ヒ各受付所壁柱其他ヘ濫書又ハ毀損等ノ戲業致サ、ル様厚ク注意ヲ加フヘシ
  - 第十三項 總テ硝子窓戸ノ汚曇ヲ點檢シ常ニ清潔ナラシムヘシ
  - 第十四項 窓戸ノ破損等有之節ハ直チニ本課ニ申出修繕ヲ求ムヘシ
  - 第十五項 各窓戸ニ設ケアル日蔽母衣格別汚染候歟又ハ破損等之レアル節ハ洗滌或ハ引替方ヲ本課ニ申出ツヘシ
  - 第十六項 本支局構内ニ於テ遺失物ヲ拾得タル時ハ其拾取タル所ノ物品并員數トヲ詳細ニ認メ署名捺印ノ届書ヲ添ヘ之ヲ本課ヘ差出スヘシ
  - 第十七項 發著課中ハ巡視限外ノ義ト心得ヘシ
- 第三條 門戸監守ノ事
- 第一項 外來人ノ内案内ナク入局スルモノ有之トキハ其事由詰問ノ上應接所ニ留メ置キ受付掛ヲシテ主務若クハ其指名シタル本人ヘ報導セシムヘシ
  - 第二項 昇降人ノ内粗暴或ハ不法ノ所爲有之カ又ハ發狂及ヒ酒狂等ノ者入局スルトキハ懇切丁寧ニ説諭ヲ加ヘキハ勿論若シ之レニ應セサル節ハ臨機處分ノ上本課ニ届出ツヘシ
  - 第三項 若シ人力車賃錢不排入局スルカ其他總テ不品行ノ所業之レアル旨届出候節ハ事由取調本課ヘ届出テ指揮ヲ受ヘシ
  - 第四項 諸物品局外ニ輸出スルモノ之レアル節ハ別テ注意シ若シ不審ト見認ムル節ハ詰問ニ留メ置

- キ其掛員ニ就テ尋合セ處分スルモノトス
- 第四條 宿直心得ノ事
- 第一項 局員ノ外夜中昇降候モノハ一人毎ニ其氏名用向等尋問シ帳簿ニ記載スヘキハ勿論若シ疑ハシキ義有之節ハ入局許スヘカラス
  - 第二項 郵便物發著荷物ヲ除ノ外夜中物品ヲ携帶シ昇降スルモノハ何人ニ限ラス事由詰問ノ上第一項ノ手續ヲ經若シ疑ハシキ義有之候ハ、其物品ヲ検査シ其次第二ヨリ宿直員ニ通知シ指揮ヲ受ヘシ
  - 第三項 郵便物發著濟ノ上ハ門戸閉鎖致スヘシ
  - 第四項 門扉締切後出入人アルトキハ其人各ト要用ノ趣旨トヲ尋問ノ上開通スヘキ事
  - 第五項 當直者一時所用之レアル節ハ宿直員ニ通知シ等外以下宿直ノ者ニテ代理ナサシムヘシ
  - 第六項 臨時事故有之一ニテ決シ難キ節ハ宿直員ニ就キ協議ヲ遂ケ指揮ヲ受クヘシ
  - 第七項 出火ノ節ハ宿直ノ内交代セシメ直ニ唧筒運用方ニ著手スヘシ但シ非常心得ノ義ハ別紙ニ就キ了知スヘシ
- 驛遞局達 十五年十二月六日
- 其課巡視事務取扱心得第一條第二項ノ次ニ左記之通追加候條此旨相達候事
- 一郵便及ヒ郵便爲替貯金等ノ義ニ付參局ノ者ハ渾テ懇切ニ取扱猶不案内ノ者ヘハ丁寧ニ教示致スヘシ
- 驛遞局達 十五年十二月八日
- 廐監督事務取扱方左記之通可相心得此旨相達候事
- 廐監督心得
- 一廐掛吏員已下馭者馬丁等事務ノ勤惰馬取扱ノ適否ヲ監督スル事
  - 一飼料品ノ精粗量度ノ多寡等ヲ監督スル事

驛遞局監督心得ヲ定ム



- 一 馬購買等ノ時機ニ於テハ之カ能否及ヒ價格等之適否ヲ審案シ之ヲ具狀スル事
- 一 病馬等有之節ハ其療養方注意セシムル事
- 一 馬車其他ノ諸器械保存之宜シキニ注意スル事

驛遞局達十五年十二月十二日

別紙之通調整課へ相達候條得其意受繼可申此旨相達候也

調整課

今般巡視ヲ置候ニ付テハ從前其課府下監察掛於テ擔任候外ト締リニ關スル門戸之開閉及ヒ外廻リ巡見ノ儀ハ巡視之擔務ニ候條自今心得ニ不及依之右門戸ノ錠鍵共庶務課へ引繼可申此段相達候也

驛遞局達十六年二月九日

調整課中各地監察掛府下監察掛ヲ廢シ更ニ同課中ニ監察掛ノ一掛ヲ置キ其掛ヲ分テ中央監察部地方監察部遞送監察部市内監察部ノ四部トシ別紙之通事務分掌規程制定及從來ノ監察事務條欸ヲ廢シ更ニ監察事務取扱條例制定施行候條此旨相達候事

監察掛

驛遞出張局及郵便局郵便受取所貯金預所事務ノ執行ヲ檢查シ及驛遞ニ係ル制法ノ非違事業ノ便否ヲ監察スルヲ掌トル其掛ヲ分ツテ四部トス

中央監察部

- 一 本局ニ在勤シ地方監察部遞送監察部市内監察部ニ屬スル事務ヲ統一主持シ諸般ノ事務ヲ處理ス
- 一 監察事件ノ報告又ハ建議ヲ其事件主管ノ各課ニ付シ其處分決定ノ報告ヲ受ク

地方監察部

驛遞局別紙課府下監察掛擔任ノ門戸開閉等ノ事ヲ巡視ニ屬ス

驛遞局調整課分掌規程及監察事務取扱條例ヲ定ム

十六年五月別紙課府下監察掛擔任ノ門戸開閉等ノ事ヲ巡視ニ屬ス  
務取扱條例中改正アリ

- 一 主任ノ地方驛遞區ニ出張シ其區内驛遞出張局及郵便局郵便受取所貯金預所事務ノ執行ヲ巡檢ス
- 一 驛遞出張局員并郵便取扱役以下所屬人及郵便遞送集配人ノ勤惰ヲ監察ス
- 一 郵便局爲替取扱所貯金預所金員出納ノ當否ヲ檢查ス
- 一 郵便局郵便切手賣下所郵便函位置ノ適否ヲ巡檢ス
- 一 郵便條例其他成規定例ニ係ル違犯者ノ有無ヲ監察ス
- 一 郵便物ノ安全ヲ保護ス
- 一 郵便線路布設郵便物遞送集配方法ノ適否ヲ監ス
- 一 郵便物遞送集配ヲ監督ス
- 一 郵便物遞送器械ノ便否ヲ監察ス
- 一 右ニ掲ケタル外地方ニ實施スル驛遞事業ノ便否ヲ監察ス

遞送監察部

- 一 主任ノ郵便線路ニ出張シ其線路ニ係ル郵便物ノ遞送ヲ監督ス
- 一 遞送郵便物ノ安全ヲ保護ス
- 一 郵便物遞送方法及遞送猶豫時間ノ適否ヲ監察ス
- 一 發著時間郵便遞送人晝繼夜繼郵便物重量ヲ檢查ス
- 一 時計ノ遲速ヲ正フス
- 一 郵便行李行囊荷棒桐油并馬車等遞送器械ノ取締ヲナシ及其郵便物遞送器具ノ便否ヲ監察ス
- 一 線路ノ難易ヲ調査ス
- 一 郵便條例其他成規定例ニ係ル違犯者ノ有無ヲ監察ス

市内監察部

- 一 本局及各驛遞出張局ニ在勤シ其在勤局及其同市内ニ在ル支局ノ發著掛員及市内郵便局郵便受取所ノ事務執行ヲ監察ス



- 一 在勤局及其同市内ニ在ル各局ノ郵便發着掛員及郵便遞送集配人ノ勤惰ヲ監察ス
- 一 在勤局同市内ニ在ル各局并郵便局切手賣下所郵便函位置ノ適否ヲ監察ス
- 一 郵便條例其他成規定例ニ違反者ノ有無ヲ監察ス
- 一 在勤局及其同市内ニ在ル各局ノ郵便物遞送集配ヲ監督ス
- 一 郵便開函證印ヲ巡檢ス

監察事務取扱條例

第一編 總則

第一章 監察掛服務紀律

- 第一條 凡ソ監察掛ハ本局ノ耳目タリ故ニ正實ニシテ命令ニ服從シ事務ニ精勤シ其責任ノ在ル所ヲ明ニシ其職ヲ舉ルヲ勤ムヘシ若シ其本人ニ就キ命令スル所舉ラズ及ヒ其行爲修マラサル如キアラハ皆其責ニ任セサルヲ得サル事
  - 第二條 監察掛ハ事務規程并ニ本條例ヲ體認シ自己ノ職分ヲ明知スルヲ要ス苟モ越權專斷ノ所爲アルヘカラサル事
  - 第三條 監察掛ハ驛遞出張局員及郵便取扱役及其所屬員若クハ之ニ關係アルモノニ對スルニ最モ温和切實ヲ主トシ決シテ擅ニ威權ヲ用ユル等ノ所爲アルヘカラサル事
  - 第四條 監察掛ハ郵便取扱役及其所屬員若クハ之ニ關係アルモノ等ノ情願ヲ媒介シ若クハ其情願ニ對スル許否ノ推量想像ノ意見ヲ申告スル等ノ所爲アルヲ禁止スヘキ事
  - 第五條 監察掛ハ郵便取扱役及ヒ其所屬員若クハ之ニ關係アルモノヨリ金錢及物品等ヲ借用スルヲ禁止スヘキ事
- 但臨時非常ノ不得止場合ニヨリ一時需用ヲ要スルキ金員ハ十圓迄物品ハ現實辨用ニ足ル額ヲ借ルヲ得ヘシ此場合ニ於テハ電信分局アル地ハ電報ヲ以テ伺出テコレナキ地ハ貸借者連署ヲ以テ本局

へ届出ツヘシ

- 第六條 監察掛ハ郵便取扱役及其所屬員若クハ之ニ關係アルモノ、賄賂ニアラサルモ金錢ハ勿論物品タリヒ其贈與若クハ饗應ヲ受ルヲ許サズ又之ニ饗應ヲナシ若クハ之レト協同會合シ宴ヲ張ルヘカラズ又右等ノモノ、居宅ニ於テハ臨時非常ノ際又ハ寒村僻地ニシテ他ニ宿泊スル場所ナキ外ハ總テ之ニ宿泊スルヲ許サズ若シ臨時非常ノ際又ハ寒村僻地ニシテ之ニ宿泊シタルハ其旨本局へ届出ツヘキ事

- 第七條 監察掛目下差間アル日常用品ノ外ハ其地方ノ物産等郵便取扱役及其所屬員若クハ之ニ關係アルモノヨリ購入シ若クハ之ニ囑托シ購入セシムヘカラサル事

- 第八條 本章ニ定メタル規則ヲ犯シ職務ヲ瀆シタルモノハ嚴ニ處分ヲ下シ寛假ヒサルヘシ此旨豫メ心得置クヘキ事

第二編 中央監察部

第一章 處務

- 第九條 驛遞出張局員及ヒ郵便取扱役及ヒ其所屬員ノ能否勤惰并ニ各郵便局ノ事務執行ノ整否其他郵便事業ノ得失ニ係ルモノハ其總體若クハ部分ニ拘ハラズ地方監察部遞送監察部市内監察部ノ報告ニヨリ又ハ本部ノ意見ヲ以テ之ヲ取調フヘキ事

- 第十條 前條事務ノ取扱ハ第三編第四編第五編ニ定メタル規則ノ旨趣ニ準據スヘキ事

- 第十一條 地方監察部遞送監察部市内監察部ニ係ル監督ハ嚴正ヲ要ス其監督スヘキ事項ハ審案檢査シ注意取扱フヘキ事

- 第十二條 地方監察部遞送監察部市内監察部ノ報告ヲ受ケ付ケ之ヲ審案シ時機ニヨリテハ之カ再調ヲ求メ又ハ意見ヲ備ヘ其主管ニ係ル事務ヲ指示シテ其取調ヲナサシメ之ヲ調理スヘキ事

- 第十三條 地方監察部遞送監察部市内監察部ノ職務ニ係ル事件ハ其規則ニ照準シ規則ナキモノハ別ニ立案シ取扱フヘキ事



第十四條 中央監察部ハ郵便局検査基帳ヲ設ケ郵便局検査事狀ノ要領及ヒ臨檢度數等ヲ記入シ郵便局事務ノ概況及ヒ臨檢度數ノ繁疎ヲ參觀檢視スルニ供スヘク又監察事故帳ヲ置キ監察上事故ニ係ル報告事件ノ要領ヲ記入シ其事件處分決定シタルトハ之カ決定ノ要旨ヲ記入シ以テ其事件處分已未決ヲ識別スルニ備フヘキ事

第十五條 中央監察部ハ時宜ニ依リ臨時各地ニ出張事務ヲ取扱ハシムルコトアルヘキ事

第三編 地方監察部

第一章 郵便局ノ検査 附郵便受取所及貯金預所

第一節 通則

第十六條 郵便局等ノ検査ハ郵便局等ノ執行スル諸般ノ事務其法律規則成例定規ニ適順シ局務整頓スルヤ否ヤ并ニ郵便取扱役及ヒ其所屬員ノ能否勤惰ヲ監察スルノ目的ヲ以テ之レカ一切ノ事件ヲ検査スヘシ郵便受取所貯金預所ノ検査モ亦此規則ヲ適用シ其事務ヲ検査スヘキ事

第十七條 郵便局等ノ検査ハ沿道順次ニ拘ハラス甲局ヨリ丙若クハ丁局ニ到リ丁或ハ戊己局ヨリ乙局ニ歸ル等臨檢不期ニ之ヲ行フヘキ事

但順次巡檢ヲ要スル事件アルトハ此限りニアラス

第十八條 郵便局等ノ内事務取扱方整肅シテ身分上ニモ亦々顧念ナキモノハ頻度ノ出局ヲ要セス若シ不整肅又ハ行爲ニ危疑ヲナスヘキ局ハ再三引續キ出局シテ検査スヘキ事

第十九條 郵便局等ノ検査ヲ行フハ晝間ニ於テシ夜間ニ爲スヘカラス又其検査ヲ行フキハ必ラス郵便取扱役若クハ其代理人タルモノヲ立會ハシムヘキ事

但郵便取扱役等不正又ハ犯罪ノ所爲アリト認め特ニ夜間ノ臨檢ヲ要スル場合ハ臨期之ヲ行フコトヲ得

第二十條 郵便局等ニ臨檢スル毎トニ先ツ所持ノ印鑑ヲ示シ監察掛タルヲ認めシムヘキ事

第二十一條 郵便局等ノ検査ハ幾回臨檢スルモ苟モ手數ヲ略省シ又ハ匆卒ニ関了シ若クハ検査中其事

ヲ中止シテ席ヲ離レ外出等爲スヘカラス必ス精細綿密ニ執行スヘキ事

第二十二條 郵便局等検査ノ事蹟ニ依リ郵便局等ニ於テ執行スル事務ノ法律規則等實際ニ適當完全ナラサルモノアリト視察スルトハ其規則方法ノ改正意見ヲ本局ニ建議スヘキ事

第二十三條 郵便局等検査ノ事蹟ニ依リ郵便取扱役及其所屬員法律規則ノ不了解ヨリ事務整頓ナラサルモノアルトハ其郵便取扱役等ニ對シ懇切ニ教示シ其旨本局ニ報告スヘキ事

第二十四條 郵便局等検査ノ事蹟ニ依リ郵便取扱役及其所屬員疎虞怠慢ノ所爲アルヲ認知シ本條例ニ依リ之ヲ監督シ教正ヲ命スルモ其命ニ從ハサルモノハ其事狀ヲ本局ニ報告スヘシ濫リニ懲罰スルヲ得サルヘキ事

第二十五條 郵便局等検査ノ事蹟ニ依リ郵便取扱役等職務上犯罪ノ所爲アルコトヲ認知シ又ハ犯罪ノ所爲アリト思量シタルトハ本編第四章犯罪者取扱規則ニ從ヒ處分スヘキ事

第二十六條 郵便局等検査其他事業視察事件ハ凡ソ事務章程ニ定メタル一切ノ事件ヲ監察スヘキモノト雖モ本章第二節第三節第四節及第二章第三章ニ掲グル概目ノ事件ハ特ニ注意綿密ニ取調フヘキ事但職務内ニ屬スル事件ニシテ遞送監察部市内監察部ト同一ノ事件ヲ監察スルキハ其本條ニ定ムル手續ニ準據シ監察スルモノトス

第二十七條 地方監察部他管地方監察部ト交渉ノ事件ニヨリ取調ヲ要スル時ハ之ヲ其部ノ本任ニ移シテ其取調ヲ求メ之レカ處分ヲ終フヘシ若シ其事件自カラ出張取調ヲ要スルキハ其事由ヲ具シ伺出許可ヲ受ヘク又臨時非常ノ事件アルトハ直チニ他區へ出張スルコトヲ得其場合ニ於テハ其旨本局へ届出ヘキ事

第二節 本務

第二十八條 郵便局名稱位置及其所轄區域ノ適否ヲ視察スヘシ若シ不適當ト見認めルモノアルトハ其事狀本局ニ報告スヘキ事

第二十九條 郵便取扱役掛屋及ヒ身元引受人身分ノ戸主ト非戸主トヲ取調ヘ若シ取扱役ニ非戸主アル



非ハ戸主ヨリ身元引受證書差出シアルヤ否ヤヲ取調ヘ其未タ差出サ、ルモノアルハ例文ヲ示シ其書面ヲ作ラシメ速ニ管轄府縣廳ヲ經テ本局ニ差出サシムヘシ又身元引受人非戸主ナルハ直チニ引替方取扱役へ告示シ其顛末ヲ本局ニ報告シ及ヒ其所轄府縣廳へ通報スヘキ事

但掛屋ハ非戸主ナルヲ許サ、ル成規トス若シ之レアルハ其旨本局ニ報告スヘキ事

第三十條 郵便取扱役及ヒ其所屬員ノ能否勤惰ヲ監察シ其勉勵察ニ超ユルモノ又ハ怠慢ニシテ其事務ニ堪ユヘカラサルモノト視察シタルモノハ其事情本局ニ報告スヘキ事

第三十一條 郵便取扱役郵便物遞送集配等其取扱方熟知スルヤ否ヤヲ試問スヘシ其熟知セサルモノハ之ヲ教示スヘシ就中事故信書并ニ書留別配達等ノ取扱方ハ最モ懇切ニ教諭スヘキ事

第三十二條 郵便取扱役及ヒ其所屬員故意ヲ以テ己レニ屬セサル郵便物ヲ開封シ又ハ毀損汚穢シ或ハ抑留隱匿拋棄シ若クハ之ヲ其人ニ屬セサルモノニ交付シ又ハ切手ヲ剝取リ其他郵便物若クハ其封中ノ物品ヲ盜取シ或ハ郵便受人ヨリ酒代手費料等ヲ請ヒ受ル等郵便條例ニ違犯シ其他郵便ニ係ル犯罪ノ行爲ナキヤ特ニ注意取調ヘ將來ノ取締ハ勿論既往ヲモ覈查スヘシ若シ右等犯罪ノモノ發覺スルハ本編第四章犯罪者取扱規則ニ照準シ處分スヘキ事

第三十三條 郵便取扱役及其所屬員故意ヲ以テ貨幣封入郵便物ヲ遞送配達セシメ郵便稅ヲ納ムルニ現金ヲ以テシタルモノヲ其儘受付ケタル等違則ノ取扱ナキヤ否ヤヲ監察スヘシ若シ發見シタルハ前條ノ手續ニ倣ヒ處分スヘシ其誤テ本條ニ觸レタルモノハ之ヲ匡正シ其旨本局ニ報告スヘキ事

第三十四條 郵便物遞送集配ノ時ニ當リ老幼婦女子又ハ羸弱等ノ遞送人集配人ヲ使役シ并郵便馬車ニ驚馬ヲ使役スル等服役ニ堪ヘサル不合格ノモノアリ之カ爲メ遞送集配ノ遲緩ヲ致セシ弊害ナキヤ否ヤヲ監察スヘシ其遲緩ノ弊害アリト認ムルモノアルハ其事狀ヲ取糺シ時宜ニ依リ之ヲ變換セシメ其事狀本局ニ報告スヘキ事

第三十五條 郵便物ニ貼用スル切手及葉書封皮帶紙ノ稅額印面ノ消印ハ明瞭ナルヲ要スルニヨリ臨檢ノハ之ヲ檢閱スヘシ若シ押捺方杜撰又ハ印肉不良ニシテ消印不明瞭ノコアルトキハ之ヲ改正セシ

メ其旨本局ニ報告スヘキ事

第三十六條 時間記ハ郵便物遞送晝夜經過貫目郵便物數及ヒ受渡シノ繁閑ヲ認識スルニ必要ノモノニヨリ發著局ニ臨檢ノハ必ス備サニ之ヲ點查シ其要部ヲ抜鈔シ置キ其沿線各局ニ臨檢ノキ其局ノ發著簿ニ照シ又之ヲ勘定表控ニ查シ夜増賃夜中取扱手當及過貫目ノ計算適當ナリヤ否ヤヲ檢シ又郵便物日計表ニ當テ發著數ノ正否ヲ査閱スヘシ其違算等アリタルハ之ヲ教正シ若シ不正ノ所爲アリタルハ嚴ニ取糺シ其顛末本局ニ報告スヘキ事

第三十七條 郵便局備置キ時計ノ遲速ヲ檢査シ之ヲ正當ナラシムヘシ或ハ遞送時間ノ定規速度ニ背戾センコトヲ恐レ又ハ自己ノ緩慢ヲ蔽ハン等ノ爲メニ自局ニ備ヘアル時計ノ指針ヲ進退シ其時分ヲ時間記ニ妄記スル等ノ作爲往々コレアリ巡廻中著意監視スヘシ其之ヲ發見セシハ之ヲ正當ナラシメ其顛末本局ニ報告スヘキ事

第三十八條 郵便物ノ發著數ハ正確ヲ要スルヲ以テ重複或ハ脱漏等ノコトナキヤ郵便物日計表騰記方及ヒ勘定表編製方ヲ調査シ若シ騰記方ノ疎漏又ハ誤謬等ヨリ差立數ニ到著數ヲ合セ又ハ他局ヨリ發シタル繼越シノ郵便物ヲ我發信ニ混シテ差立ノ部ニ編入シ或ハ郵便物ノ種類ニ從ヒ各其欄内ニ記入スルコトヲ誤リ單ニ合計ノミ掲出スルモノ等其仕譯方誤謬アルモノアリ此場合ニ於テハ叮嚀ニ教諭訂正セシメ其旨本局ニ報告スヘキ事

第三十九條 郵便物差立區分ノ良否ハ到達ノ遲速ニ關スルニヨリ或ハ問題ヲ發シテ其取扱方ヲ試問シ主務者ヲシテ務メテ此區分ニ注意セシメ郵便物遞送速達ヲ要スヘキ事

第四十條 書留郵便物ノ封緘ハ繼送ノ際異狀ナキヤ否ヤヲ檢査シ受渡シスヘキハ制規ニヨリ其發著ノ際疎漏ノ取扱ナカラシムヘシ若シ不法ノ取扱アルヲ認メタルハ嚴ニ督責シ將來ヲ警戒シ其旨本局ニ報告スヘキ事

第四十一條 書留郵便物ハ差出人受取人ノ住所氏名及ヒ番號等ノ記載ハ後日事故アルハ其蹤跡追究ニ要スルモノニヨリ其帳簿ヲ檢査スヘシ若シ不明瞭ナルハ其記載方ヲ教示シ後日ノ搜索ニ差支ナカ



ラシムヘキ事

第四十二條 書留郵便物ハ沿線各開閉局ニ於テ受渡筆記ノ手數ヲナスモノニヨリ其多數ノハハ繼送上  
意外ノ遅延ヲ生スルコアルヲ以テ務メテ合封ノ手續ヲナサシムルヲ要ス豫テ其手續ヲ最モ熟習セシ  
ムヘキ事

第四十三條 郵便行李ノ封緘ハ遞送取締上至要ノモノニシテ郵便局ニ於テ裝封ノハ若クハ行李受渡ノ  
際杜撰輕忽ノ所爲アラシムヘカヲサルモノニヨリ發着局又ハ開閉局ヘ臨檢ノハ此旨ヲ告示シ取扱方  
ニ注意セシムヘシ其臨檢ノ當時郵便物ノ發着スルハ之ヲ査閱シ定例成規ノ手續ヲ履行セルヤ否ヤ  
ヲ視察スヘシ若疎略不法ノ取扱方アルハ之ヲ匡正シ其旨本局ニ報告スヘキ事

第四十四條 郵便明キ行李及ヒ行囊等差立元ヘ返却方等閑ニ付シ或ハ積テ數百荷ニ至ルモ返却セス  
或ハ取扱方杜撰ニ流レ紛失破損シ或ハ付屬品ヲ遺失スル等比々コレアリ此等ノ所爲アル局ニ於テハ  
其取扱役ニ督促シ各其規則ニ從ヒ速カニ返却スヘキヲ命シ將來其滯滞紛失ノ憂ナキニ深ク注意セシ  
ムヘシ其返却ヲ命シタルハ其旨本局ニ報告スヘキ事

第四十五條 郵便切手葉書等其他諸官物保存方ヲ視察スヘシ若シ其不注意杜撰等ノ所爲アルハ嚴ニ  
警誡シ釐正セシメ其旨本局ヘ報告スヘキ事

第四十六條 郵便掛札及郵便函其他規則等ノ掲出方ヲ檢査シ不適當ノ場所ニ掲ケ置クカ又ハ掲出ヲ怠  
リタルカ或ハ郵便函ヲ夜間ニ掛ケ置ク等其他不締ノ事アルハ之ヲ釐正セシメ其旨本局ニ報告スヘ  
キ事

但郵便函ハ其土地ノ景況ニ依リ函ノ取付方嚴重ナルモノハ夜間掛ケ置クモ苦シカラス

第四十七條 郵便局等ヘ官給ノ物品ヲ檢査スヘシ其既ニ置局ノ際代價ヲ支給セシ提灯掛札掛函ニシテ  
未タ調度セサルモノハ成規ノ恰好寸法等ヲ示シ速ニ之ヲ作ラシメ又秤量日附印局印未納又ハ不足印  
其他常例支給スヘキモノニシテ未タ下渡シナキモノハ受取方本局ヘ申出サシメ又破損シタルモノア  
ルハ之ヲ新製又ハ修繕セシメ其經費ハ勘定表臨時經費ノ欄ニ記入シ職方受取證書ヲ添ヘ受取方本

局ヘ申出サシムヘシ

前項破損シタルモノアルハ之ヲ新調又ハ修繕スヘキモノ、内時計及ヒ秤量ハ其地ニ之ヲ修繕スヘキ  
職工ナキハ及ヒ大破修繕スヘカヲサルモノハ本局引替方申立サスヘキ事

但時計ハ漸次各局ヘ下渡スヘキニ依リ最モ其必要ト見認ムル局ニシテ未タ下渡シナキモノハ其事  
情ヲ報告請求スヘシ

第四十八條 短銃下渡シアル各局臨檢ノ際ニハ其短銃ノ有無彈藥ノ員數及ヒ機關ノ破損等ナキヤ否ヤ  
ヲ檢査スヘシ若シ異狀アルハ事由取調ヘ本局ヘ報告スヘキ事

第四十九條 前條短銃ハ盜難猛獸防禦ノ爲メ最モ必要トスル局ヘ特別ニ下渡スヘキモノニヨリ若シ不  
必要ノ局ヘ下渡シアルハ其事狀取調ヘ本局ニ報告スヘキ事

第五十條 各局ヨリ申牒スヘキ勘定表爲替諸計算屆書其他ノ公文送納金等及ヒ諸達ニヨリ具稟ヲ要ス  
ル件々進達ノ時期ヲ等閑ニ過去リ遅延スルハ大ニ事務ノ障礙ヲ生スルニヨリ平常緩怠ノ所爲アル  
ヘカヲサル旨告示スヘキ事

第五十一條 郵便切手等賣下代及ヒ經費預リ金ヲ私ニ流用シタルモノアルハ速ニ本人又ハ身元引受  
人ニ嚴諭シ辨償セシメ顛末詳細本局ヘ具狀スヘシ若シ辨償ナサ、ルハ本編第四章犯罪者取扱規則  
ニ從ヒ處分スヘキ事

第五十二條 前條流用金ヲ辨償シタル場合ニ於テハ其金額ハ直チニ現時必要ニ係ル經費金受渡切符ヲ  
添ヘ其身元引受人若クハ郡區戸長ニ預クヘシ其預ケタルハ驛遞局宛ノ預證書ヲ受取リ其顛末詳細  
本局ニ報告スヘシ

前項金員ヲ身元引受人若クハ郡區戸長ニ預クルハ其局例月經費金受渡ヲナスノ手續ヲ約定シ置ク  
ヘシ其手續ハ通運會社巡回ノモノ經費有餘金受渡ノ爲メ其郵便局ヘ出局シタルハ其局ヨリ其流用  
金ヲ預ケタルモノニ通報セシメ嚮ニ預ケタル經費金受渡切符ト通運會社巡回ノモノ持參ノ切符ト引  
合セ相違ナキヲ認メ其金員受渡方ヲナスヘキ旨告示シ置クヘキ事



第五十三條 郵便物往復方法改正又ハ其他ノ景況ニヨリ從前夜繼ノ場所書繼ニ變シタルモ猶ホ從前ノ遞送夜増賃及ヒ夜中取扱手當ヲ受取リ若クハ各線遞送度數ノ内線路ノ支障ニテ其度數ヲ減シタルモ常時度數ノ通り遞送賃受取方ヲナスモノナキヤ否ヤヲ調査スヘシ若シ是等ノ行爲アリタルハ其事由本局ヘ報告スヘキ事

第五十四條 各局ヘ回致スヘキ經費金等ノ遞送ハ通運會社ニ命シ其前月ニ渡ヌノ類ニ必ス到達スヘキ定例トス其遞送方遲滯シ或ハ月末又ハ一兩月モ後ル、トアリヤ否ヤヲ取扱役ニ質問シ尙實際遞送ノ遲速ヲ視察スヘシ其遲達支障アルモノハ事由詳細本局ヘ報告スヘキ事

第五十五條 郵便切手封皮等買下代後金納局ノ郵便切手及ヒ封皮葉書ノ查算ハ現枚數ト賣下金トヲ算シ前月勘定表區切りノ殘高ヲ對照符合セルヤ否ヤヲ検査スヘシ若シ不足アルハ臨檢當日迄ニ賣下ケタルモノト見做シ其代金ヲ徴シ然ル後チ他ノ預金ト共ニ保存セシムヘシ  
若シ前項郵便切手封皮等ノ過數アルトキハ篤ト其事由ヲ取糺シ全ク帳簿ノ誤記或ハ違算等ニ出テタルモノハ將來ヲ警誡シテ取扱役ノ私物トナサシメ其旨本局ヘ報告スヘキ事

第五十六條 郵便切手封皮等ノ種類枚數不符合ノハ前條末項同様ニ事由取糺シ貸借ヨリ生スルモノハ其貸局ヘ同種類ノ現品ヲ以テ返付セシメ若シ連月差違ヲ生シ來リシモノナルハ過ヲ以テ不足ヲ填セシムル(壹錢一枚ヲ以テ二錢一枚ト見做シ二錢一枚ヲ以テ四錢一枚ト見做ノ類)ノ手續ニヨリ勘定表整理シ漸次現品ニ符合スヘキ旨教示スヘキ事

第五十七條 郵便切手及ヒ封皮葉書ハ前後金ニ拘ハラズ欠乏セルトキハ大ニ公私ノ不便ヲ醸スヘキヲ以テ臨檢ノ際必ス取調ヘ若シ賣下ニ差閤ユルト見認ムルハ至急ノ分ハ直チニ下渡願書認メサセ本任添書ヲナシ前金ハ最寄驛遞出張局後金ハ本局ヘ申出サスヘシ

前項後金ノ内葉書ノミハ神戶驛遞出張局ハ何レノ地タルヲ問ハス函館驛遞出張局ハ北海道ヲ限り之レヲ賣下ケシムヘキニヨリ其最寄ハ該局ヘ下渡方申出サシムヘシ  
若シ郵便切手封皮葉書缺乏シ目下賣下方ニ差閤ヘントスルハ最寄局ヨリ之レヲ借入シメ其貸借ノ

際ハ借局ヨリ貸局ヘ證書ヲ交付シ返辦ノ時ハ原ト借入タル同種類ノモノヲ以テスヘキ旨教示シ置クヘキ事

第五十八條 郵便局ノ經費金郵便切手封皮等買下代後金納ノ局及ヒ郵便爲替取開キナキ局ニ於テハ都テ前月ノ切手等賣下代金ヲ以テ當月ノ經費ニ充テシムルト雖モ之ニ不足ヲ來セル局及前金買下局又ハ爲替取開アル局ヘハ毎月若干ノ假渡金ヲ下付スル局アルニヨリ之ヲ合算シ經費ノ過不足ト當月仕拂ノ殘高ヲ檢シ併セテ來月分ノ假渡金既ニ受領シタルヤ否ヤヲ調査スヘシ但シ有餘金ノ納不納假渡金ノ著不著ハ各局主任或ハ代理者ノ申立ニ拘ハラズ其切符ヲ以テ證トスヘシ

前項殘金ノ差引方ハ先月ニ不足シ後月ニ有餘シ又ハ先月ニ有餘アリ後月ニ不足アル等ノ場合ニ於テハ其有餘不足ヲ差引勘定ヲ立ルコトヲ得ヘシ若シ右検査ノ際金員ニ不足アリタルハ事由ヲ取糺シ之ヲ補填セシメ其事由本局ヘ報告スヘキ事

第五十九條 前條當月ノ經費仕拂方ハ各局一樣ナラスト雖モ多クハ其月ノ初ニ於テ遞送人集配人等へ全月若クハ半箇月分ノ賃錢ヲ仕拂フアリ是等ハ一箇月若干ト其賃錢ヲ定メ受領タルモノニヨリ其既ニ排渡シタルモノハ正當ノ仕拂トナシ敢テ之ヲ咎メス其仕拂殘金ヲ檢スヘシ若シ其金員不足アリタルハ之ヲ補填セシメ又犯罪ノ廉ヲ以テ官金徵收ノ場合ニ於テハ遞送賃集配料トモ總テ日割ヲ以テ計算ヲ立ヘキ事

第六十條 郵便切手封皮等前金買下ノ郵便局ハ第五十七條ヲ除ク外別ニ切手等ノ取調ヲナスニ及ハス六箇月平均ノ賣下高ヲ查算スヘシ若シ每一箇月ノ切手等賣下高帳簿ニ記載ナキ局ハ必ス之レヲ記載シ置クヘキ旨告示スヘキ事

第三節 郵便爲替

第六十一條 爲替局ヘ出張スルハ先ツ資金過超金及ヒ爲替料等ノ現在金ヲ「テ」號帳ト照シテ查算シ違算不足等ナキヤ否ヤヲ檢シ次ニ「ロ」號爲替證書用紙ノ現在數ヲ番號ヲ追ヒ取調ヘ然後諸帳簿内譯ヲ詳查スヘキ事



但爲替掛屋ヲ置キタル地現在金検査方ハ直チニ掛屋へ出張出納帳ニ照シテ査算シ右畢テ爲替局へ出張「ロ」號證書用紙以下帳簿内譯詳査等本條ノ手續ニ依ルヘシ

第六十二條 爲替帳簿ノ査算ハ前區切翌日ヨリ臨檢當日迄トス若シ異狀違算ノ「ア」リト思慮シタル場合ニ於テハ其區切り前ニ溯リ詳細事由ヲ調査シ本局ニ報告スヘキ事

第六十三條 前條若シ違算不足アリタルハ速ニ缺額補填ヲ命シ完全ナラシメ其事狀ハ本局ニ報告スヘキ事

第六十四條 爲替用帳簿及ヒ爲替用各種ノ式紙ハ「イ」號爲替願書「ロ」號爲替證書報告書「ハ」號爲替振出帳「ニ」號掛合書「ホ」號第二報知書「ヘ」號爲替振出届書「ト」號報知書収戻掛合書「リ」號報知書記入帳「ヌ」號爲替拂渡届書「ワ」號爲替金精算表「ツ」號期限過報知書添書「マ」號爲替計算報告書「エ」號爲替拂渡帳「テ」號爲替金出納帳「ア」號爲替資金出納届書「キ」號立替金日計表トス其保存方不取締ナキヤ否ヤヲ視察スヘシ若シ不取締ナルハ之ヲ匡正セシムヘキ事

第六十五條 爲替過超金納期ヲ愆リシ「ナ」キヤ否ヤ取扱役ノ申立ニ拘ハラズ管廳或ハ通運會社ノ受領書又ハ其府縣爲替方證明書ニ就テ檢閱スヘシ若シ之ヲ愆リシモノアルハ速ニ上納セシメ其願末本局へ報告スヘキ事

但過超金額ハ其月ノ爲替料ヲモ算入スルモノトス

第六十六條 爲替現在金或ハ爲替拂渡多クシテ不足トナリタル金額計算ノ當否其他過超金縣納自金立替下渡金ノ有無等出納ノ正否ヲ檢査スヘシ其正否ヲ檢査スルニハ都テ「テ」號出納帳ヲ以テ本トシ其受拂ハ「ハ」號「エ」號帳過超金縣納シタルヤ否ヤハ縣廳或ハ通運會社ノ受領證又ハ府縣爲替方ノ證明書ニ對照スヘシ若シ符合セサルハ更正方ヲ命シ完全ナラシメ其事狀本局へ報告スヘキ事

第六十七條 「テ」號出納帳ハ爲替事務上日々ノ計算ヲ括約スルニ供スル最モ緊要ノ帳簿ナルニヨリ檢査上整頓異狀ナキハ「テ」號帳最後ノ日計殘高ノ欄掛屋アルハ通帳ニ檢印シ其整頓ヲ表スヘシ若シ檢査ノ際式ノ如クナラス又誤記アルハ之ヲ匡正セシメ又謄記ヲ怠リタルモノハ之ヲ填記セシメ然ル後

其整頓ヲ認メ同上ノ部ニ檢印スヘキ事

第六十八條 爲替金拂渡多キ局ニ於テ資金受取方遲延スルハ受取人ノ迷惑ヲ生スルニヨリ常ニ報知書ノ金高注目シ拂渡金不足スヘクト見認ムルハ資金受取方速ニ管轄廳ニ申出ツヘク旨告示スヘキ事

第六十九條 資金缺乏及ヒ立替金下渡ノ「ハ」本局爲替課及ヒ縣廳ヨリ通運會社便ニ付シ各局へ回金延著ナキヤ否ヤ各爲替局ニ備置タル證書等ニ就キ檢査スヘシ若シ延著差問アリタルハ其旨本局ニ報告スヘキ事

第七十條 郵便爲替取扱役及ヒ掛屋ヨリ差出シアル身元保證品及ヒ抵當品地所家屋等ハ間接ニ之ヲ探偵シ不當ノ價格ト見認ムヘキモノアルハ引替方管廳へ稟議シ其旨本局ニ報告スヘキ事

第七十一條 通運會社出張所及ヒ分社等ノ爲替金納收ヲ取扱フモノニ於テ其納收ヲ怠ル等ノ聞ハアルハ其社へ出張其取扱方ヲ取調ヘ事狀本局へ報告スヘキ事

但本條ハ本編第一章第五十四條ニモ亦タ適用スヘシ

第七十二條 郵便爲替局ニ於テ空券ヲ振出シ官金ヲ私借濫用スルモノアルニ依リ臨檢ノ「ハ」諸帳簿點檢ノ際其金額振出し及ヒ拂渡ノ景況若クハ爲替振出人及ヒ受取人ノ住所氏名等ニ注意シ若シ同人ニテ屢大金ヲ同所同人等へ振出し或ハ受取り又ハ過超金縣納前ニ至リ常ニ振出し或ハ拂渡ノ金高多キヲ致シ其他種々ノ事情ヨリ疑フヘキ所爲アルモノ等ニ最モ注意監察スヘシ若シ是等ノ不正ノ所爲アリト視察シタルハ「ハ」嚴密ニ之ヲ探偵シ發覺シタルハ次條ノ手續ニ依リ取扱フヘキ事

第七十三條 郵便爲替取扱役及ヒ掛屋郵便爲替上ニ係ル金員ヲ私借濫用シタルモノ發覺シタルハ又ハ私借濫用アリト認メタルハ直チニ之ニ關スル一切ノ現在金ヲ差押ヘ不足金額ハ務メテ官損ナカラシムルヲ主要トシ本人又ハ身元引受人ニ督促シ辨償セシムヘシ其辨償シタル金員及ヒ差押ヘタル金員ハ監察掛之ヲ引上ケタルノ證トシテ其金額ヲ明記シタル證書ヲ本人ニ交付シ引上ケタル所ノ金員ハ本人又ハ身元引受人立會ノ上之ヲ一時其身元引受人或ハ郡區戸長へ預クヘシ其預ケタルハ「ハ」驛遞



局宛ノ預證書ヲ受取リ置キ其事狀ヲ本局ニ報告スヘシ此場合ニ於テ第四章犯罪者取扱規則ニ據リ其管轄府縣廳ニ照會シ驛遞掛官ノ出張ヲ求メ金員ヲ引繼キ其領收證書ヲ受クヘキ事

第七十四條 若シ前條辨償金ヲ速ニ爲シ能ハサルハ本編第四章犯罪者取扱規則ニ準據シ處分スヘシ此場合ニ於テハ犯罪者及ヒ之ニ關係ノモノ逃亡ノ憂ナキ様注意スヘシ若シ逃亡ノ恐れアルハ第四章第百十五條ノ手續ニ依ルヘキ事

第七十五條 前第七十三條第七十四條ノ場合ニ於テハ爲替振出方ハ一時之ヲ停止シ局前ヘ其旨揭示シ拂渡ハ身元引受人或ハ掛屋ヲ立會ハセ之ヲ取扱ヒ前後ノ處分ハ出張ノ縣官ト協議取扱フヘキ事  
前項拂渡金ハ曩キニ身元引受人或ハ郡區戸長ヘ預ケタル金額ノ内ヲ以テ拂出スヘキ事

第四節 驛遞局貯金

第七十六條 貯金預リ簿ニ記載セシ金額ト實際預リタル金額ト符合スルヤ又納附金延滞ナキヤ否ヤヲ「ハ」號爲替振出帳若シハ貯金納付證明書ニ就テ検査シ正當ナルハ臨檢前日ノ合計ニ檢印スヘシ或ハ誤謬違算等アルモノハ之ヲ正誤セシムヘシ若シ不正ノ所爲アリタルハ第七十三條第七十四條ヲ適用スヘシ

但七十三條ノ管轄府縣廳ニ照會驛遞掛官ノ出張ヲ求ムルニ及ハス

貯金預所ノ帳簿ハ貯金預簿拂渡簿用紙ハ事務順序第三十四條ニ掲ケタルモノトス其用紙ノ員數充分ナルヤ否ヤヲ調ヘ若シ不充分ト認ムルハ之ヲ本局ニ請求セシムヘキ事

第七十七條 貯金拂渡簿并ニ拂戻報知書ヲ調ヘ未拂ノ分ハ之ニ當ル金高ノ現在スルヤ否ヤヲ検査スヘシ若シ不都合ノ所爲アルハ前條ノ手續ニ據ルヘキ事

但郵便條例第百八十二條ノ期限ヲ經過シタルモノアルハ直ニ右報知書及ヒ拂戻金ヲ本局ニ納付セシムヘシ

第七十八條 貯金通帳ハ臨檢前日ノ現在數ヲ調ヘ其番號既ニ渡シタル通帳ノ番號順ナルヤ否ヤヲ検査スヘシ若シ右番號ノ順序合サルハ其事由ヲ本局ニ報告スヘキ事

第七十九條 貯金預所ニ於テ其預リタル金員ヲ私融スル等ノ疑ヒアルハ貯金預簿ニ依リ預ケ人并ニ金高等ヲ披記シ其預ケ人ニ就キ試尋スヘシ若シ不正ノ所爲アリタルハ第七十六條ノ手續ニ據ルヘキ事

第八十條 貯金預所ニ於テ其事務ヲ等閑ニ付シ注意セサルモノアルトキハ臨檢ノ時々懇諭獎勵スヘシ又貯金預所ニシテ驛遞局外ノ貯金預リヲ營業シ專ラ私利ヲ計ルモノナキヤ否ヤヲ視察スヘシ若シ是等ノ所爲アリト認メタルモノハ其事情ヲ本局ニ報告スヘキ事

第二章 驛遞出張局検査

第八十一條 驛遞出張局ヲ検査スルハ當該局長ニ検査スヘキ旨ヲ告ケ然ル後局長若クハ代理人ノ立會ヲ求メ其検査スヘキ事件主務ノ局員ニ就キ又ハ之ヲ招集シ檢閲スヘキ事

第八十二條 驛遞出張局ノ検査ハ晝間ニ於テシ休暇日并ニ夜間ニ爲スヘカラサル事  
但臨時異狀ノ事ニ依リ特ニ検査ヲ要スル場合ハ休暇日夜間ト雖モ検査スヘシ又休暇前日ヨリ検査ニ著手シ之ヲ終ラサルハ休暇日ト雖モ検査スヘシ

第八十三條 第十六條第十八條第二十條第二十一條第二十四條ノ規則ハ驛遞出張局ノ検査ニモ亦適用スヘキ事

第八十四條 驛遞出張局ノ検査ハ左ノ事件トス

- 一局内事務ノ整否
- 一局務分課ノ狀
- 一每掛ノ人員
- 一集配人及ヒ脚夫ノ勤惰
- 一郵便物遞送集配ノ實況
- 一金錢ノ出納
- 一郵便切手封皮葉書ノ出納



一各地郵便局郵便受取所及郵便切手賣下所へ賣下切手等六箇月平均數  
 但神戸及ヒ函館ノ兩驛遞出張局ハ葉書ノミ後金賣下許可シアルニヨリ此六箇月賣下高平均モ  
 取調フヘシ

一市内郵便局郵便受取所及ヒ市内切手賣下所同上

一其検査ヲ爲ス出張局ノ前二項ノ外自局ヨリ直チニ賣下タル切手等同上

一差立郵便物數同上

但書狀書留郵便物別配達郵便物及ヒ二種三種郵便物ヲ分ツヘシ

一繼續郵便物數同上

一配達郵便物數同上

一集信人現員

一配達人現員

第八十五條 検査スヘキ金員ノ種類ハ左ノ如シ各其種類帳簿ニ對照シ查算スヘキ事

一定額金

一郵便經費金集配人給 書記給 脚夫給 船運賃

一郵便切手葉書封皮帶紙賣下代金

第八十六條 郵便切手封皮等ノ検査ハ其種類毎ニ前月殘枚數并ニ本局下渡ノ數ト各郵便局切手賣下所  
 及ヒ其本局賣下ノ數トヲ帳簿ニ照シテ加除シ臨檢當日現殘枚數ノ確否ヲ認ムヘキ事

第八十七條 諸物品ノ検査ハ不消耗品ノミ帳簿ニ照シテ査閱スヘキ事

第八十八條 前條諸帳簿ノ検査ハ正當ノ證書ニ依リ其確否ヲ認ムヘキ事

第八十九條 郵便爲替驛遞局貯金ノ検査其他本章ニ掲ケサル局中一切ノ検査ハ各郵便局同様ノ手續ニ  
 準據シ検査スヘキ事

第九十條 市内分支局ノ検査ハ各地郵便局ノ検査手續ニ準據シ検査スヘキ事

第九十一條 前條々ニ掲ケル事件其他事件ノ異狀ニ屬スルモノハ其顛末詳細本局ニ報告スヘキ事

第九十二條 凡ソ検査上ニ於テ質問疑議アルハ主任官ノ説明ヲ求メ猶了解スヘカラサルハ局長ノ  
 説明ヲ受クヘシ若シ主任ノ局員疎虞怠慢又ハ不當不正犯罪ノ所爲ヲ發見シ若クハ之レアリト思量シ  
 タルハ之ヲ東京ハ調整課長ニ報告シ其處分ノ指揮ヲ受ケ其他各地ハ其在勤局長ニ引渡シ然ル後其  
 事狀本局ヘ報告スヘシ若シ局長其處分ヲナサ、ルハ又ハ局長ニ於テ同上ノ所爲アリタルハ直チニ  
 本局ニ彈劾スヘシ

第三章 事業ノ巡視

第一節 通則

第九十三條 事業ノ巡視ハ凡ソ郵便實施上ニ係ル便否及ヒ郵便ニ係ル非違犯者ヲ檢視監察スルヲ目的  
 トシ主任地方監察區内ヲ巡視スヘキ事

第二節 郵便局并ニ郵便函場切手賣下所

第九十四條 郵便局等ノ配置ハ其地方ノ情況出信人ノ便利又ハ線路ノ布設ニ對シ不適當ナキヤ否ヲ視  
 察スヘシ其開設ヲ必要ト認ムルハ土地人口農工商ノ景況物産ノ多寡通路ノ模様及ヒ同上ノ景況及  
 ヒ前三箇月間發著郵便物數并ニ切手賣下高等取調各其事由本局ヘ報告スヘキ事

第九十五條 郵便函場并ニ郵便切手賣下所配置モ前條ニ準據視察スヘシ其開廢ヲ要スル場合ノ取調方  
 モ前條ニ準據スヘキ事

第三節 郵便線路

第九十六條 郵便線路ハ大線中線(本道)小線(支道)ノ三線ニ分チ大線ハ郵便線路ノ大氣脈中線ハ之ニ  
 次ク要路ノ布線小線ハ之カ支脈ニシテ各相待テ之カ用ヲナスモノニヨリ布置適當ナラサルモノアル  
 ハ多少ノ不便ヲ免カレサルニヨリ其幹枝大小各線ノ布置實地ノ適否ヲ視察スヘシ其適否ハ郵便物  
 遞送ノ便否ニ關スルニヨリ苟モ新線ヲ開通シ舊線ヲ廢閉シ若クハ變換ヲナシ其改良ヲ要スヘキ線路  
 アルハ其線路關係ノ便否得失及ヒ道路ノ難易里程并ニ遞送方法遞送賃等詳細取調事由本局ニ報告



スヘキ事

第九十七條 線路ハ一線脈ニシテ兩線ニ連亘シ甲縣下ハ毎日便乙縣下ハ隔日若クハ定日便又兩縣ニ貫通スル道路ニシテ甲縣下ハ開線シ乙縣下ハ之ヲ開通セサル等ノモノアリ此等ハ實地ヲ取調其便否得失ヲ考案シ修正ヲ要スヘキ事ハ其事情本局ニ報告スヘキ事

第九十八條 線路ハ其道路ノ難易并ニ渡船橋梁及ヒ川支ノ有無其川支アルモノハ一箇年間其概度數等郵便物遞送上ニ關係アル事故ハ巡回見聞シ事情本局ニ報告スヘキ事

第四節 遞送方法

第九十九條 郵便物遞送方法大中線ハ別ニ定メタル例規ニ依リ小線ハ成ルヘク交換ヲ主トシ其他持戻法等ヲ以テ發局歸局ノ時限ヲシテ大線若クハ中小線及ヒ隣線ノ小線等ヘ結束スルノ方法ヲ規畫シ施行セリ其方法實施ノ便否得失ヲ視察スヘシ其修正ヲ要スルハ事情本局ニ報告スヘキ事

第一百條 前條ノ適否得失ハ郵便物送達ノ遲速本局經費ノ増減ヲ致シ又遞送ニ要スル經費ハ郵便事業中ノ最多額ヲ占ムルモノニヨリ其影響スル所甚タ大ナルヲ以テ最モ其適否得失ヲ視察スヘシ決シテ忽諸ニスヘカラス苟モ其改良ヲ要スヘキモノト認メタルモノアルハ道路ノ難易郵便物ノ員數遞送ノ遲速經費ノ増減(遞送賃一里當額)等其之レカ改良ニ要スル諸般ノ便否得失ノ事由方法詳細取調本局ニ報告スヘキ事

第一百一條 遞送ハ脚夫遞送又ハ船舶遞送馬車人車遞送ニシテ各其方法ノ規定アリ其遞送ハ各携帶郵便物ノ貫目及ヒ履行速度一定ノ規則アリ各其規程ニ適遵セルヤ否ヲ監察スヘシ若シ遞送人服役途中ニ休憩シ又ハ自己ノ必需ナル行脚草鞋衣服ノ外荷物ヲ郵便物ニ附帶シ若クハ其車馬ニ通行人ヲ乘載シ或ハ途上ニ於テ私カニ郵便物ヲ交換遞送シ其他怠慢不當ノ所爲アリ總テ遞送遲延ノ弊害アルハ之ヲ督促シ服役ニ從事セシムルハ勿論時宜ニヨリ其遞送ノ請負人ニ就キ其事由ヲ取糾シ其遞送人ヲ變換セシメ事由本局ニ報告スヘシ若シ遞送中病氣其他不得止事狀ニテ遞送シ能ハサル場合ニ於テハ代人ヲ雇ヒ之ヲ代送セシメ遲滞ナカラシムヘキ事

第一百二條 船便アル地ハ郵便物ノ陸送ヲ船送ニ改メ及ヒ郵便物二荷以上毎日遞送スル線路ノ車馬通行スル道路ニ係ル遞送ハ脚夫遞送ヲ車送ニ變換シ遞送速度ヲ進メ其賃錢ヲ節減セントスルヲ以テ其場所ハ郵便物毎三箇月平均數及ヒ脚夫賃車送賃増減速度ノ遲速等詳細取調事狀本局ニ報告スヘキ事

第一百三條 前條船便又ハ車送ヲ開カントスル場所ノ内道路ノ難易又ハ遞送郵便物ノ多寡等ニ依リ上リ便ハ舊ニ据置キ下リ便ノミ車送ニ改定スル等素ヨリ妨ケナキヲ以テ車送ノ速度脚夫遞送ヨリ遲延ナラスシテ苟モ經費ヲ節減スルノ見込アル場所ハ車送ニ改定方前條ニ由リ取調フヘキ事

第一百四條 大中小線交互ノ繼越スヘキ郵便物ハ發着時間ノ適スルト否トニ依リ毎日便ノ地ト雖モ差立ノ時限ニ依リ其郵便物ヲシテ其發局ニ空シク一泊セシメ又隔日便ハ三日間モ流滯スル等ノ慮アリ是等ハ其發着時間ヲ詳量シ大中線郵便物發着時間ニ照シ小線ノ差立時限能ク適合セルヤ否ヤヲ考案スヘシ若シ不適當ナルハ其改正スヘキ方法詳細取調事情本局ニ報告スヘキ事

第一百五條 郵便物遞送道路ノ險惡ニヨリ定則ノ速度ヲ履行シ能ハサル場合ニ於テハ適當ノ猶豫時間ヲ與フルニヨリ其既ニ與ヘタルモノハ其適否未タ與ヘサルモノハ現況ヲ酌量シ意見本局ニ報告スヘキ事

第一百六條 郵便物遞送賃ハ甲乙地間里程ニ拘ハラズ何程又ハ其里程ニ應シ一里何程其賃額ハ本賃額何程ニシテ之ニ當分割増及歸便賃若干ト分別シ定メタルアリ又否ラサルアリ各地其場所ニ依リ定約アリ其現在支給額ハ其定約ニ差違ナキヤ否ヤヲ検査シ又其賃錢ハ其地方ノ人足賃ノ割合ニ比較シ又ハ近傍各線ノ權衡ヲ酌量シ適當ナルヤ否ヤヲ考案シ若シ不適當ナルハ其割合方取調事情本局ニ報告スヘキ事

第一百七條 運輸飛脚又ハ馬車屋ト稱スル營業ノモノ其他何人ヲ問ハス郵便條例ニ違犯シ窃ニ信書ヲ取扱ヒ又渡船人郵便物ノ渡津ヲ怠慢遲緩シタル等郵便條例ニ違犯シ其他郵便ニ係ル犯罪ノ所爲ヲ見聞シタルトハ速ニ之ヲ取調願末詳細本局ニ報告スヘシ但其現行犯ニ係ルモノハ本編第四章犯罪者取扱ノ手續ニ據リ處分スヘキ事



第五節 交換方法

第百八條 郵便物交換法ハ毎日二方若クハ數方又ハ丁日ハ二方半日ハ數方ノ各便定日ヲ期シ同地ニ出會シテ郵便物ヲ交換シ持戻ル方法ニシテ各線路遞送方法ニ循ヒ各局其時間并ニ一月間便數ノ定則アリ其定則ニ適應シ各便定期ニ會合シ彼是遲速スルナキヤ否ヤヲ監察スヘシ若シ其會合時期齟齬シ一便ハ先著シ他便ハ數時間ヲ隔テ後著スル等ノコアルトハ其後著ハ遞送人怠慢ニシテ遲緩スルカ將タ道路ノ難惡又ハ方法ノ不便ニ由ルヤ否ヤヲ檢案シ脚夫等ノ怠慢ニ由ルトハ本編第三章第百一條ノ手續ニ依リ若シ其道路險惡ノ爲メ又ハ其方法不便ナルトキハ其改正方ノ事由ヲ詳細取調本局ニ報告スヘキ事

但交換ハ本道便ノ發著ヲ基本トシ支道便ノ結合ヲ謀ルモノトス

第百九條 交換ヲ施行スヘキ郵便局ニハ其相當ノ交換手當ヲ支給ス其額ハ別ニ規定アリ現在支給額ハ其規定ニ適應スルヤ否ヤヲ檢査スヘシ其不適當ナルトキハ事由本局ニ報告スヘキ事

第六節 集配方法

第百十條 集配ハ左ニ掲クル三等ノ方法ニ大別ス

但約束郵便實施ノ府縣ハ市内外ヲ間ハス一日一回若クハ隔日一回ノ定期集配ヲナスヘキニヨリ此限ニアラス

一 一等集配ハ驛遞出張局地縣廳所在地其他大市ノ地ニ於テ集信配達ノ時間ヲ定メ市内一日二回以上集配スルモノ

但市外ハ一日一回以上ノ集配トス

一 二等集配ハ一等地ヲ除クノ外繁盛ナル町村ニ於テ集信配達ノ時間ヲ定メ市内一日一回集配スルモノ

但市外ハ一日一回ノ集配トシ時限ヲ定メス

一 三等集配ハ僻地限邑ノ地ニ於テ集信配達ノ時限ヲ定メ市内一日一回集配スルモノ

但市外ハ其遠近ニ依リ凡ソ一里以内ハ即日二里以内ハ翌日三里以外ハ三日目又ハ幸便ヲ以テ配達スルモノ

第百十一條 前條ノ方法并ニ集配受持區域ハ每郵便局ニ之ヲ定メ施行セシム其方法并ニ區域ハ其地方ノ實際ニ徴シ便否如何ヲ視察スヘシ若シ不便ナルトハ事情取調ヘ本局ニ報告スヘキ事

第百十二條 前條ノ方法并ニ區域不便ニシテ集配度數ヲ増加シ又ハ其區域ヲ組替ル等實地ノ便宜ヲ謀リ其改正ヲ要スルトハ其地況并ニ區域函場數其集配郵便物數并ニ隣局ノ距離等ヲ取調其集配度數ノ増加數又ハ區域組替ノ町村名及ヒ其集配料増減金額ヲ本局ニ報告スヘシ特ニ約束郵便法ヲ施行スル府縣ニ在テハ最モ本條ノ事件ニ注意取調フヘキ事

第百十三條 集配料ハ大抵每郵便局集配料何程ト定メ受負ハシメ其受負ハシムヘカラサルモノ(即チ新置局等ニテ其受負ヲ定ムヘキ比準ナキモノ)ハ郵便物一通當リヲ以テ支給ス其額ハ實地集配ノ現況ニ於テ適當スルヤ又ハ最寄郵便局ト其割合懸隔大差ナキヤ否ヤヲ視察スヘシ不適當ト認ムルトハ其事狀及ヒ其増減ヲ要スル金額取調本局ヘ報告スヘキ事

第四章 犯罪者取扱

第百十四條 監察掛其職務ヲ行フニヨリ何人ニ限ラス郵便ニ係ル犯罪アルコトヲ認知シ又ハ犯罪アリト思量シタルトハ成ルヘク其證據及ヒ事實ノ參考トナルヘキ事物ヲ添ヘ至急其事由ヲ本局ニ報告シ指揮ヲ乞フヘキ事

第百十五條 前條重罪輕罪ノ現行犯罪者アルトハ治罪法第百五條ニ據リ直チニ被告人ヲ逮捕シ同第百六條ニ據リ之ヲ司法警察官ニ引致シ又ハ假ニ巡查ニ引渡スヘシ其假ニ巡查ニ引渡シタルトハ速ニ同第百九十六條ノ手續ニ據リ檢事ニ告發スヘシ

違警罪ノ現行犯者ナルトハ之ヲ逮捕スルヲ得ス其場合ニ於テハ治罪法第九十六條ニ循ヒ直チニ檢察官ニ告發スヘシ

前項告發シタル場合ニ於テハ速ニ告發書ノ寫ヲ添ヘ事狀詳細本局ヘ報告スヘキ事



但重罪輕罪違警罪ノ別ハ刑法ニ從ヒ現行犯罪トハ治罪法ノ制ニ循フヘシ

第百十六條 郵便ニ係ル犯罪者ノ内郵便ノ事務ヲ報スルモノ犯罪ノ所爲アルコトヲ認知シ又ハ犯罪アリト思量シ前第百十四條ニ據リ處分ヲナスヘキニ當リ犯罪者當該郵便局詰主任ノ郵便取扱役又貯金預所主任ノモノニシテ所犯情狀一日モ其職ニ從事セシムヘカラスト思量スルモノハ直チニ其服務ヲ差止メ假リニ適當ノモノヲ選ヒ事務取扱ハセ若クハ自カラ其事務ヲ調理シテ差岡ナカラシメ直チニ其事狀本局ニ具シ指揮ヲ請ヒ及ヒ之ヲ其管轄府縣廳ニ通知シ府縣官ノ出張ヲ求メ其出張ノ上ハ之レト稟議シ便宜處分スヘシ

犯罪者主任ノ郵便取扱役ニアラスシテ其以下取扱役書記其他所屬ノモノニシテ郵便ノ事務ヲ奉スルモノナルハ其局主任ヲシテ之レカ職務ニ從事スルヲ差止メシメ其事狀ヲ其局主任ノ郵便取扱役ト連署本局ニ報告シ指揮ヲ請フヘシ

前項ノ犯罪者ト雖モ前第百十五條ノ場合ニ於テハ其手續ニ從ヒ處分スルハ勿論タルヘキ事

第百十七條 本章ノ處分ニ臨ンテハ最モ公平實直ニシテ事件ヲ調理スル慎重綿密ヲ主トシテ苟モ疎漏後患ノコナキヲ要スヘキ事

第五章 報告書

第百十八條 監察掛ノ報告又ハ建議ノ書面ハ總テ報告書ト稱シ其報告書ハ通常臨時ノ二種ニ分チ通常報告ハ別紙雛形ノ野表ニ郵便局検査其他本表中名稱ノ事件ヲ記入ス臨時報告ハ通常野紙ニ通常報告ニ記入セサル他ノ事件ヲ記載シ臨時ニ報告スルモノト定ムヘキ事

第百十九條 通常報告ハ毎月五回即チ一日ヨリ六日迄七日ヨリ十二日迄十三日ヨリ十八日迄十九日ヨリ二十四日迄二十五日ヨリ其月盡日迄ヲ一期トシテ差出スヘキ事

但巡回ノ最初并ニ最終ハ假令日數充タサルモ本條ノ期ニ區切り編製スヘシ

報告表ハ本條期日終リノ日ヨリ二日目迄ニ差立ツヘシ

第百二十條 臨時報告ハ差出方ノ期日ナシト雖モ其事件ニ對シ遲緩ナラサルヲ要ス又臨時報告書ハ成

ヘク其事件毎トニ分別シ本局各課處分上ノ便宜ヲ計ルヘキ事

第百二十一條 報告書ハ事ノ大小ヲ問ハス成ルヘク其要ヲ悉スヘシ若或ハ取調ノ稠密ナラス又ハ關係者ノ書類等不齊備ナルハ報告ノ効ヲ缺キ或ハ全ク無効ニ歸スル等アリ右等厚ク注意スヘキ事

第百二十二條 凡ソ異狀ノ監察事件ニシテ追テ何分ノ處分ヲ要スヘク見認ムルモノハ成ルヘク取扱役等其事ニ關係アルモノヨリ證據又ハ事實ノ參考タルヘキ書面ヲ取り報告書ニ添テ差出スヘキ事

第百二十三條 前條ニ掲ケタル報告表ノ外別紙雛形ニ倣ヒ考課表ヲ差出スヘシ其考課表ニハ本任事務從事ノ概況一箇月分ヲ摘録シ翌月五日迄ニ本局ニ差出スヘキ事

第百二十四條 報告書其他本局ヘ差出ス文書ハ總テ中央監察部ニ向ケ郵致スヘキ事

第百二十五條 報告書其他監察事務ニ依リ往復ノ文書ハ免稅郵便ヲ以テ差出スヘキ事

第六章 附則

第百二十六條 監察掛巡檢一日ノ課程ハ種々ノ景況事件ノ多寡ニ依リ豫定スヘカラスト雖モ大概其巡檢時間ハ四月一日ヨリ九月三十日マテハ十時間十月一日ヨリ三月三十一日マテハ八時間ト定メ郵便局ノ検査時間ヲ二時トシ一里行ヲ一時間トシ(例スルニ短日ニ三郵便局ヲ檢セハ二里ヲ歩シ長日ニ二郵便局ヲ檢セハ行程ヲ六里トスルノ類)ヲ以テ一日ノ課程トナスヘキ事

但爲替局ノ検査出局初度ハ六時間其餘ハ三時間ヲ以テ標準トスヘシ

第百二十七條 巡回ノ方位ハ豫定スルコト能ハスト雖モ本局ヨリ達スヘキ公書ヲ速カニ受領セラルヘキ爲メ時々其受付クヘキ便宜ノ郵便局ヲ指定シ豫メ中央監察部ニ報告シ置ヘキ事

第百二十八條 巡回中疾病其他事故アリテ滞在スルハ其旨考課表ニ附記シ届出ヘキハ勿論若シ病痾一週間ニ至リ尙癒サルハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出ヘキ事

第百二十九條 派出旅費及ヒ滞在日當ハ本局別段ノ定則ニヨリ支給スヘキ事

第百三十條 晝夜急行旅費ハ一般ノ規則ニ依リ支給ス其急行ハ臨時本局ヨリ命シタルハ又巡回中大



至急ノ事變アリシ時ニ限ルヘキ事

但急行ハ電信分局在地ニ在テハ電報ヲ以テ届出テ若シ之レナキ地ハ速ニ郵便ヲ以テ其事由ヲ届出  
又巡回中一日十一里以上直行スルハ之ヲ要スル旨趣ヲ届出ヘシ

第三百一十一條 本局ヨリ晝夜急行ヲ命スルハ必ス「急行」ヲ以テ云々「ト達スヘシ其餘「至急出張」「直チ  
ニ出張等」ト達アルモ晝夜急行ノ例ニ非スト心得ヘキ事

第三百一十二條 電信料并ニ用紙筆墨其他官用品買上代ハ一箇月毎ニ區切り毎種類金額取調受取證書添  
ヘ翌月五日限り下渡方本局ヘ申立ヘキ事

但適當ノ受取證書無之モノハ如何ナル事情アルモ其代價ヲ受取ヲ得ス郵便切手等ハ此限ニアラス

第三百一十三條 月給旅費并電信料及用紙筆墨其他官用品代價買上代金員受取方ハ都テ其任地ニ送致シ  
渡スヘシ若シ東京ニ於テ受取方ヲ請フモノハ其旨届出テ豫メ家族其他信任スヘキモノニ委任狀ヲ付  
シ之ヲ受取ラシムヘシ其人名印鑑等中央監察部及ヒ會計課ヘ差出置クヘキ事

第三百一十四條 郵便ニ係ル法律規則并治罪法其他本局一切ノ定例成規及本局各課事務取扱方等本任職  
務上支替誤謬等ソコナキタメニ豫メ取調承知シ置クヘキ事

第四編 遞送監察部

第一章 通則

第三百一十五條 遞送監察ハ主任ノ線路ニ係ル郵便遞送方ヲ監督シ之ヲ整肅ナラシメ并ニ遞送中ニ係ル  
郵便物ノ安全ヲ保護シ及ヒ遞送器械保存ノ取締并ニ郵便遞送人晝夜繼夜繼ノ別及ヒ遞送人夜増賃郵便  
物重量過買目ヲ調査スル目的ヲ以テ之カ一切ノ事件ヲ巡檢監察スヘキ事

第三百一十六條 巡檢ハ可成本任ノ所在ヲ郵便物遞送ニ關係アルモノヲシテ識ラシメス出沒隠顯シテ監  
察スヘキ事

第三百一十七條 遞送事務ヲ検査スルハ夜間ト雖モ之ヲ行フヘキ事

第三百一十八條 遞送事務ヲ検査シ其他非違犯者ヲ取調フルハ先ツ所持ノ印鑑ヲ其人ニ示シテ監察掛

タルヲ認メシムヘキ事

第三百一十九條 遞送監察部他管遞送監察部ニ交渉ノ事件ニヨリ取調ヲ要スルハ其部ノ本任ニ移シテ  
其取調ヲ求メ之カ處分ヲ終フヘシ若シ其事件緊要ノコニシテ自カラ他管ニ出張シ其事件ヲ調理スル  
コトヲ要スルハ事由ヲ具シ本局ヘ伺出許可ヲ請フヘキ事

第四百十條 第二十二條第二十三條第二十四條第二十五條第九十二條ノ規則ハ遞送監察ニモ亦適用ス  
ヘキ事

第二章 巡察

第四百一十一條 郵便物本線遞送法并郵便物發着開閉繼立立寄時間ハ各其定期アリ郵便取扱役等其事務  
取扱方規則ニ適順スルヤヲ監察スヘシ其甚シキ不適合ナルハ獨リ其本道遞送ノ遅延ヲナスノミナ  
ラス支線ノ發着及ヒ郵便物交換ノ時限ニ影響ヲ及ボシ或ハ數日間或ハ數日間ノ遅著ヲ生スル原因ト  
ナルヘキニヨリ其取扱方緩慢ノ所爲アルハ嚴ニ將來ヲ警戒シ注意セシメ其旨本局ニ報告スヘキ  
事

第四百一十二條 前條遞送方法實際施行上不便ナキヤ否ヲ監察スヘシ若シ不便アルト認メタルハ其事  
由改正方法取調本局ニ報告スヘキ事

第四百一十三條 郵便物繼送方ハ行李行囊添行囊及ヒ添行囊ニ入ルヘキ小行囊桐油荷棒并ニ郵便車等ノ  
器械各準備具足充實セサレハ多少ノ障害ヲナスヘキニヨリ其準備整理セルヤ否ヤヲ監察スヘシ若右  
器械不足或ハ毀損シ遞送上差問ノ憂アルハ其不足毀損等ノ原因ヲ取糺シ成規ノ通修繕又ハ新製或  
ハ引替若クハ下渡方本局ニ申立シメ猶其顛末本局ニ報告スヘキ事

第四百一十四條 郵便局備置キ時計ノ遅速ヲ検査シ之ヲ正當ナラシムヘシ或ハ郵便局ニ於テ定規速度ニ  
背戻センコトヲ恐レ或ハ自己ノ緩慢ヲ蔽ハンカ爲メニ時計ノ指針ヲ私ニ遅退スルコトアリ若シ右等ノ所  
爲アルハ直チニ之ヲ匡正セシメ其事狀本局ニ報告スヘキ事

第四百一十五條 郵便遞送ハ船車馬アリ各遞送ノ時限運歩速度ノ規定アルニヨリ平素特ニ注意シ其規定



ニ背戻スルコトナキヤ否ヤヲ監察スヘシ若シ遞送人服務中休止緩歩又自己ノ必需ナル行餉草鞋衣服ノ外ニ諸荷物ヲ郵便物ニ附帶シ若シクハ其車馬ニ通行人ヲ乗載シ或ハ私ニ郵便物ヲ途上ニ於テ交換遞送シ其他怠慢不當ノ所爲アリテ總テ遞送時間ノ遲緩ヲ生スルモノアルハ直チニ之ヲ督促シ服役ニ從事セシメ尙其遞送受負人ニ就テ將來ノ服役方ヲ嚴諭監督シ其情重キモノハ平生ノ行狀等間糺シ其職務ニ堪ヘサルト認定シタルハ遞送人ヲ變換セシメ其事由本局ニ報告スヘキ事

但途上ニ於テ脚夫等ヲ嚴責スルモ濫リニ其時間ヲ遲延セシムヘカラス又之ヲ取糺スルハ先ツ監察印鑑ヲ示スヘシ

第四百十六條 郵便遞送人ニシテ婦人其他羸弱ノモノ并ニ郵便馬車ニ駑馬ヲ使役スル等不合格ノモノアルハ其遞送受負人ヲシテ變換セシメ其事情本局ニ報告スヘキ事

第四百十七條 郵便遞送人途中罹病或ハ車輛ヲ損シ其他臨時非常ノ事ニ依リ遞送シ能ハサル場合ニ出會シタルハ直チニ其近傍ノ郵便局又ハ戸長等其便宜ニ任セ人夫ヲ雇ヒ或ハ車馬ヲ借り之ヲ代送セシムヘキ事

但臨時ニ人夫ヲ雇ヒ又車馬ヲ借りタル賃錢ハ其遞送先ノ郵便局ニテ仕拂ハシムヘシ其旨ハ證書ヲ以テ其局ニ通知スヘシ

第四百十八條 郵便物賊難或ハ非常ノ變災ニ罹リ途中ニ於テ之ヲ毀損又ハ紛失シタルコトアリタルハ晝夜ヲ間ハス其地最近ノ郵便取扱役ヲ同行シ其暇ナキハ其取扱役ニ現地出張スヘキ旨ヲ照會シ自己先ツ其地ニ到リ郵便物ヲ捜査シ拾集シ得タルモノハ其最寄ニ於テ人夫ヲ雇ヒ之ヲ遞送セシメ其賊難等ノ事情ハ速ニ本局ニ報告スヘキ事

但シ電信分局設置ノ地ハ直チニ電信ヲ以テ報告スヘシ

第四百十九條 郵便遞送人足痛其他發病風雨惡路川支等ヲ名トシ竊ニ郵便物遞送遲緩ノ責ヲ逃避セント謀ルモノアリ若シ是等ノ所爲アリト認メタルハ其事由其遞送人及遞送受負人ヲ取糺シ其情輕キモノハ將來ヲ警誡シ其情重キモノハ請負人ヲシテ其遞送人ヲ變換セシメ其旨本局ニ報告スヘキ事

第五百十條 遞送人正實ニ職務ヲ奉シ勉勵衆ニ超ヘ他ノ標準トナルヘキ披群ノモノアルハ其行狀ヲ具シ本局ニ報告スヘキ事

第五百十一條 郵便遞送人其他何人ヲ問ハス遞送中ニ係ル郵便物ヲ偽計又ハ威力ヲ以テ之ヲ妨害シ若クハ之ヲ阻止シタル場合ニ出會シタルハ先ツ其郵便物ノ保護ヲ計リ第四百十七條ノ手續ニ從ヒ處分スヘキ事

第五百十二條 郵便局ニ臨檢ノトハ發著簿及ヒ勘定表ニ就テ發著時間并晝繼夜繼又ハ量目ノ正確ナルヤ否ヤヲ監察スヘシ殊ニ夜増賃過買目ノ檢査ハ嚴密ヲ要ス或ハ其事實ヲ偽リ不正ノ賃錢ヲ貪ルモノアリ或ハ往復方法改正又ハ其他ノ事ニヨリ從前夜繼ノ場所晝繼ニ變シタルモ猶ホ從前ノ遞送夜増賃及ヒ夜中取扱手當ヲ受取リ或ハ遞送度數ノ内線路ノ支障ニテ其度數ヲ減シタルモ常度數ノ通り遞送賃ヲ受取ルモノアリ是等ノ所爲アリ又ハ其所爲アリト思料シタルハ最モ事情ヲ取糺シ其事狀本局ニ報告スヘキ事

第五百十三條 郵便明キ行李及ヒ行囊添行囊差立元ニ返却方規則アリ實際取扱方其規則ニ適順スルヤ否ヤヲ監察スヘシ往々之ヲ等閑ニ付シ返却ヲ怠リタルモノアリ又此行李行囊等取扱方疎略杜撰ニシテ破損紛失スルモノアリ其甚シキハ行李ノ紐又ハ桐油ヲ濫用スルニ至ルモノアリ是カ爲メ大ニ經費ヲ消耗スルニ依リ若シ是等ノ所爲アリシヲ認知シ行李行囊等ノ返却ヲ怠リタルハ之ヲ督促シ返却セシメ其紛失破損スルモノ又ハ濫用シタルモノアルハ事由ヲ取糺シ其事由ヲ本局ニ報告シ其取締ヲナスヘキ事

第五百十四條 本線遞送郵便物差立ノ定時限地方ノ實際ニ於テ不適當ナキヤ否ヤ又二便以上アル本線ニ於テハ前後兩便差立時限ノ時間接近シ又ハ前便ハ郵便物多ク後便ハ郵便物寡キカ爲メニ前後便合送ノ憂ナキヤ否ヤヲ監察スヘシ若シ此等ノ事アルハ其事狀取調改正意見本局ニ報告スヘキ事

第五百十五條 本線ニ付スル小線ノ結合ノ適否ヲ監察スヘシ大線ニ付結スル小線ハ大線便ニ從ヒ之カ發著時間ヲ規畫スルモノニヨリ其結合ノ爲メ大線遞送ニ不便アルハ又ハ大線遞送ノ支障ヲササルモ



小線發著時間ノ規定不適當ナルカ爲其遞送遲延スルノ憂アルハ事由詳細取調本局ニ報告スヘキ事  
第百五十六條 郵便局ノ位置ハ遞送人立寄ニ不便ニシテ遞送時間ヲ費スコナキヤ否ヤヲ監察スヘシ若シ不便ナルモノト認メタルハ其狀況取調本局ニ報告スヘキ事

第百五十七條 船便アル地ハ郵便物ノ陸送ヲ其船便ニヨリ之ヲ遞送セシメ又郵便物二荷以上毎日常日遞送スル線路ノ車馬通行スル道路ニ係ル遞送ハ脚夫遞送ヲ車送ニ變換シ遞送速度ヲ進メ其賃錢ヲ節減セントスルヲ以テ右等ノ場所ハ郵便物前三箇月平均數及脚夫賃船送賃車送賃速度遲速等詳細取調事狀本局ニ報告スヘキ事

第百五十八條 船送ヲ開カントスル場所及ヒ車送ヲ開カントスル場所ノ内道路ノ難易又ハ遞送スヘキ郵便物ノ多寡等ニ依リ上リ便ハ舊ニ据ヘ置キ下リ便ノミ船送車送ニ改ムル等素ヨリ妨ケナキヲ以テ其改ムヘキ船送車送ノ速度陸送脚夫遞送ヨリ遲延ナラスシテ苟モ經費ヲ節減スルノ見込アル場所ハ改定方前條ニ據リ取調フヘキ事

第百五十九條 道路險惡及ヒ渡津ノ場所ハ適當ノ遞送猶豫時間ヲ與フルニヨリ精細其實況ヲ調査スヘシ其調査ノ手續ハ坂路ノ緩急其昇降直道迂曲ノ別并ニ其概里程又平道タリ道路泥濘砂積等ニテ通行ニ妨ケアル地渡津場ニ於テハ片渡兩渡ノ別其片渡ナルハ其渡船人出張所ノ位置等道路ノ難易渡津ノ深淺便否ヲ調査シ若干ノ猶豫時間ヲ與フヘキヤ否ヤヲ見込詳細取調本局ニ報告スヘキ事  
但其渡船及ヒ橋梁ノ場所ハ川支有無ノ景況其川支一箇年間ノ概度數ヲ取調フヘシ

第百六十條 第三十條第三十二條第四十條第四十二條第四十三條第四十六條第五十條第八十一條第百四條第百六條第百七條第百九條ノ規則ハ遞送監察ニモ亦適用スヘキ事

第三章 犯罪者取扱

第百六十一條 凡ソ郵便ニ係ル犯罪者取扱方ハ第三編第四章犯罪者取扱規則ニ照シテ處分スヘキ事

第四章 報告書

第百六十二條 報告書ハ第三編第五章報告書ノ規則ニ據リ差出スヘキ事

第五章 附則

第百六十三條 巡回ノ課程ハ事務ノ都合ニ依リ豫定スヘカラスト雖モ大概平常ハ四月一日ヨリ九月三十一日マテハ十時間十月一日ヨリ三月三十一日迄ハ八時間トシ以テ一日ノ標準トスヘキ事

第百六十四條 第百二十七條第百二十八條第百二十九條第百三十條第百三十一條第百三十二條第百三十三條第百三十四條ノ規則ハ遞送監察ニモ亦適用スヘキ事

第五編 市内監察部

第一章 通則

第百六十五條 市内監察部ノ事務ハ之ヲ大別シテ局内監視市内監視ノ二トス其事務例規ハ各其條下ニ就テ領承スヘキ事

第百六十六條 市内監察部ハ事務執行上隱密ヲ旨トシ其從事ノ各件中變狀ノモノハ其事由ヲ具シ調整課長又ハ其在勤局長ニ申告シ指揮ヲ受クヘキ事

第百六十七條 郵便局員及ヒ集配人等故意ヲ以テ己レニ屬セサル郵便物ヲ開封シ又ハ毀損汚穢シ或ハ抑留隱匿拋棄シ若クハ之ヲ其人ニ屬セサルモノニ交付シ又ハ切手ヲ剝取其他郵便物若クハ其封中ノ物品ヲ盜取シ或ハ郵便受取人ヨリ酒代手數料等ヲ請ヒ受ル等郵便例違犯ノ所爲其他法ニ觸レ制ニ違フモノナキヤ特ニ注意取調フヘシ若シ右等ノモノ發覺スルハ東京ハ調整課長各地ハ其在勤局長ニ報告シ其處分ノ指揮ヲ受ケ直チニ其旨本局ニ報告スヘキ事

第百六十八條 局員故ヲニ貨幣封入郵便物ヲ脚夫ニ遞送セシメ郵便物ニ現金ヲ添ヘタルモノヲ其儘受付クル等違則ノ取扱ナキヤ否ヤヲ監察スヘシ若シ發見シタルハ前條ノ手續ニ倣ヒ處分スヘシ若シ誤テ本條ニ觸レタル所爲ハ之ヲ匡正スヘキ事

第百六十九條 集信人及配達人ハ其奉務規約及ヒ被服規則ニ服従スルヤ否ヤヲ監察スヘシ若シ違犯シタルモノアルヲ認メタルハ直チニ其違犯者ヨリ始末書ヲ取り東京ハ調整課長各地ハ其在勤局長ヘ申稟シ其處分ノ指揮ヲ乞フヘキ事



第七十條 集配人奉務ノ勤惰及ヒ其行爲ノ良否ヲ監察スヘシ其職務勉勵行爲善良衆ニ超ユルモノ及ヒ怠慢又ハ行狀不良ナリト認メタルモノアルハ詳細其事狀取調本局ニ報告スヘキ事

第七十一條 郵便局常務ノ検査ハ地方監察部ノ職務ニ屬スト雖モ金員及郵便切手等ノ検査ハ時々出張シテ之ヲナスヲ得其手續ハ地方監察部取扱方ニ準據スヘキ事

但金員及切手等検査ノ外常務ト雖モ異狀ノ事件ニヨリ取調ヲ必要トスル場合ハ之ヲ検査スルコトヲ得其手續ハ本條ニ同シ

第七十二條 市内監察部地方監察部遞送監察部及ヒ他局在勤ノ市内監察部ニ交渉ノ事件ニヨリ取調ヲ要スルハ之ヲ其部ノ本任ニ移シテ其取調ヲ求メ之カ願末ヲ終フヘシ若シ其事件至急ヲ要スル等ニテ自ラ他區ニ出張ヲ要スヘク見込ムハ東京ハ調整課長各地ハ其在勤局長へ稟シ其指揮ヲ受クヘキ事

但管外へ出張ノハ旅費日當ハ本局別段ニ定メタル規則ニ據リ支給スヘシ

第七十三條 郵便局東京ハ發内又ハ集配中郵便物紛失シタル等ノコトアルハ何レノ場合タルヲ問ハス郵便局ヲ搜查シ又ハ其郵便物取扱ニ關係アルモノヲ取糾シ之ヲ搜索スルコトヲ得但第六十七條ノ手續ニ依リ處分スヘシ若シ其事件重大ナルハ著手前ニモ事情ヲ報告スヘキ事

第七十四條 職務ニ要スル筆紙墨其他ノ需要品ハ東京ハ中央監察部各地ハ其在勤局ニ就キ受取ルヘキ事

第二章 局内監視

第七十五條 局内監視ハ發着部各掛員其他集配人等ノ法ニ觸レ制ニ違フモノナキヤ否ヤヲ監視スルヲ主的トシ之ニ從事スヘキ事

第七十六條 押印掛區分掛ノ事務取扱ヲ監視スヘシ其監視ハ最モ注目シ若シ郵便物へ押印杜撰脱漏又ハ區分ノ取殘シ或ハ散逸セルモノ其他總テ杜撰誤謬ノ所爲アルハ直チニ其掛員ニ告ケ之ヲ正サシムヘキ事

第七十七條 郵便物差立ノ時限前ニ當リ區分棚ヲ巡視スヘシ屢々其棚中ニアル郵便物ノ地名ヲ視其區分適當セルヤ否ヤヲ監視スヘシ若シ不當ノモノアルハ其掛員へ告ケ正誤セシムヘキ事

第七十八條 差立配達共郵便物ヲ區分スル場合ハ其掛員ノ舉動ニ注目シ不正ノ所爲ナキヤ否ヤヲ監察スヘシ若シ不正ノ所爲アリタルハ第六十七條ノ手續ニ據ルヘキ事

第七十九條 區分棚机案且其近傍及ヒ筐筒類ニ注目シ隱匿又ハ拋棄シタル郵便物ナキヤ否ヤヲ監視スヘシ若シ發見シタルハ之ヲ取糾シ其事狀本局ニ報告スヘキ事

第八十條 集配人小使ヲ監督シ其溜所等ニ於テ飲酒賭博喧嘩其他猥容亂行ノ弊ヲ豫防スヘシ若シ之ヲ犯スモノアルハ第六十七條ノ手續ニ據ルヘキ事

第八十一條 集配人整列式ヲナスハ之ニ立會ヒ之ヲ檢閲スヘシ犯罪ノ所爲又ハ官給ノ物品ヲ毀損シタルモノヲ發見シタルハ之ヲ取糾シ第六十七條ノ手續ニ據リ處分スヘキ事

但取調ヲ要スル場合ニハ集配人衣袴ノ「カクシ」ヲ點檢スヘシ

第八十二條 未タ整列式ヲ行ハサル所ニ於テハ集配人ノ出局或ハ歸局等ノ時期ニ於テ便宜検査スヘシ若シ犯罪ノ所爲又ハ官給ノ物品ヲ毀損シタルモノアルハ前條ノ手續ニ據リ處分スヘキ事

第八十三條 集信配達ノ實否遲速ヲ視察スル爲メ本局大阪京都橫濱神戸ハ一日五通宛其他ハ三通宛探偵狀ヲ發シ之ヲ試ムヘキ事

但本狀探偵狀ハ一箇月宛取纏メ本局へ送納スヘク又該狀ニ用ユル郵便切手ハ二箇月宛ヲ纏メ受取方本局中央監察部ニ申立ヘシ右探偵狀所用ノ控簿及ヒ切手出納簿ハ別紙雛形ニ準ヒ之ヲ調製シ一箇月分宛探偵狀送納ノ時之ヲ副フヘシ

第八十四條 發着各掛ノ諸器械使用方及ヒ保存方整理セルヤ否ヤヲ監視スヘシ若シ不整理ナルハ之ヲ掛員ニ告ケ整理セシムヘキ事

第八十五條 郵便物到着ノ後行李若クハ行囊内ニ郵便物ノ取殘シナキヤ否ヤヲ點檢スヘシ若シ取殘等アリタルハ其主任者ニ告ケ之ヲ取出サシメ其事由ヲ取糾スヘシ其故意又ハ怠慢ノ所爲ニ出タル



モノハ第三百三十七條ニ據リ處分スヘキ事  
第三百八十六條 晝夜共火盜難及ヒ局内外圍諸錠鎖ノ場所ニ注意シ不取締ノコナカラシムヘキ事

第三章 市内監視

第三百八十七條 市内ノ監視ハ擔當區域ヲ立テ市内外各所ニ在ル郵便函ノ順ヲ叙テス時ヲ定メス毎日巡回シテ其函中ニ在ル開函證印ヲ檢閲シ集信人ノ勤惰ヲ監視スヘキ事

第三百八十八條 前條開函證印其時間ニ適當スルハ別ニ取糺ヲ要セス若シ不適當ナルハ開函擔當ノ郵便局ノ發著課擔當ニ至リ其受持集配人ニ事由ヲ取糺シ第六十七條ニ據リ處分スヘキ事

第三百八十九條 郵便物配達方ヲ監視スヘシ其手續ハ其配達スヘキ郵便物區分ノ時或ハ日付印押捺ノ際其他然ルヘキ場合ニ於テ毎監察員三十通以上郵便物表書ノ住所氏名ヲ陰ニ拔記シ即日或ハ翌日其配達ノ家ニ就キ某ノ郵便物何時ニ達セシヤ否ヤヲ詳細ニ尋問スヘキ事

但東京ニ限り本文ノ書拔ハ發著課ニ於テコレヲナスヘキニヨリ該課ヨリ之ヲ受テ當務ニ從事スルモノトス

第三百九十條 前條訊問ノ際配達ノ時限適當セルハ別ニ取糺ヲ要セスト雖モ若シ未達又ハ遅延シタルハ其郵便物届先ノ家ニ乞ヒ未達ナルハ其旨遲達ナルハ何時配達セシ旨ノ書面ヲ得直チニ其配達擔當ノ郵便局ノ發著課擔當ニ至リ其受持配達人ニ事由ヲ取糺シ第六十七條ニ據リ處分スヘキ事

第三百九十一條 郵便物表書ノ記載方明瞭ナラス又ハ受取人轉居若クハ配達先詳ナラサル等ニヨリ配達人ニ取糺シ能ハサルハ其掛ノモノ之レカ取調ヲ附托シタルハ其居所ヲ搜索スヘシ其搜索シ得タルハ其掛ニ達シ能ハサリシ配達人ニ就テ達シ能ハサリシ事由ヲ糺問スヘシ若シ怠慢ニ出タルハ第三百六十七條ニ據リ處分スヘキ事

第三百九十二條 集配人及ヒ脚夫等若シ途上休憩立談又ハ緩歩ヲナス等怠慢ノ所爲アルモノハ其者ノ氏名并ニ衣服ノ番號等ヲ取糺シ然ル後疾歩職ヲ終フヘキ旨嚴示シ其職ヲ盡サシムヘシ其贖末ハ本局又ハ其在勤局長ニ報告スヘキ事

第三百九十三條 市内郵便局及ヒ郵便受取所切手賣下所開廢ヲ要スヘクト見込ミタルハ其事情ヲ本局ニ報告スヘキ事

第三百九十四條 郵便局郵便受取所郵便函配置場所其市街ニ適當セルヤ否ヤヲ視察スヘシ若シ不適當ト認ムルモノアルハ本局ニ報告スヘキ事

第三百九十五條 郵便物集配人受持區域ノ廣狹ニ失シ又ハ錯綜シ實際集配ニ不便ナキヤ否ヤヲ視察スヘシ若シ不便ナリト認メタルハ其組替方詳細取調東京ハ發著課長各在勤局ハ其局長ニ報告スヘキ事

第三百九十六條 郵便局及郵便受取所掛札切手賣下所看板并郵便掛函ハ晝間必ス局前又ハ店頭ニ掲出スヘキモノニヨリ巡回ノ際之ヲ檢視スヘシ若シ掲出ヲ怠リタルモノアルハ之ヲ誠諭シ掲出セシムヘキ事

第四章 犯罪者取扱

第三百九十七條 犯罪者取扱ニ第三編第二章第九十一條ノ規則ハ市内監察ニモ亦適用スヘキ事

第五章 報告

第三百九十八條 市内監察部ノ常例報告書ハ東京ハ發著課長其他ハ在勤局長ノ檢印ヲ受ケ差出スヘキ事

第三百九十九條 第三百九十九條第二百二十條第二百二十一條第二百二十二條第二百二十三條第二百二十四條第二百二十五條ノ規則ハ市内監察ニモ亦適用スヘキ事

臨檢	明治何年何月幾日	第	區監察係官	姓名	名印	局等及ヒ位置	何等	何那何驛町村						
取扱役	何府縣	族	主	非	營	何々(或無業)	資	上(或中下)	姓名	(何等)	何某	取扱役	何等	何某
身元保	同	業	同	上	資	同	上	姓名	同上	何某	代理	何某	書	何人内何某ハ
籍身分	同	業	同	上	資	同	上	姓名	同上	何某	書	何人内何某ハ		











六日	滯在		發病
七日	滯在		爲替検査上異状アリ
八日			郵便局検査ヲナサズ直行セシムアリタルトハ 何々ノ事件ニ付直行ト記スヘシ
九日			又急行ノルハ 何々ノ事件ニ付直行ト記スヘシ 何々ノ事件ニ依リ急行ト記スヘシ
合何局		合何ノ何	

出張局検査表雛形

何年何月何日何局検査表		官姓名印	
定額金現存			
郵便経費同上			
切手等収入同上			
爲替資金同上			
貯金同上			
切手現存枚數	半 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十	半 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十	半 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十
葉書帶紙同上	半 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十	半 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十	半 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十
角形封皮同上	半 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十	半 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十	半 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十

遞送監察考課表雛形

年 月 中 考 課 表		間 遞 送 監 察 官 姓 名 印	
日附	検査局數	通過	里程
一日		國內	
二日		地ニ至	
三日		滯在	
報告表編制	別報何件付郵	何局ニ於テ遞送方遅延ヒリ誠々	摘要
長形同上	一 錢	二 錢	四 錢
前金費下六箇月平均			合計
後金賣下同上	木欄ハ神戸函館ノ二局ニ限ル		
市内局及發下			
所ニ發下同上			
本局同上			
差立郵便	並書	書留	二種
物數同上	四種		免稅
	合計		貨幣封入
繼通物數同上			
市内配達同上			
一市内往復同上			
市外配達同上			
集信人現數			
配達人同上			



四日					常例報告付郵
五日					何局時計差アリ匡正ス
六日			滯在		發病
七日					何局遞送器械保存方杜撰ナリ誠諭ス
八日					
九日					
合何局				合何何何	

市内監察掛考課表雛形

明治何年何月中考課表

何郵便局在勤官 姓名印

一	日	局内當直	異状ナシ(或)異状アリタルトハ其要領ヲ簡明ニ摘録スヘシ
二	日	市中巡回	放書状何十通負送巡回○郵便函ノ印何箇所ヲ檢ス○不達探察状何通ヲ托セラル 其他異状ノ見附摘録上ニ同シ
三	日	同上	
四	日	宿明	(宿明所勞忌引ハ朱書ス)
五	日	所勞	
六	日	忌引	統親及假服日數ヲ記スヘシ
七	日		
八	日		
九	日		

探偵状扣簿雛形

十日								
十一日								
差立月日	繼戻月日	配達局名	差出入地名	同上姓名	受取人地名	同上姓名		

合差出狀數何拾何通内

繼戻 何通  
未戻 何通  
紛失 何通  
異状 何通  
但シ總テ別報上申濟

探偵状用郵便切手出納簿雛形

月日	受	高	拂	高	拂出地名	殘枚數
何月一日	錢二枚	何枚	何枚	何枚	何郡區何町村	何枚
同日	〇同上	〇同上	〇同上	〇同上		〇同上
同日	休	〇同上	〇同上	〇同上		〇同上
同日	〇同上	〇同上	〇同上	〇同上		〇同上
同日	〇同上	〇同上	〇同上	〇同上		〇同上
同日	〇同上	〇同上	〇同上	〇同上		〇同上

合狀數何通



此支消切手何枚

○同上  
差引何枚何月へ越高

月日	受	高	拂	高	拂出地名	殘枚數
何月一日	何枚	○同	何枚	○同	何郡區何町村	何枚
同 二日	何枚	以下印綴之印	何枚	何郡區何町村	何枚	○同
同 三日	何枚	何枚	何枚	何郡區何町村	何枚	何枚
同 四日	何枚	何枚	何枚	何郡區何町村	何枚	何枚
同 五日	何枚	何枚	何枚	何郡區何町村	何枚	何枚
同 六日	何枚	何枚	何枚	何郡區何町村	何枚	何枚

驛遞局達

十六年二月九日

地方監察ハ驛遞毎區ニ一員或ハ數區ニ一員遞送監察ハ差向大線ノ内神奈川豊橋間豊橋大津間神戸尾ノ道間尾ノ道赤間關開赤間關長崎間東京福島盛岡盛岡青森間福島秋田間秋田青森間東京長野間長野金澤間高崎新瀉間山家鹿兒島間各一員宛市内監察ハ東京京都大阪横濱神戸長崎新瀉名古屋金澤仙臺大津熊本鹿兒島高崎福島函館ニ各二名以上差置候條此旨相達候事但市内監察ノ區域名稱ハ其市街ノ區域地名ニ仍ラシム

驛遞局達

十六年三月三十一日

會計課及出張驛遞局郵便局へ別紙之通相達候條爲心得相達候事  
其課事務章程別紙之通相定來四月一日ヨリ假ニ施行候條此旨相達候事

會計課 驛遞出張局

地方監察遞送監察市内監察員ノ配置ヲ定ム

驛遞局會計課事務章程ヲ定ム

郵便局

本局エ納付スル郵便税及經費殘金其他ノ金錢郵便爲替金并貯金ヲ除ク證券類ハ自今渾テ會計主務ニ宛遞送スヘシ且本局ヨリ發スル金錢領收證書ハ來四月一日以後同官ノ各ヲ以テ交付候條此旨相達候事

會計課

會計課ハ本局出張局郵便局歲入出一切ノ出納會計ヲ掌理スル所トス課中掛ヲ分テ九トス

本務係

- 本務係ハ量入爲出ノ經理收支證書ノ發行會計諸規則ノ編制及ヒ各係ニ屬セサル一切ノ庶務ヲ掌ル處トス事務節目左ノ如シ
- 一 歲入出豫算決算ヲ整理スル事
  - 二 經費ヲ請求スル事
  - 三 租税及雜收入金等ヲ納付スル事
  - 四 金錢及郵便切手收支證書ヲ發行スル事
  - 五 經費ヲ流用スル事
  - 六 資金日表ヲ調成スル事
  - 七 會計諸規則ヲ編成スル事
  - 八 本支局掛屋命令書ヲ起草スル事
  - 九 官損ニ係ル金錢物品ヲ處分スル事
  - 十 布告布達其他諸公文ヲ傳達シ編輯シ及保管スル事
  - 十一 文書受付件數表ヲ調製スル事
  - 十二 倉庫ヲ開鎖スル事
  - 十三 倉庫管鑰及會計課印章ヲ管守スル事
  - 十四 課中各係ニ屬セサル庶務ヲ處分スル事

官職門 官制 農商務省

五百二十九



十五 郵便切手買戻ヲ處分スル事

検査係

検査掛ハ金錢郵便切手及諸物品ノ出納ヲ検査シ會計法規ノ執行ヲ監視スルヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 金錢郵便切手出納ニ關スル諸回議及收支證書ヲ検査スル事
- 二 計算表其他諸計表ヲ検査スル事
- 三 收支現計書及報告書ヲ検査スル事
- 四 金錢郵便切手及諸物品帳簿ヲ検査スル事
- 五 金錢郵便切手及諸物品現在高ヲ點檢スル事
- 六 購買品及賣却品價格ヲ査定スル事
- 七 預ケ金ニ對スル抵當品過不足ヲ検査スル事
- 八 假出納金成算延滞ヲ督促スル事
- 九 出張局郵便税及經費勘定帳ノ検査及決算證書ヲ付與スル事
- 十 郵便局勘定仕上表ヲ検査スル事
- 十一 會計上質疑ヲ説明スル事
- 十二 出納照査ニ要スル職員名簿ヲ保管スル事
- 十三 倉庫開鎖ヲ監視スル事

記簿係

- 記簿係ハ會計帳簿ノ登記收支ノ現計豫算決算ノ調理ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
- 一 日記簿原簿及補助簿ヲ登記スル事
- 二 計算表其他諸計表ヲ調製スル事
- 三 收支現計書報告書ヲ調製スル事

四 歳入出豫算及決算報告書ヲ調理スル事

五 歳入出決算帳ヲ調製スル事

六 租税帳租税皆濟帳ヲ調理スル事

七 會計帳簿ヲ保管スル事

出納係

出納係ハ金錢ノ受拂納請證書抵當資財ノ管守ヲ掌ル處トス事務節目左ノ如シ

一 金錢及抵當<sup>爲替</sup>貯金<sup>貯金</sup>トモ資財ヲ受拂スル事

二 現金受拂簿及補助簿ヲ登記スル事

三 金錢仕拂切符及領收書ヲ調製スル事

四 出張局經費拂出證書ヲ調製スル事

五 金錢ヲ各地へ送遣スル事

六 現金所在表ヲ調製スル事

七 抵當資財價格比較表ヲ調製スル事

八 金錢管守證及納請證書抵當資財ヲ保管スル事

九 本課所屬アイロンセイフヲ保管スル事

收税係

收税係ハ郵便税ノ收入ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

一 郵便税ヲ徵收スル事

二 郵便税週表月表年表ヲ調製スル事

三 出張局郵便税勘定帳ヲ調理スル事

四 郵便局勘定仕上表ヲ調理スル事

支給係



- 支給係ハ出張局郵便局經費支給ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
- 一 出張局經費假定期額ヲ調理スル事
  - 二 出張局經費ヲ流用スル事
  - 三 出張局經費勘定帳ヲ調理スル事
  - 四 出張局郵便費勘定帳ヲ調理スル事
  - 五 郵便局勘定仕上表ヲ調理スル事
  - 六 郵便局經費受渡切符ヲ調製スル事
  - 七 勘定帳其他進達延滞ヲ督促スル事
- 財産係
- 財産係ハ財産ノ管守受渡器械備品ノ購買修復及廢舍ノ營繕ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
- 一 地所家屋器械備品被服ヲ管守及受渡スル事
  - 二 地所家屋器械備品増減ヲ報告スル事
  - 三 地所家屋器械備品被服購買及修繕ヲ處分スル事
  - 四 家屋及郵便柱函ヲ營繕スル事
  - 五 官舎貸下料ヲ徴收スル事
  - 六 地所ニ係ル區町村協議費及上水費瓦斯費ヲ支辨スル事
  - 七 器械備品被服ヲ各地ヘ送遣スル事
  - 八 器械備品被服預リ證ヲ保存スル事
  - 九 諸職工ヲ傭使スル事
  - 十 不用物品ヲ賣却スル事
- 用度係
- 用度係ハ諸用度品ノ購買管守支給ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 消耗品ヲ購買スル事
  - 二 消耗品ヲ管守及支給スル事
  - 三 諸達報告其他印刷ヲ注文スル事
  - 四 消耗品ヲ受拂報告スル事
  - 五 諸職工及人夫人力車等ヲ雇入スル事
  - 六 消耗品ヲ各地ヘ送遣スル事
  - 七 不用物品ヲ賣却スル事
- 切手係
- 切手係ハ郵便切手類ノ製造管守受渡ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
- 一 郵便切手類ヲ受渡スル事
  - 二 郵便切手類ヲ管守スル事
  - 三 郵便切手類ヲ各地ヘ送遣スル事
  - 四 郵便切手類ヲ交換スル事
  - 五 郵便切手類受渡ヲ報告スル事
  - 六 郵便切手類製造費ヲ支辨スル事
  - 七 郵便切手類受取證印記ヲ保管スル事

驛遞局達十六年五月十一日

發著課へ別紙ノ通相達候條爲心得此旨相達候事

其課中へ官報賣捌掛ヲ置候條右事務可取扱事

發 著 課



驛遞局達十六年五月三十一日 調製課ヲ廢シ總官官房并監察課ヲ置キ驛遞局事務條例別紙之通り相定來ル六月一日ヨリ施行シ現行事務章程ハ同日ヨリ廢止トス此旨相達候事

驛遞局達十六年五月三十一日

本局中調製課ヲ廢シ總官官房并監察課ヲ置驛遞局事務條例別紙ノ通相定來ル六月一日ヨリ施行シ現行事務章程ハ同日ヨリ廢止ス爲心得此旨相達候事

驛遞局事務條例

第一章 總則

第一條 驛遞局ハ一官房九課ニ分チ官房ニ科ヲ置キ課ニ掛ヲ置ク

第二條 官房科課掛名ハ左ノ如シ

總官官房

總務科 職務科 書記科

規畫課

本務掛 地誌掛 名籍掛 時間記掛

爲替課

本務掛 集計掛 爲替局計算掛 資金出納計算掛 爲替受拂計算掛 照查掛 受拂掛

貯金課

本務掛 記簿掛 利子計算掛 拂戻掛 預所計算掛 通知書掛 照查掛 受拂掛

運輸課

本務掛 取調掛

發著課

本務掛 點查掛 受收掛 各道掛 市内掛 押印掛 外國掛 官報賣捌掛

會計課

本務掛 検査掛 記簿掛 出納掛 收税掛 支給掛 財産掛 用度掛 切手掛

監察課

本務掛 地方監察掛 遞送監察掛 市内監察掛

庶務課

本務掛 往復掛 淨寫掛 編輯掛 統計掛

萬國郵便課

本務掛 外國爲替掛 翻譯掛

第三條 總官官房ハ總官官房ノ事務ヲ處辨スル所トス

第四條 各課ハ局務ヲ分掌スル所トス

第五條 總官官房各科ノ事務ハ副局長之ヲ統理ス

第六條 科員ハ科中ノ事務ヲ分掌ス

第七條 課ニ課長便宜副課長掛ニ便宜掛長ヲ置ク

第八條 課長ハ課員ノ服務ヲ監督シ各掛ノ分掌ヲ定メ課中ノ事務ヲ整理ス

第九條 課長ハ課中月給金十圓以下日給金四十錢以下備及寫字生ノ辭令ヲ傳達ス

第十條 課長ハ課中ノ事務ニ付各所ニ事由ヲ推問督促シ及別段ニ委任スル事務ハ之ヲ專決施行スルヲ得

第十一條 副課長ハ課長事故アルトキハ其事務ヲ代理スルヲ得

第十二條 掛長ハ掛中ノ事務ヲ幹理ス

第十三條 課中掛員ハ課中ノ事務ヲ分掌ス

第十四條 課長掛長及掛員ハ主管ノ事務ニ付利弊得失ヲ考案シ課長ハ總官ニ掛長ハ課長ニ掛員ハ掛長ニ其意見ヲ具狀スルヲ得



第十五條 前條ノ場合ニ於テ掛長ハ課長ト掛員ハ課長若クハ掛長ト意見ヲ異ニスルトキハ直チニ總官ノ裁定ヲ請フコトヲ得

第二章 分掌

第十六條 總官官房中ノ各科及各課處務規程左ノ如シ

總官官房

總官官房ハ總官ノ官房ノ事務ヲ調理スル所トス官房中科ヲ分テ三トス

總務科

總務科ハ總官ノ裁定スヘキ議案ヲ審査シ及總官ノ命令スル事件ヲ取調フル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 總官ノ裁定スヘキ一切ノ議案ヲ審査シ意見ヲ具狀スル事
- 二 總官ノ臨時命令スル事件ヲ取調フル事
- 三 郵便沒書ヲ處分スル事

職務科

職務科ハ職員ノ進退黜陟儀式禮典ニ關スル事務ヲ調理シ及官印ヲ管守スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 職員ノ進退黜陟ニ關スル事務ヲ取扱フ事
- 二 職員ノ身分ニ關スル願届等ヲ取扱フ事
- 三 局員宿直割ヲ定ムル事
- 四 局員名簿履歷書印鑑及宿所簿ヲ調製スル事
- 五 儀式禮典拜賀ニ關スル事務ヲ取扱フ事
- 六 官印ヲ管守スル事
- 七 諸印類ノ原簿ヲ調製スル事

書記科

書記科ハ總官ノ書記及機密文書ヲ取扱フ所トス事務節目左ノ如シ

- 一 總官ハ命令ニ依リ文書ヲ書記スル事
- 二 機密ノ文書ヲ管主スル事

規畫課

規畫課ハ郵便方法ニ關スル事務ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ四トス

本務掛

本務掛ハ驛遞區畫郵便線路及驛遞出張局郵便局郵便受取所郵便切手賣下所郵便函場ノ位置ヲ規畫シ其他郵便方法ニ關スル事務ヲ統理スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便方法ニ關スル事務ヲ統理スル事
- 二 驛遞區郵便區ノ分合改稱及境界ヲ規定スル事
- 三 郵便物配達市内外區域ヲ規定スル事
- 四 驛遞出張局郵便局郵便受取所郵便切手賣下所郵便函場ヲ廢置スル事
- 五 郵便局等級并局名ヲ査定スル事
- 六 郵便取扱役以下ノ適否勤惰ヲ調査スル事
- 七 驛遞出張局郵便局郵便受取所并爲替局貯金預所經費支給定則ヲ規定スル事
- 八 郵便線路ヲ開閉スル事
- 九 郵便物遞送集配方法ヲ調理スル事
- 十 郵便物遞送猶豫時間ヲ規定スル事
- 十一 郵便物遞送速度及其行李量目ヲ規定スル事
- 十二 郵便諸器械ヲ査定スル事
- 十三 約束郵便ヲ締約スル事



- 十四 郵便物遞送集配ノ請負ヲ約定シ又ハ命令スル事
- 十五 郵便物遞送集配ノ賃錢ヲ規定スル事
- 十六 郵便私書函貸與料ヲ規定シ及貨幣遞送賃配達料ノ額ヲ審査スル事
- 十七 課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事

地誌掛

地誌掛ハ地誌編製ノ事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 驛遞地誌ヲ編纂スル事
- 二 郵便地圖及匯表ヲ調製スル事
- 三 郵便線路ノ實里程及延里程ヲ計算スル事
- 四 地名字引ヲ編纂スル事

名籍掛

名籍掛ハ驛遞出張局郵便局郵便受取所郵便切手賣下所郵便函場郵便爲替局貯金預所及其經費支給額ノ原簿并遞送賃集配料支給額ノ原簿ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 驛遞出張局郵便局郵便受取所郵便切手賣下所郵便函場爲替局貯金預所所在地名郵便局等級郵便取扱役履書記役及貯金預所ノ主務者郵便切手賣下人ノ原簿ヲ調製スル事
- 二 驛遞出張局郵便局郵便受取所ノ費用郵便取扱役履書記役并貯金預所ノ手當及遞送賃集配料支給額ヲ檢算シ其元資ノ過不足ヲ勘査スル事

時間記掛

時間記掛ハ郵便遞送時間ノ原簿ヲ調製シ時間記ヲ發行スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便遞送時間元簿ヲ調製スル事
- 二 郵便遞送時間記發行スル事

爲替課

爲替課ハ郵便爲替方法ニ關スル事務ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ七トス

本務掛

本務掛ハ郵便爲替局及爲替掛屋ノ廢置爲替資金遞送方法ノ整理爲替資金ノ運轉再發證書ノ調製爲替證書用紙ノ支給ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 爲替局及爲替掛屋ヲ廢置スル事
- 二 爲替局定備資金ヲ規定スル事
- 三 爲替取扱役及代理者ノ印鑑簿ヲ整理スル事
- 四 爲替取扱役及掛屋ノ原簿ヲ調製スル事
- 五 爲替局名及取扱役氏名録ヲ編製スル事
- 六 爲替資金ノ遞送方法ヲ取調フル事
- 七 効用ヲ失シタル爲替證書ヲ公告スル事
- 八 爲替證書用紙ヲ支給スル事
- 九 爲替資金ヲ運轉スル事
- 十 爲替資金收支傳票及切符ヲ調製スル事
- 十一 振替爲替受拂ヲ取扱フ事
- 十二 再發爲替證書ヲ調製スル事
- 十三 課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事

集算掛

集算掛ハ爲替計算集輯ノ事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 總勘定原簿及補助簿ヲ登記スル事
- 二 爲替總勘定表ヲ調製スル事
- 三 爲替ノ統計ヲ調理スル事



爲替局計算掛

爲替局計算掛ハ郵便爲替局爲替金出納高及現在高ノ計算ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 爲替金出納高ヲ調査スル事
- 二 掛屋預高ヲ調査スル事
- 三 爲替過超金ノ納否ヲ調査スル事
- 四 爲替證書用紙使用數ヲ調査スル事

資金出納計算掛

資金出納計算掛ハ各縣及各驛遞出張局爲替資金出納高ノ計算ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 各縣及各驛遞出張局ノ爲替資金出納高ヲ調査スル事
- 二 過超金及下付金其他遞送金ノ著否ヲ調査スル事

爲替受拂計算掛

爲替受拂計算掛ハ爲替願書拂濟爲替證書并爲替料收入高ノ計算ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 爲替願書拂濟爲替證書ヲ計算スル事
- 二 爲替料收入高ヲ調査スル事
- 三 拂渡未濟ノ爲替金高口數ヲ調査スル事

照査掛

照査掛ハ爲替計算一切ノ檢査ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 爲替金收支ヲ檢査スル事
- 二 振替爲替切符ヲ檢査スル事
- 三 再發爲替證書ヲ檢査スル事
- 四 拂濟爲替證書及報知書ヲ檢査スル事

五 前各項ニ掲グル外諸計算書ヲ檢査スル事

受拂掛

受拂掛ハ爲替ノ受拂ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 爲替ノ振出シヲ取扱フ事
- 二 爲替ノ拂渡シヲ取扱フ事

貯金課

貯金課ハ貯金方法ニ關スル事務ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ八トス

本務掛

本務掛ハ貯金預所ノ廢置貯金ノ運轉通帳ノ支給ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 貯金預所ヲ廢置スル事
- 二 貯金預所原簿ヲ調製スル事
- 三 貯金ヲ運轉スル事
- 四 貯金ノ統計ヲ調理スル事
- 五 貯金受入及拂出切符ヲ調製スル事
- 六 貯金通帳ヲ支給スル事
- 七 課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事

記簿掛

記簿掛ハ貯金預ケ人原簿并總勘定原簿ノ登記再發通帳ノ交付ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 貯金預ケ人原簿ヲ登記スル事
- 二 總勘定原簿ヲ登記スル事
- 三 貯金預ケ人名簿ヲ調製スル事
- 四 貯金預所ニ渡シタル通帳ノ使用數ヲ調査スル事



- 五 通帳ヲ原簿ニ照合シ利子ヲ記入スル事
- 六 再發通帳ヲ交付スル事
- 七 貯金預願書及預ケ人改印届書ヲ整理スル事
  - 利子計算掛
- 利子計算掛ハ貯金利子ノ計算ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
  - 一 利子ヲ計算スル事
  - 二 每半季貯金元利高ヲ計算スル事
- 拂戻掛
  - 拂戻掛ハ貯金拂戻ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
    - 一 貯金拂戻願書及通帳ヲ調査スル事
    - 二 拂戻金ヲ計算スル事
    - 三 拂戻證書ヲ調製スル事
- 預所計算掛
  - 預所計算掛ハ貯金預所貯金出納ノ計算ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
    - 一 預所ノ貯金預拂高并口數ヲ調査スル事
    - 二 預所貯金ノ納否ヲ調査スル事
    - 三 預リ金取集切符ヲ調製スル事
- 通知書掛
  - 通知書掛ハ貯金領收通知書ノ調製ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
    - 一 貯金領收通知書ヲ調製スル事
    - 二 貯金領收通知書ヲ預ケ人ニ交付スル事
- 照査掛

- 照査掛ハ貯金計算一切ノ検査ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
  - 一 貯金收支ヲ検査スル事
  - 二 通帳ヲ検査スル事
  - 三 拂戻證書ヲ検査スル事
  - 四 預リ金取集切符ヲ検査スル事
  - 五 前各項ニ掲グル外諸計算書ヲ検査スル事
- 受拂掛
  - 受拂掛ハ貯金ノ預拂ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
    - 一 貯金ヲ預ル事
    - 二 貯金ヲ拂戻ス事
- 運輸課
  - 運輸課ハ驛傳運輸ニ關スル事務ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ二トス
    - 本務掛
      - 本務掛ハ驛傳運輸ノ事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
        - 一 驛傳運輸ニ關スル事務ヲ調理スル事
        - 二 宿驛廢置ノ事務ヲ調理スル事
        - 三 課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事
      - 取調掛
        - 取調掛ハ驛傳運輸ノ沿革及各道里程ノ取調ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
          - 一 驛傳運輸ノ沿革ヲ取調フル事
          - 二 各道實測里程ヲ取調フル事
    - 發著課



發著課ハ東京ニ發著スル郵便物ノ集配遞送飛信ノ遞送配達及官報賣捌ノ事務ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ八トス

本務掛

- 一 集配人馭者馬丁ヲ管理スル事
- 二 郵便物發著員數ヲ調査スル事
- 三 事故郵便物ヲ調査スル事
- 四 郵便物ノ表書ヲ書拔キ市内監察掛ニ交付スル事
- 五 郵便船發出時限ヲ公告スル事
- 六 郵便物集配遞送及集配人躡局時限ヲ監視スル事
- 七 課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事

點查掛

點查掛ハ區内ニ於テ差出シタル郵便物ヲ點查スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 本局并區内ノ郵便物ヲ受付ケ及其種類員數ヲ調査スル事
- 二 郵便物ノ種類稅額及郵便切手葉書封皮帶紙ノ眞實ヲ點查スル事

受收掛

受收掛ハ郵便切手葉書封皮帶紙ヲ賣下及書留別配達貨幣封入ノ郵便物ヲ受付ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便切手葉書封皮帶紙ヲ賣下ル事
- 二 書留及別配達并貨幣封入ノ郵便物ヲ受付ル事

各道掛

各道掛ハ各道ヘ差立及各道ヨリ到著ノ郵便物ヲ取扱フ所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便物ヲ區分シ各道ヘ差立ル事
- 二 各道ヨリ到著ノ郵便物ヲ受付ケ及其員數ヲ調査スル事

市内掛

市内掛ハ市内ニ配達スヘキ郵便物ヲ取扱フ所トス事務節目左ノ如シ

- 一 市内ニ配達スヘキ郵便物ヲ區分シ集配人ニ交付スル事
- 二 未納稅又ハ不足稅ヲ徵收スル事

押印掛

押印掛ハ郵便物ニ押印スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便物ノ切手葉書封皮帶紙ニ消印スル事
- 二 郵便物ニ日附印ヲ捺押スル事

外國掛

外國掛ハ外國發著ノ郵便物ヲ取扱フ所トス事務節目左ノ如シ

- 一 外國發著郵便物ノ表記ヲ翻譯スル事
- 二 同上郵便物ノ稅額ヲ點查スル事
- 三 同上郵便物數ヲ調査スル事
- 四 外國郵便爲替受拂ヲ取扱フ事

官報賣捌掛

官報賣捌掛ハ官報賣捌ノ事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 官報ヲ賣捌ク事
- 二 官報代價ヲ取纏ムル事

會計課

會計課ハ本局歲入出ノ出納會計ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ九トス



本務掛

本務掛ハ量入爲出ノ經理收支證票ノ發行ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 歳入出豫算決算ヲ調理スル事
- 二 經費ヲ請求スル事
- 三 郵便税及雜收入金等ヲ納附スル事
- 四 金錢及郵便切手類收支證票ヲ發行スル事
- 五 經費ヲ流用スル事
- 六 倉庫ヲ管守スル事
- 七 局内取締并非常警備ノ事務ヲ調理スル事
- 八 給仕小使ヲ管理スル事
- 九 乗用馬車ヲ管理スル事
- 十 課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事

検査掛

検査掛ハ金錢郵便切手類及諸物品ノ出納ヲ検査シ會計法規ノ執行ヲ監視スルヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 金錢郵便切手類出納ニ關スル諸回議及收支證票ヲ検査スル事
- 二 諸計算表ヲ検査スル事
- 三 收支現計書及報告書ヲ検査スル事
- 四 金錢郵便切手類及諸物品帳簿及現在品ヲ検査スル事
- 五 購買品及賣却品價格ヲ査定スル事
- 六 預ケ金ニ對スル抵當品ヲ検査スル事
- 七 假出納金成算延滞ヲ督促スル事

- 八 驛遞出張局郵便税及經費勘定帳ヲ検査シ及其決算證書ヲ付與スル事
- 九 郵便局勘定仕上表ヲ検査スル事
- 十 出納照査ニ要スル職員名簿ヲ保管スル事
- 十一 倉庫開鎖ヲ監視スル事

記簿掛

記簿掛ハ會計帳簿ノ登記收支ノ現計豫算決算ヲ調理スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 日記簿原簿及補助簿ヲ登記スル事
- 二 諸計算表ヲ調製スル事
- 三 收支現計書報告書ヲ調製スル事
- 四 歳入出豫算及決算報告書ヲ調理スル事
- 五 歳入出決算帳ヲ調製スル事
- 六 租税帳租税皆濟帳ヲ調理スル事

出納掛

出納掛ハ金錢ノ受拂納請證書抵當資財ヲ管守スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 金錢及抵當爲替財資財ヲ受拂スル事
- 二 現金受拂簿及補助簿ヲ登記スル事
- 三 金錢仕拂切符及領收證書ヲ調製スル事
- 四 驛遞出張局經費振替證書ヲ調製スル事
- 五 現金所在表ヲ調製スル事
- 六 抵當資財價格比較表ヲ調製スル事
- 七 金錢管守證及納請證書抵當資財ヲ保管スル事

收税掛



收税掛ハ郵便税ノ收入ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便税ヲ收入スル事
- 二 郵便税表ヲ調製スル事
- 三 驛遞出張局郵便税勘定帳ヲ調理スル事
- 四 郵便局勘定仕上表ヲ調理スル事

支給掛

支給掛ハ驛遞出張局郵便局經費ノ支給ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 驛遞出張局經費假定期額ヲ調理スル事
- 二 驛遞出張局經費ヲ流用スル事
- 三 驛遞出張局經費勘定帳ヲ調理スル事
- 四 驛遞出張局郵便費勘定帳ヲ調理スル事
- 五 郵便局勘定仕上表ヲ調理スル事
- 六 郵便局經費受渡切符ヲ調製スル事

財産掛

財産掛ハ財産ノ管守受渡器械備品ノ購買修復及廢舎ノ營繕ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 地所家屋器械備品被服ヲ管守及受渡スル事
- 二 地所家屋器械備品被服ノ購買及修繕ヲ處分スル事
- 三 家屋及郵便柱函ヲ營繕スル事
- 四 官舎貸下料ヲ收入スル事
- 五 地所ニ係ル區町村協議費及上水賃瓦斯費ヲ支辨スル事
- 六 諸職工ヲ備使スル事
- 七 不用物品ヲ賣却スル事

用度掛

用度掛ハ諸用度品ノ購買管守支給ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 消耗品ヲ購買スル事
- 二 消耗品ヲ管守及支給スル事
- 三 諸達報告其他印刷ヲ注文スル事
- 四 消耗品ヲ受渡スル事
- 五 諸職工及ヒ人夫人力車等ヲ雇入スル事
- 六 不用物品ヲ賣却スル事

切手掛

切手掛ハ郵便切手類ノ製造管守受渡ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便切手類ヲ受渡スル事
- 二 郵便切手類ヲ管守スル事
- 三 郵便切手類製造費ヲ支辨スル事
- 四 郵便切手類受取證印記ヲ保管スル事

監察課

監察課ハ郵便爲替貯金驛傳事務ノ實施ヲ監察シ其得失ヲ勘査シ及郵便犯罪者ノ處分并郵便物遞送時間ノ檢査ニ關スル事務ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ四トス

本務掛

本務掛ハ地方監察掛遞送監察掛市内監察掛ニ屬スル諸般ノ事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 地方監察掛遞送監察掛市内監察掛ニ屬スル諸般ノ事務ヲ調理スル事
- 二 實施事業ノ利害得失ヲ監察スル事
- 三 郵便犯罪者處分ニ關スル事務ヲ調理スル事



- 四 郵便遞送時間記ヲ検査スル事
- 五 驛遞區畫ノ分合郵便線路ノ開閉郵便遞送集配爲替貯金取扱ノ方法及驛遞出張局郵便局郵便受取所郵便切手賣下所郵便函場并爲替局貯金預所ノ廢置變換并各監察掛報告事件ノ處分ニ參與スル事

地方監察掛

地方監察掛ハ驛遞區ニ出張シ其區内監察ノ事務ヲ掌ルモノトス事務節目左ノ如シ

- 一 驛遞出張局郵便局郵便受取所郵便函場及貯金預所ノ事務執行ヲ巡檢スル事
- 二 驛遞出張局郵便局郵便受取所貯金預所及爲替掛屋會計ノ當否ヲ検査スル事
- 三 驛遞區畫及驛遞出張局郵便局郵便受取所郵便切手賣下所郵便函場并貯金預所位置ノ適否ヲ監察スル事

四 郵便線路布設郵便物遞送集配并爲替貯金取扱方法ノ適否ヲ監察スル事

五 郵便物ノ遞送集配ヲ監察スル事

六 郵便物遞送器械ノ便否ヲ監察スル事

七 郵便物ヲ安全ナラシムル事

八 郵便條例其他成規定例違反者ノ有無ヲ監察スル事

九 前各項ニ掲クル外實施事業ノ利害得失ヲ監察スル事

遞送監察掛

遞送監察掛ハ郵便線路ヲ巡行シ其線路ノ監察事務ヲ掌ルモノトス事務節目左ノ如シ

一 郵便物ノ遞送ヲ監察スル事

二 時計ノ遲速ヲ整正スル事

三 郵便物發着ノ時間遞送ノ方法及郵便線路結合ノ適否ヲ監察スル事

四 郵便物遞送猶豫時間ノ適否ヲ監察スル事

- 五 郵便物遞送晝續夜續ノ區別及其行李重量ヲ検査スル事
- 六 郵便物遞送諸器械ノ取締ヲナシ及其便否ヲ監察スル事
- 七 遞送郵便物ヲ安全ナラシムル事
- 八 郵便條例其他成規定例違反者ノ有無ヲ監察スル事

市内監察掛

市内監察掛ハ本局及驛遞出張局ニ在勤シ其市内ノ監察事務ヲ掌ルモノトス事務節目左ノ如シ

一 郵便物ノ發着遞送集配ヲ監察スル事

二 郵便物配達市内外ノ區域及郵便局郵便受取所郵便切手賣下所郵便函場并爲替局貯金預所位置ノ適否ヲ監察スル事

三 郵便物配達ノ濟否遲速ヲ監察スル事

四 郵便物ヲ安全ナラシムル事

五 郵便條例其他成規定例違反者ノ有無ヲ監察スル事

庶務課

庶務課ハ飛信遞送文書ノ往復淨書編輯局務ノ統計及各課ニ屬セサル事務ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ五トス

本務掛

本務掛ハ飛信遞送及各課ニ屬セサル事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 飛信遞送ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 二 官報ノ原稿ヲ取纏ムル事
- 三 布告達類ヲ各課ニ回達スル事
- 四 寫字生ヲ管理スル事
- 五 他課及課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事



往復掛

往復掛ハ文書往復ノ事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 文書及物品ヲ受付ケ各課ニ配付スル事
- 二 文書ヲ各所ヘ送達スル事
- 三 往復文書ノ種類ヲ區別スル事
- 四 受付文書ノ處分濟否ヲ調査スル事

淨寫掛

淨寫掛ハ達書往復文書ノ淨書及印刷ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 達書往復文書ヲ淨書スル事
- 二 達書ヲ印刷スル事

編輯掛

編輯掛ハ簿書編輯圖書保管ノ事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 既決回議書ヲ編輯スル事
- 二 決議摘要録ヲ調製スル事
- 三 諸決議書ノ副本ヲ調製スル事
- 四 決議書件名簿ヲ調製スル事
- 五 圖書ヲ保管スル事

統計掛

統計掛ハ局務ニ關スル統計書編輯ノ事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 局務ニ關スル統計ヲ編製スル事
- 二 統計ノ材料ヲ聚集シ及統計書ヲ頒布スル事
- 三 本局處務ノ要領報告書ヲ調理スル事

萬國郵便課

萬國郵便課ハ外國郵便及外國郵便爲替方法ニ關スル事務ヲ調理シ其他翻譯ノ事ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ三トス

本務掛

本務掛ハ外國郵便ニ關スル事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 萬國郵便聯合條約ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 二 外國郵便物遞送方法及其遞送料ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 三 歐文ノ書籍ヲ保管スル事
- 四 課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事

外國爲替掛

外國爲替掛ハ外國郵便爲替ニ關スル事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 外國郵便爲替ヲ調理スル事

翻譯掛

翻譯掛ハ翻譯及通辭ノ事ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 外國文ヲ日本文ニ翻譯スル事
- 二 日本文ヲ外國文ニ翻譯スル事
- 三 外國語ヲ通譯スル事

驛遞局達

十六年六月八日  
官房各課

今般調整課ヲ廢シ監察課ヲ置キ候ニ付テハ監察事務取扱條例中調整課トアルハ監察課中央監察部トアルハ本務掛地方監察部トアルハ地方監察掛遞送監察部トアルハ遞送監察掛市内監察部トアルハ市内監察掛ト改正候條此旨相達候事

驛遞局監察事務取扱條  
例中訂正ス  
十六年五月三十一日定ル  
驛遞局事務條例ヲ參看ス  
ヘシ



郵便犯罪ニ係ル事務ヲ  
監察課ノ主管トナス

驛遞局達官房各課十六年六月九日  
凡ソ裁判ニ係ル事務取扱ノ儀郵便條例ノ犯罪及之レニ附帶スル犯罪并ニ私訴ノ事務ハ都テ監察課ノ主  
管トシ其他ノ犯罪并ニ私訴ノ事務ハ其主務課ノ主管ト相定候條此旨相達候事

各出張局報告事務ハ庶  
務課ニ於テ取扱ハシム

驛遞局達各課十六年九月二十一日  
別紙ノ通庶務課へ相達候條此旨相達候事

庶務課

各出張局報告事務其課ニテ可取扱此旨相達候事

驛遞局發着課ノ書拔信  
書ニ係ル事務ヲ監察課  
ニ屬ス

驛遞局達各課十六年十二月二十八日  
發着課本務掛事務ノ内書拔信書ニ係ル事件ハ監察課市内監察掛事務ニ移シ候條此旨相達候事

驛遞局規畫課兩課郵  
便時間記事務分任ヲ定  
ム

驛遞局達各課(規畫課監察課ヲ除ク)十六年十二月二十八日  
別紙ノ通規畫課監察課へ相達候條此旨相達候事

規畫課  
監察課

驛遞局事務條例第十六條監察課本務掛第四項郵便時間記事務ノ儀ニ付規畫課ト時間記事務ニ係ル事務取扱  
ノ分任區別左ノ通可相心得此旨相達候事

一凡ソ時間記事務新設若クハ發着方法變更ニ依リ新製又ハ改正發行ノ事務ハ規畫課之ヲ管掌シ其發  
行以後之カ集聚調査及其調査ノ成績ニ依リ一切ノ處分等ハ監察課之ヲ管掌ス

驛遞局規畫課ノ時間記  
掛ヲ廢ス

驛遞局達各課十七年一月十五日  
規畫課時間記事務掛ヲ廢ス此旨相達候事

規畫課時間記事務掛ヲ廢ス此旨相達候事

驛遞局事務條例中改正

驛遞局達總十七年一月二十九日官房各課  
官房中總務科ヲ廢シ職務科ノ上ニ審査取調ノ二科書記科ノ下ニ雜務科ヲ置キ萬國郵便課中(シ其他翻譯ノ事ヲ調理)ノ十字ヲ削リ課中掛ヲ分テ(三)トスヲ(二)ト改メ翻譯掛并ニ本務掛中第三項ヲ廢シ同  
本務掛中へ左ノ三項ヲ加へ第四項ヲ六項トシ事務條例左ノ通改正ス

第二章第十六條官房中科ヲ分テ(三)トスヲ(五)ト改ム

審査科  
一 總官ノ裁定スヘキ議案ヲ審査スル所トス事務節目左ノ如シ

取調科

取調科ハ總官ノ命令スル事件及ヒ諸規則ノ取調ヲ爲ス所トス事務節目左ノ如シ  
一 總官ノ臨時命令スル事件ヲ取調フル事

二 内外諸規則等取調ノ事

三 外國ノ書籍ヲ翻譯又ハ編纂スル事

四 外國ノ書籍ヲ保管スル事

雜務科

雜務科ハ總官官房ノ雜務ヲ調理スル所トス事務節目左ノ如シ

一 郵便沒書ヲ處分スル事

二 總官官房ニ往復ノ書類ヲ掌理スル事

三 總官官房ニ屬スル書籍器品ヲ管主及ヒ受渡スル事

四 各科ニ屬セサル事務ヲ調理スル事



萬國郵便課

本務掛

- 三 外國往復書類ヲ翻譯スル事
  - 四 外國語通辯ノ事
  - 五 歐文ノ書類ヲ保管スル事
- 右相達候事

驛遞局事務條例中改正

驛遞局達

取十七年二月二日 官房各課

本局事務條例第十條推問督促ノ下ニ(例規アル事件ニハ通知回答シ)ノ十三字ヲ加ヘ規畫課本務掛ノ次ニ調整掛ヲ置キ同課地誌掛中(地誌編製)ノ四字ヲ(郵便匯表調整等)ノ七字ニ改メ第二項(地圖及)ノ三字并ニ第一項第四項ヲ削リ第二項ヲ一項第三項ヲ二項トシ運輸課取調掛ノ二項ヲ削リ同課本務掛ノ三項ヲ四項トシ三項并ニ取調掛ヘ二項三項四項ヲ置ク

規畫課

調整掛

調整掛ハ郵便取扱上ニ屬スル諸般ノ成規ヲ調整シ及其成規ノ說明ヲ爲ス所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便物遞送集配并ニ差出方受取方ニ付諸般ノ成規ヲ調整スル事
  - 二 郵便物取扱上ニ屬スル諸般ノ成規ヲ説明スル事
- 運輸課
- 本務掛
- 一 各道實測里程ヲ取調フル事
  - 二 驛遞地誌ヲ編纂スル事

取調掛

取調掛

驛遞局事務條例中改正

- 三 郵便地圖ヲ調製スル事
  - 四 地名字引ヲ編纂スル事
- 右相達候也

驛遞局達

取十七年二月二十四日 官房各課

庶務課統計掛爾後運輸課ニ屬シ統計掛第三項ヲ庶務課本務掛第五項トナシ元第五項ヲ第六項トナシ運輸課統計掛事務條例左ノ通改正候條此旨相達候事

統計掛

統計掛ハ交通上諸般ノ統計及局務統計ノ事務ヲ掌ル處トス事務節目左ノ如シ

- 一 交通上諸般ノ統計ヲ爲ス事
- 二 局務ノ統計ヲ爲ス事
- 三 統計書ヲ編輯頒布スル事

驛遞局内取締事務ヲ會計課ニ屬ス

驛遞局達 會第十七年三月八日 各課但會計課ヲ除

局内取締事務

局内取締事務ノ義ニ付別紙ノ通會計課及監察課ヘ相達候條爲心得此旨相達候事

(別紙)

會計課ヘ達

從來東京市内監察掛ニ於テ本局内取締事務執行シ來候處今般該事務ヲ其課ニ屬シ巡視ヲシテ其職ニ從事セシメ候條此旨相達候事

但發著課監視ノ義ハ此限ニ非ル義ト可相心得事

監察課ヘ達

其課東京市内監察掛ニ於テ從來監察事務條例第百八十六條ニヨリ本局内取締事務取扱來候處自今會計



課巡視ヲシテ該事務擔任爲致候條此旨相達候事

驛遞局事務條例中改正

驛遞局達 取十七年五月二十七日 取十七年九月八日 各詳規畫運輸ノ二課ヲ除ク

規畫課中調整掛地誌掛名籍掛ノ三掛ヲ廢シ本務掛ノ次ニ遞送掛集配掛ノ二掛ヲ置運輸課中取調掛ヲ廢シ地理掛ヲ置規畫課及運輸課事務條例左ノ通改定候條此旨相達候事

規畫課

規畫課ハ郵便方法ニ關スル事務ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ三トス

本務掛

本務掛ハ驛遞區畫驛遞出張局郵便局郵便受取所ノ位置ヲ規畫シ其他郵便ノ方法ニ關スル事務ヲ統理スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便方法ニ關スル事務ヲ統理スル事
- 二 驛遞區ノ分合改稱及境界ヲ規定スル事
- 三 驛遞出張局郵便局郵便受取所ヲ廢置スル事
- 四 郵便局等級及局名ヲ査定スル事
- 五 驛遞出張局郵便局郵便受取所并爲替局貯金預所經費支給定則ヲ規定スル事
- 六 貨幣封入郵便物遞送配達方ヲ締約スル事
- 七 約束郵便ヲ締約スル事
- 八 郵便物ノ種類ヲ査定シ及第三種郵便物ノ遞送ヲ認可スル事
- 九 郵便稅并書留手数料別配達料船料及貨幣遞送配達賃徵收方ニ關スル事ヲ調査スル事
- 十 郵便取扱役以下ノ職務ニ關スル事ヲ調査スル事
- 十一 課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事

遞送掛

遞送掛ハ郵便線路ヲ規定シ郵便物遞送ニ關スル事務ヲ調理スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便物遞送ニ關スル方法ヲ調理スル事
- 二 郵便線路ヲ開閉シ及ヒ其往復方法并發着時間ヲ規定スル事
- 三 郵便物遞送速度及猶豫時間ヲ規定スル事
- 四 郵便遞送時間ノ原簿ヲ調製シ時間記ヲ發行スル事
- 五 郵便物遞送ノ區分法ヲ調査スル事
- 六 郵便物遞送ノ荷量ヲ規定スル事
- 七 郵便物遞送器械ノ便否及給否ヲ査定スル事
- 八 郵便物遞送賃ヲ規定シ及其賃錢請負ヲ約定シ又ハ命令スル事
- 九 郵便物遞送ノ故障ヲ調理スル事
- 十 郵便物遞送受負者又ハ遞送人賞與懲戒ニ關スル事ヲ取調ル事

集配掛

集配掛ハ郵便區畫及ヒ郵便函場郵便切手賣下所ノ位置ヲ規定シ并ニ郵便物取集配達ニ關スル事務ヲ調理スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便區ノ分合改稱及市内外ノ境界ヲ規定スル事
- 二 郵便函場郵便切手賣下所ヲ廢置スル事
- 三 郵便物集配ニ關スル方法ヲ調理スル事
- 四 郵便物集配ノ度數ヲ規定スル事
- 五 郵便物集配器械ノ便否及ヒ給否ヲ査定スル事
- 六 郵便物集配賃ヲ規定シ及其賃錢請負ヲ約定シ又ハ命令スル事
- 七 郵便私書函貸與料ヲ規定スル事
- 八 郵便物集配ノ故障ヲ調理スル事



九 郵便物集配請負者又ハ集配人賞與懲戒ニ關スル事ヲ取調ル事  
運輸課

地理掛

- 地理掛ハ驛遞地理驛遞地誌ノ取調ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ
- 一 驛遞地理ノ事務ヲ取調フル事
- 二 驛遞地誌ヲ編纂スル事
- 三 地名字引ヲ編纂スル事

驛遞局事務條例ヲ更正ス

驛遞局達 甲十八年十月二十二日 驛遞局出張局郵便局郵便所郵便支所

本局事務條例別冊ノ通更正候條其旨心得ヘシ

右相達候事

(別冊)

驛遞局事務條例

第一章 總則

第一條 驛遞局ハ一官房八課一所ニ分チ官房ニ科ヲ置キ課所ニ掛ヲ置ク

第二條 官房科課所掛名ハ左ノ如シ

- 總官官房
- 職務科
- 取調科
- 報告科
- 往復科
- 庶務科

規畫課

本務掛

遞送掛

集配掛

爲替課

本務掛

集計掛

爲替局計算掛

資金出納計算掛

爲替受拂計算掛

照査掛

受拂掛

貯金課

本務掛

計算掛

檢査掛

出納掛

運輸課

本務掛

地理掛

發著課

本務掛

照査掛



- 配達掛
- 差立掛
- 書留掛
- 受收掛
- 外國掛
- 官報賣捌掛
- 汽車掛
- 會計課
- 本務掛
- 検査掛
- 主計掛
- 出納掛
- 收税掛
- 支給掛
- 調度掛
- 監察課
- 本務掛
- 地方監察掛
- 遞送監察掛
- 市内監察掛
- 萬國郵便課
- 本務掛

外國爲替掛  
東京驛遞貯金預所

- 本務掛
- 記簿掛
- 預所掛
- 照査掛
- 受拂掛
- 第三條 總官官房ハ總官官房ノ事務ヲ處辨スル所トス
- 第四條 各課所ハ局務ヲ分掌スル所トス
- 第五條 總官官房各科ノ事務ハ官房長之ヲ統理ス
- 第六條 科員ハ科中ノ事務ヲ分掌ス
- 第七條 課所ニ課所長便宜副課所長科掛ニ便宜科掛長ヲ置ク
- 第八條 課所長ハ課所員ノ服務ヲ董督シ各掛ノ分掌ヲ定メ課所中ノ事務ヲ整理ス
- 第九條 課所長ハ課所中月給金十圓以下日給金四十錢以下傭及寫字生ノ辭令ヲ傳達ス
- 第十條 課所長ハ課所中ノ事務ニ付各所ニ事由ヲ推問督促例規アル事件ニハ通知回答シ及別段ニ委任スル事務ハ之ヲ專決施行スルヲ得
- 第十一條 副課所長ハ課所長事故アルトキハ其事務ヲ代理スルヲ得
- 第十二條 科掛長ハ科掛中ノ事務ヲ幹理ス
- 第十三條 課所中掛員ハ課所中ノ事務ヲ分掌ス
- 第十四條 課長掛長及掛員ハ主管ノ事務ニ付利弊得失ヲ考案シ課所長ハ總官ニ掛長ハ課所長ニ掛員ハ掛長ニ其意見ヲ具狀スルヲ得
- 第十五條 前條ノ場合ニ於テ掛長ハ課所長ト掛員ハ課長若クハ掛長ト意見ヲ異ニスルトキハ直チニ總



官ノ裁定ヲ請フヲ得

第二章 分掌

第十六條 總官官房中ノ各科及各課所處務規程左ノ如シ

總官官房

總官官房ハ總官官房ノ事務ヲ調理スル所トス房中科ヲ分テ五トス

職務科

職務科ハ職員ノ進退黜陟儀式禮典及職務章程ニ關スル事務ヲ掌理シ官印ヲ管守シ總官ノ書記及機密文書ヲ取扱フ所トス事務節目左ノ如シ

- 一 職員ノ進退黜陟ニ關スル事務ヲ取扱フ事
- 二 儀式禮典拜賀ニ關スル事務ヲ取扱フ事
- 三 官印ヲ保管スル事
- 四 職員ノ身分ニ關スル願届等ヲ取扱フ事
- 五 職員ノ履歷書印鑑ヲ保管シ名簿宿所簿ヲ調整スル事
- 六 職務章程ニ關スル事務ヲ取扱フ事
- 七 諸印願ノ原簿ヲ調整スル事
- 八 總官ノ命令ニ依リ文書ヲ書記スル事
- 九 機密ノ文書ヲ保管スル事
- 十 驛遞出張局長ノ親展報告ヲ調理スル事
- 十一 郵便沒書ヲ處理スル事

取調科

取調科ハ總官ノ命令スル事件ヲ調理シ諸規則等ヲ取調ヘ建議ヲ取扱ヒ總官ノ決裁スヘキ議案ヲ調査スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 總官ノ臨時命令スル事件ヲ調理スル事
- 二 内外諸規則等ヲ取調フル事
- 三 建議ヲ取扱フ事
- 四 總官ノ決裁スヘキ一切ノ議案ヲ調査スル事

報告科

報告科ハ報告統計翻譯編輯廣告ノ事ヲ掌理シ圖書ヲ保管スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 報告ニ關スル諸般ノ事ヲ掌理スル事
- 二 驛遞局報編纂ニ關スル諸般ノ事ヲ掌理スル事
- 三 統計ニ關スル諸般ノ事ヲ掌理スル事
- 四 内外ノ文書ヲ翻譯スル事
- 五 總官ノ臨時命令スル外國ノ事件ヲ取調フル事
- 六 既決回議錄及既決件名錄ヲ編輯スル事
- 七 局務沿革史ヲ編輯スル事
- 八 官報及新聞紙ヘ登錄ノ事務ヲ掌理スル事
- 九 諸廣告郵便船出發廣告ノ如キ至急ヲ要スルモノヲ除クノ事務ヲ掌理スル事
- 十 内外ノ圖書ヲ保管スル事

往復科

往復科ハ文書ノ往復及淨書ノ事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 文書及物品ノ受收發送ヲ掌ル事
- 二 發送文書ヲ淨書スル事
- 三 受收文書處分濟否ヲ調査スル事
- 四 官報局報及新聞紙ヲ局内各出張局其他ニ配賦スル事



五 石版器械ニ關スル事務ヲ掌ル事

庶務科

庶務科ハ寫字生并給仕小使ヲ管理シ局内取締非常警備ノ事ヲ掌理シ及各課ニ屬セサル事務ヲ調理スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便研究会ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 二 寫字生ヲ管理スル事
- 三 局内取締及非常警備ノ事務ヲ調理スル事
- 四 巡視給仕小使ヲ管理スル事
- 五 宿直ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 六 他課及房中各科ニ屬セサル事務ヲ調理スル事

規畫課

規畫課ハ郵便方法ニ關スル事務ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ三トス

本務掛

本務掛ハ驛遞區畫驛遞出張局郵便局郵便受取所ノ位置ヲ規畫シ其他郵便ノ方法ニ關スル事務ヲ統理スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便方法ニ關スル事務ヲ統理スル事
- 二 驛遞區ノ分合改稱及境界ヲ規定スル事
- 三 驛遞出張局郵便局郵便受取所ヲ廢置スル事
- 四 郵便局等級并局名ヲ査定スル事
- 五 驛遞出張局郵便局郵便受取所并爲替局經費支給定則ヲ規定スル事
- 六 貨幣封入郵便物遞送配達方ヲ締約スル事
- 七 約束郵便ヲ締約スル事

八 郵便物ノ種類ヲ査定シ及第三種郵便物ノ遞送ヲ認可スル事

郵便稅并書留手數料配達料船料及貨幣遞送配達賃徴收方ニ關スル事ヲ調査スル事

郵便取扱役以下ノ職務ニ關スル事ヲ調査スル事

十一 課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事

遞送掛

遞送掛ハ郵便線路ヲ規定シ郵便物遞送ニ關スル事務ヲ調理スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便物遞送ニ關スル方法ヲ調理スル事
- 二 郵便線路ヲ開閉シ及其住復方法并發著時間ヲ規定スル事
- 三 郵便物遞送速度及猶豫時間ヲ規定スル事
- 四 郵便遞送時間ノ原簿ヲ調製シ時間記ヲ發行スル事
- 五 郵便物遞送ノ區分法ヲ調査スル事
- 六 郵便物遞送ノ荷量ヲ規定スル事
- 七 郵便物遞送器械ノ便否及給否ヲ査定スル事
- 八 郵便物遞送賃ヲ規定シ及其賃錢受負ヲ約定シ又ハ命令スル事
- 九 郵便物遞送ノ故障ヲ調理スル事
- 十 郵便物遞送受負者又ハ遞送人賞與懲戒ニ關スル事ヲ取調ル事

集配掛

集配掛ハ郵便區畫及郵便函場郵便切手賣下所ノ位置ヲ規定シ并郵便物取集配達ニ關スル事務ヲ調理スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 郵便區ノ分合改稱及市内外ノ境界ヲ規定スル事
- 二 郵便函場郵便切手賣下所ヲ廢置スル事
- 三 郵便物集配ニ關スル方法ヲ調理スル事



- 四 郵便物集配ノ度數ヲ規定スル事
- 五 郵便物集配器械ノ便否及給費ヲ査定スル事
- 六 郵便物集配賃ヲ規定シ及其賃錢受負ヲ約定シ又ハ命令スル事
- 七 郵便私書函貸與料ヲ規定スル事
- 八 郵便物集配ノ故障ヲ調理スル事
- 九 郵便物集配受負者又ハ集配人賞與懲戒ニ關スル事ヲ取調ル事

爲替課

爲替課ハ郵便爲替方法ニ關スル事務ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ七トス

本務掛

本務掛ハ郵便爲替局及爲替掛屋ノ廢置爲替資金遞送方法ノ整理爲替資金ノ運轉再發證書ノ調製爲替證書用紙ノ支給ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 爲替局及爲替掛屋ヲ廢置スル事
- 二 爲替局定備資金ヲ規定スル事
- 三 爲替取扱役及代理者ノ印鑑簿ヲ整理スル事
- 四 爲替取扱役及掛屋ノ原簿ヲ調製スル事
- 五 爲替局名及取扱役氏名錄ヲ調製スル事
- 六 爲替資金ノ遞送方法ヲ取調フル事
- 七 効用ヲ失シタル爲替證書ヲ公告スル事
- 八 爲替證書用紙ヲ支給スル事
- 九 爲替資金ヲ運轉スル事
- 十 爲替金收支傳票及切符ヲ調製スル事
- 十一 振替爲替受拂ヲ取扱フ事

- 十二 再發爲替證書ヲ調製スル事
- 十三 課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事

集計掛

集計掛ハ爲替計算集輯ノ事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 總勘定原簿及補助簿ヲ登記スル事
- 二 爲替總勘定表ヲ調製スル事
- 三 爲替ノ統計ヲ調理スル事

爲替局計算掛

爲替局計算掛ハ郵便爲替局爲替金出納高及現在高ノ計算ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 爲替金出納高ヲ調査スル事
- 二 掛屋預高ヲ調査スル事
- 三 爲替過超金ノ納否ヲ調査スル事
- 四 爲替證書用紙使用數ヲ調査スル事

資金出納計算掛

資金出納計算掛ハ各縣及各驛遞出張局爲替資金出納高ノ計算ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 各縣及各驛遞出張局ノ爲替資金出納高ヲ調査スル事
- 二 過超金及下付金其他遞送金ノ著否ヲ調査スル事

爲替受拂計算掛

爲替受拂計算掛ハ爲替願書受拂濟爲替證書并爲替料收入高ノ計算ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 爲替願書拂濟爲替證書ヲ計算スル事
- 二 爲替料收入高ヲ調査スル事
- 三 拂渡未濟ノ爲替金高口數ヲ調査スル事



照査掛

照査掛ハ爲替計算一切ノ検査ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 爲替金收支ヲ検査スル事
- 二 振替爲替切符ヲ検査スル事
- 三 再發爲替證書ヲ検査スル事
- 四 拂濟爲替證書及報知書ヲ検査スル事
- 五 前各項ニ掲クル外諸計算書ヲ検査スル事

受拂掛

受拂掛ハ爲替ノ受拂ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 爲替ノ振出ヲ取扱フ事
- 二 爲替ノ拂渡ヲ取扱フ事

貯金課

貯金課ハ貯金ニ關スル事務ヲ統理スル所トス課中掛ヲ分テ四トス

本務掛

本務掛ハ貯金管理區畫ノ規定貯金預所ノ廢置其他貯金方法ニ關スル事務ヲ調理スル所トス事務節目左ノ如シ

- 一 貯金管理區畫ヲ規定スル事
- 二 貯金預所ノ廢置變更ヲ調理スル事
- 三 貯金ニ關スル方法ヲ調理スル事
- 四 貯金取扱手當手數料及身元保證ノ金額ヲ規定スル事
- 五 貯金遞送ノ方法ヲ規定スル事
- 六 貯金預所名簿ヲ調整スル事

七 貯金收支調書ヲ調製スル事

八 貯金經費ニ關スル事務ヲ調理スル事

九 貯金ニ關スル帳簿式紙類製造ノ事務ヲ調理スル事

十 課中各掛ニ屬セサル事務ヲ調理スル事

計算掛

計算掛ハ貯金收支ノ登記及其統計ヲ調理スル所トス事務節目左ノ如シ

一 貯金收支ヲ登記スル事

二 貯金收支報告書類ヲ調製スル事

三 貯金統計ヲ調理スル事

検査掛

検査掛ハ貯金收支ヲ検査スル所トス事務節目左ノ如シ

一 貯金收支出納ヲ検査スル事

二 貯金ニ關スル諸計算統計報告書類ヲ検査スル事

出納掛

出納掛ハ貯金出納ニ關スル事務ヲ調理スル所トス事務節目左ノ如シ

一 預金局其他ト貯金出納ニ關スル事務ヲ調理スル事

運輸課

運輸課ハ驛傳運輸ニ關スル事務ヲ調理スル所トス課中掛ヲ分テ二トス

本務掛

本務掛ハ驛傳運輸ノ事務ヲ掌ル所トス事務節目左ノ如シ

一 驛傳運輸ニ關スル事務ヲ調理スル事

二 宿驛廢置ノ事務ヲ調理スル事